



埼玉県地盤沈下調査報告書

(令和4年観測成果)

令和5年 月

埼 玉 県

目 次

第1 令和4年地盤沈下調査結果について

1 精密水準測量による調査結果

(1) 調査方法	1
(2) 調査結果の概要	1
地盤沈下調査地点一覧表(表1-1)	5
地域別沈下量別面積(表1-2)	8
年間最大沈下量上位5地点(表1-3)	9
年間最大沈下量経年変化(表1-4)	9
年別沈下量別面積の推移(表1-5)	10
過去5年間累積沈下量上位5地点(表1-6)	10
累積沈下量上位10地点(表1-7)	10
水準基標の市町別変動状況区分(表1-8)	11
市町別平均変動量(表1-9)	14
変動量別地点数分布状況(表1-10)	15
調査地域区分図(図1-1)	16
埼玉県の地形と調査地域(区分)(図1-2)	17
地盤沈下経年変化図(越谷市)(図1-3)	18
地盤沈下経年変化図(春日部市)(図1-4)	18
地盤沈下経年変化図(川口市)(図1-5)	19
地盤沈下経年変化図(さいたま市)(図1-6)	19
地盤沈下経年変化図(所沢市)(図1-7)	20
地盤沈下経年変化図(ふじみ野市、新座市、三芳町)(図1-8)	20
地盤沈下経年変化図(幸手市、久喜市)(図1-9)	21
地域別沈下量面積(年2cm以上)の経年変化図(図1-10)	21
地盤沈下地域の経年変化図(図1-11)	22

2 観測井による地盤沈下・地下水位の観測結果

(1) 観測方法	38
(2) 観測結果の概要	38
観測井諸元表 埼玉県管理の観測所 (表 1-11)	40
観測井諸元表 さいたま市に移管した観測所 (表 1-12)	41
観測井年別沈下量表 (表 1-13)	42
観測井月平均地下水位表 (埼玉県観測データ) (表 1-14)	44
観測井実測地下水位表 (参考データ) (表 1-15)	47
観測井月平均地下水位表 (さいたま市観測データ) (表 1-16)	51
観測所位置及び河川表流水の供給状況 (図 1-12)	52
管頭下水位経年変化 (東部地域) (図 1-13)	53
管頭下水位経年変化 (中央部地域) (図 1-14)	54
管頭下水位経年変化 (西部・比企地域) (図 1-15)	55
管頭下水位経年変化 (北東部地域) (図 1-16)	56
管頭下水位経年変化 (北部地域) (図 1-17)	57
地下水採取量・地下水位・地盤沈下の相関図 (さいたま市) (図 1-18)	58
地下水採取量・地下水位・地盤沈下の相関図 (越谷市) (図 1-19)	59
地下水採取量・地下水位・地盤沈下の相関図 (所沢市) (図 1-20)	60
地下水採取量・地下水位・地盤沈下の相関図 (久喜市 (旧鷲宮町)) (図 1-21)	61

第2 精密水準測量成果表

1 測量成果

(1) 水準測量成果表	62
(2) 調査期間	62
(3) 測量機関	62
(4) 水準測量の基準点	62
(5) 測定の精度	62
(6) 標高の算出	62
(7) 成果表の見方	63
水準測量成果表(表2-1)	64

(東部地域)	(西部地域)	(比企地域)
(1) 三郷市……………64	(21) 和光市……………78	(43) 東松山市……………89
(2) 八潮市……………64	(22) 朝霞市……………78	(44) 川島町……………89
(3) 草加市……………65	(23) 新座市……………78	(45) 吉見町……………89
(4) 越谷市……………65	(24) 志木市……………79	(46) 嵐山町……………90
(5) 春日部市……………66	(25) 富士見市……………79	(47) 小川町……………90
(6) 吉川市……………66	(26) ふじみ野市……………79	(48) 滑川町……………91
(7) 松伏町……………67	(27) 所沢市……………80	(49) 鳩山町……………91
(8) 杉戸町……………67	(28) 入間市……………80	(50) ときがわ町……………91
(9) 宮代町……………67	(29) 狭山市……………81	
	(30) 飯能市……………81	(北部地域)
(中央部地域)	(31) 川越市……………82	(51) 熊谷市……………92
(10) 川口市……………68	(32) 坂戸市……………83	(52) 深谷市……………93
(11) 蕨市……………69	(33) 鶴ヶ島市……………83	(53) 本庄市……………93
(12) 戸田市……………69	(34) 日高市……………83	(54) 寄居町……………94
(13) さいたま市……………70	(35) 三芳町……………84	(55) 上里町……………94
(14) 蓮田市……………75	(36) 毛呂山町……………84	(56) 美里町……………95
(15) 上尾市……………75	(37) 越生町……………84	(57) 神川町……………95
(16) 桶川市……………76		
(17) 北本市……………76	(北東部地域)	
(18) 鴻巣市……………77	(38) 久喜市……………85	
(19) 白岡市……………77	(39) 加須市……………86	
(20) 伊奈町……………77	(40) 羽生市……………87	
	(41) 行田市……………87	
	(42) 幸手市……………88	

協議会が平均計算に採用した固定点標高データ(表2-2)……………96

埼玉県が測量成果算定で用いた幹線網交点標高データ(表2-3)……………96

2 水準基標、測量成果使用上の注意

埼玉県水準基標、精密水準測量成果の取扱要領	98
-----------------------	----

第3 関連資料

1 地下水採取量報告の集計結果

(1) 集計方法	102
(2) 集計結果の概要	102
地域別・市町別地下水採取量（全用途）（表3-1）	103
用途別・地域別・市町別・月別地下水採取量（表3-2）	109
地域別・市町別地下水採取量表（表3-3）	116
地域別・市町別単位面積当たり地下水採取量表（表3-4）	121
埼玉県地下水採取規制地図（図3-1）	124
令和4年 地域別・月別地下水採取量（全用途 合計）（図3-2）	125
令和4年 用途別・月別地下水採取量（図3-3）	125
地域別単位面積当たり日採取量経年変化図（図3-4）	129

2 その他参考資料

埼玉県地盤沈下対策の推移（表3-5）	130
地下水採取規制の経過表（表3-6）	135
真夏日日数及び夏期における平均最高気温（熊谷）（表3-7）	137
真夏日日数及び夏期における平均最高気温（さいたま・所沢・久喜）（表3-8）	138
年降水量経年変化（熊谷・鴻巣・飯能・秩父）（表3-9）	138
熊谷地方気象台 年間降水量と平均気温の経年変化（図3-5）	139
熊谷地方気象台 令和4年 月別降水量・平均気温の推移（図3-6）	140

（注意）

この調査報告書は、地盤沈下の監視のために、令和3年に実施した精密水準測量成果、観測井における地盤沈下観測成果及び地下水位観測成果並びに地下水採取量報告結果をまとめたものです。また、本報告書中の市町村の名称及び区域は、令和4年1月1日におけるものです。

第1 令和4年地盤沈下調査結果について

1 精密水準測量による調査結果

(1) 調査方法

ア 精密水準測量

精密水準測量は、埼玉県平野部の地盤変動状況を把握するため、国土交通省国土地理院の指導の下に、昭和36年から毎年実施している。

調査対象地域における各水準点（水準基標）の標高を測量し、前年の標高と比較することにより、地盤の変動を把握している。

測量基準値は令和5年1月1日とし、当該基準日における各水準点の標高を前年の1月1日の標高と比較した。

イ 調査期間

この精密水準測量は、令和4年8月から令和5年1月までの間に実施し、現地測量時の数値を測量基準日に補正している。

ウ 調査地点

県平野部57市町（令和5年1月1日時点）を調査対象地域とし、水準点527点（国土交通省国土地理院の一等水準点及びさいたま市の一級水準点を含む。）、路線総延長996km（県814km、国土地理院59km、さいたま市123km）について実施した。地盤沈下調査地点一覧表を表1-1に示す。

エ 調査面積

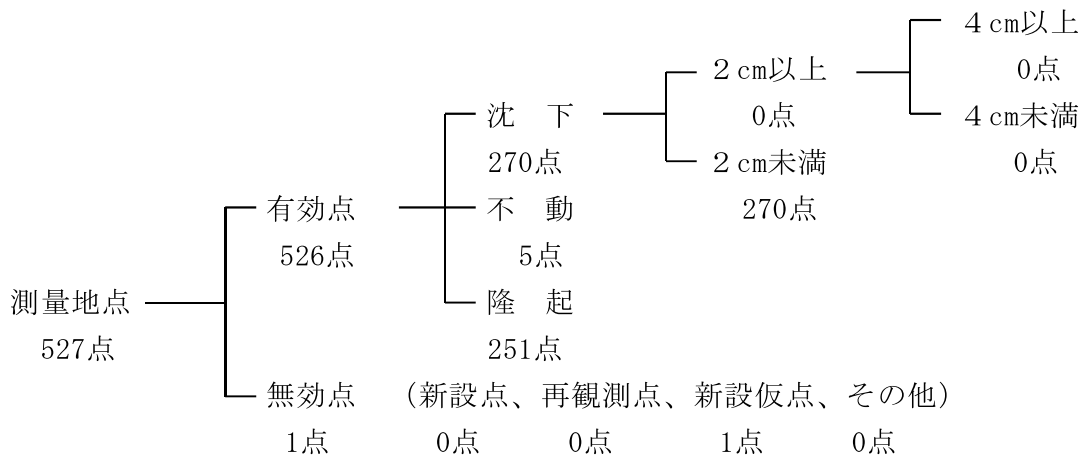
精密水準測量の調査面積は2,868.12km²であった。

上記のうち、地盤変動面積の計測対象地域（以下、「面積計測地域」という。）は、前年度と同様に関東平野北部地盤沈下防止等対策要綱（平成3年11月29日、地盤沈下防止等対策関係閣僚会議決定）に定める保全地域とし、その面積は1,824.93km²とした。（表1-2）

(2) 調査結果の概要

ア 調査地点の変動状況

調査を行った527点の水準点のうち、令和3年の調査結果と比較可能な測量地点（有効点）は526点であり、仮点の新設等により前年と比較できない点（無効点）は1点であった。令和4年に沈下した点は、270点（有効点の51%）であり、令和3年の101点（有効点の17%）に比べて増加した。



イ 市町村別変動状況

年間最大沈下量は、1.0cm（深谷市新戒）で、建築物等への被害が生ずるおそれのある目安である2cm以上の沈下を観測した地域はなかった。（表1-3～-5）

累積沈下量では、過去5年間の上位5地点を北東部地域、観測開始からの上位10地点を東部、北東部及び中央部地域が占めている。（表1-6、-7）

令和4年の市町別平均変動量において、最も沈下したのは神川町で0.7cmであった。なお、調査対象地域57市町のうち25市町で平均変動量が沈下を示した。（表1-8、-9）

ウ 調査対象地域別の地盤沈下の概要

精密水準測量による調査対象地域は、山間地である秩父地方を除いた丘陵から台地、低地へと広がる平野部とし、更に6つの地域に分割し整理した。（図1-1）

(ア) 東部地域



東部地域は中川低地と呼ばれる沖積低地である。（図1-2）

特に東部地域の南部は軟弱地盤であり、かつ、標高が約0.6m（八潮市）と低いため、地盤沈下による影響を受けやすい。

昭和47年に埼玉県公害防止条例により地下水（工業用・建築物用）の採取が規制されたことや、昭和49年4月から上水道として東部第一水道による河川表流水への転換が開始されたことにより、地下水への依存度が低下し、全体的に地盤沈下は沈静化している。（図1-3、-4、-11）

東部地域の年間最大沈下量は0.6cm（春日部市谷原）であった。なお、前年は0.3cm（草加市栄町）であった。（表1-8）

過去5年間の最大累積沈下量は1.7cm（春日部市谷原）であった。

市町別の平均変動量については9市町のうち4市町で沈下した。また、東部地域全体の平均変動量は0.05cmの隆起であった。（表1-8、-9）

(イ) 中央部地域



中央部地域は大宮台地を中心とした地域で周囲を荒川低地、中川低地に囲まれている。(図1-2)

調査開始から昭和40年代にかけては、川口市を中心に蕨市や戸田市で激しい沈下が観測された。この対策として、工業用水法及び建築物用地下水の採取の規制に関する法律による規制、工業用水及び上水道の河川表流水への転換を行った。これらの取組により、地下水の揚水量が減り、地下水位が回復したことによって、地盤沈下は沈静化している。(図1-5、-6、-11)

中央部地域の年間最大沈下量は0.4cm(さいたま市岩槻区本丸)であった。なお、前年は0.03cm(川口市安行)であった。(表1-8)

過去5年間の最大累積沈下量は0.8cm(白岡市篠津)であった。

市町別の平均変動量については11市町のうち5市町で沈下した。また、中央部地域全体の平均変動量は0.01cmの隆起であった。(表1-8、-9)

(ウ) 西部地域



西部地域は武蔵野台地、野火止台地、荒川低地及びその他で構成されている。(図1-2)

所沢市では過去に年間最大沈下量27.2cmを記録したものの、昭和49年7月から県水が上水道用として供給されて以来、沈下量は年々減少し、地盤沈下は沈静化している。(図1-7、-8、-11)

西部地域の年間最大沈下量は0.3cm(和光市新倉)であった。なお、前年は1.1cm(日高市高麗本郷)であった。

過去5年間の最大累積沈下量は0.7cm(川越市福田)であった。

市町別の平均変動量については、17市町のうち4市で沈下した。また、西部地域全体の平均変動量は0.31cmの隆起であった。(表1-8、-9)

(エ) 北東部地域



北東部地域は、加須低地及び中川低地と呼ばれる全国有数の軟弱地盤地帯であるため、多少の地下水位の低下でも地盤沈下への影響が現れやすい地域である。(図1-2)

北東部地域では、昭和48年に観測を開始して以来、毎年10cm以上の最大沈下量が記録され、昭和53年以降埼玉県で最も沈下する地域であったが、昭和58年以降沈下量は減少した。ただし、平成6、8及び16年の渇水年には、年2cm以上の沈下面積が拡大した。(図1-9、-10、-11)

北東部地域の年間最大沈下量は0.9cm(加須市新川通)であった。なお、前年は0.6cm(加須市旗井)であった。(表1-8)

過去5年間の最大累積沈下量は4.0cm(加須市旗井)であった。(表1-6)

市別の平均変動量については、6市のうち5市で沈下した。また、北東部地域全体の平均変動量は0.29cmの沈下であった。(表1-8、-9)

(オ) 比企地域



比企地域は吉見丘陵と荒川低地で構成されている。吉見丘陵地区は、変成岩の岩盤が地表面に現れ、地盤沈下が発生しない地域もあり、個々の水準点から地域全体の沈下状況を推定することが困難な地域である。(図1-2)

地盤沈下の沈静化が進んだ昭和50年代半ば以降、渇水があった昭和59年及び平成6年、東北地方太平洋沖地震が発生した平成23年を除いて、年2cm以上の沈下は発生していない。(図1-11)

比企地域の年間最大沈下量は0.1cm(吉見町上砂)であった。なお、前年は0.8cm(嵐山町志賀)であった。(表1-8)

過去5年間の最大累積沈下量は0.7cm(川島町上伊草)であった。

市町別の平均変動量については、7市町のうち調査を行った5市町すべてで隆起した。また、比企地域全体の平均変動量は0.34cmの隆起であった。(表1-8、-9)

(カ) 北部地域



北部地域は、妻沼低地と一部荒川低地で構成されている。旧熊谷市を中心とした荒川低地は、砂礫を主とする扇状地性の低地である。(図1-2)

北部地域の年間最大沈下量は1.0cm(深谷市新戒)であった。なお、前年は0.3cm(寄居町今市)であった。(表1-8)

過去5年間の最大累積沈下量は1.9cm(深谷市新戒)であった。

市町別の平均変動量については、7市町すべてで沈下した。また、北部地域全体の平均変動量は0.30cmの沈下であった。(表1-8、-9)

エ 地盤変動の傾向

全体としての地盤変動を見るため、調査地点(有効点526点)の年間地盤変動量を1mm単位で区分し、変動量別に地点数を整理した。(表1-10)

令和4年の変動量の分布は、1.0cmの沈下から1.7cmの隆起である。分布の幅は前年より広まった。

令和4年は有効点のうち51%に当たる270地点が沈下し、前年の101地点(令和3年有効点のうち17%に当たる)と比較して沈下する範囲が広がった。

※ 渇水年：上水道又は簡易水道事業主体が、荒川水系又は利根川水系の河川からの取水制限を実施した年を渇水が発生した年とします。気象用語などによる明確な定義はありません。

※ 渇水：「雨が通常より少ないために河川などの水が涸れること。」とされています。

((一財)日本ダム協会ホームページより引用)

表1-1 (1) 地盤沈下調査地点一覧表

地域別

地域名	設置者別水準基標数			
	県	国	市町村等	計
東部地域	86	34	0	120
中央部地域	55	46	50	151
西部地域	56	11	4	71
北東部地域	84	15	10	109
比企地域	19	1	1	21
北部地域	47	6	2	55
合計	347	113	67	527

東部地域

地域名	設置者別水準基標数			
	県	国	市町村等	計
三郷市	4	6		10
八潮市	9	2		11
草加市	9	3		12
越谷市	24	9		33
春日部市	18	6		24
吉川市	5	2		7
松伏町	5	4		9
杉戸町	9	2		11
宮代町	3			3
小計	86	34	0	120

中央部地域

地域名	設置者別水準基標数			
	県	国	市町村等	計
川口市	20	1		21
蕨市	3	2		5
戸田市	9	3		12
さいたま市		24	50	74
蓮田市	7			7
上尾市	6	3		9
桶川市	1	3		4
北本市	1	4		5
鴻巣市	3	6		9
白岡市	4			4
伊奈町	1			1
小計	55	46	50	151

※1)

※1) 旧川里町は北東部地域に記載

表1-1 (2) 地盤沈下調査地点一覧表

西部地域

地域名	設置者別水準基標数			
	県	国	市町村等	計
和光市	4			4
朝霞市	1			1
新座市	7		1	8
志木市	4			4
富士見市	1		1	2
ふじみ野市	3			3
所沢市	11	2	1	14
入間市	1		1	2
狭山市	6	3		9
飯能市	3			3
川越市	3	6		9
坂戸市				0
鶴ヶ島市				0
日高市	5			5
三芳町	2			2
毛呂山町	2			2
越生町	3			3
小計	56	11	4	71

北東部地域

地域名	設置者別水準基標数			
	県	国	市町村等	計
久喜市	20	5		25
加須市	34	3	10	47
羽生市	11	3		14
行田市	9	1		10
幸手市	9	3		12
鴻巣市	1			1
小計	84	15	10	109

※2)

※2) 旧川里町のみ

表1-1 (3) 地盤沈下調査地点一覧表

比企地域

地域名	設置者別水準基標数			
	県	国	市町村等	計
東松山市				0
川島町	3			3
吉見町	4	1	1	6
嵐山町	5			5
小川町	4			4
滑川町				0
鳩山町				0
ときがわ町	3			3
小計	19	1	1	21

北部地域

地域名	設置者別水準基標数			
	県	国	市町村等	計
熊谷市	17	1	1	19
深谷市	7			7
本庄市	8	1		9
寄居町	6	1	1	8
上里町	1	3		4
美里町	3			3
神川町	5			5
小計	47	6	2	55

表 1 - 2

地域別沈下量別面積

(令和 4 年 1 月 1 日～令和 5 年 1 月 1 日)

地域名 調査面積 〔面積計測地域〕	区 分	1 年間沈下別面積 (km ²)				5 年間沈下別面積 (km ²)				
		沈下cm以上cm未満				沈下cm以上cm未満				
東部地域 295.7km ² 〔295.7km ² 〕	0 ～ -1	151.3	51.2%	(9.9	3.3%)	0 ～ - 5	75.0	25.4%	(99.1	33.5%)
	-1 ～ -2	—		(—)	- 5 ～ -10	—		(—)
	-2以上	—		(—)	-10 ～ -20	—		(—)
	隆 起	144.4	48.8%	(285.8	96.7%)	隆 起	220.7	74.6%	(196.6	66.5%)
中央部地域 511.2km ² 〔511.2km ² 〕	0 ～ -1	209.8	41.0%	(0.7	0.1%)	0 ～ - 5	100.4	19.6%	(208.3	40.7%)
	-1 ～ -2	—		(—)	- 5 ～ -10	—		(—)
	-2以上	—		(—)	-10 ～ -20	—		(—)
	隆 起	301.4	59.0%	(510.5	99.9%)	隆 起	410.9	80.4%	(303.0	59.3%)
西部地域 759.5km ² 〔444.5km ² 〕	0 ～ -1	91.2	20.5%	(233.1	52.4%)	0 ～ - 5	84.4	19.0%	(156.9	35.3%)
	-1 ～ -2	—		(—)	- 5 ～ -10	—		(—)
	-2以上	—		(—)	-10 ～ -20	—		(—)
	隆 起	353.3	79.5%	(211.4	47.6%)	隆 起	360.1	81.0%	(287.7	64.7%)
北東部地域 392.3km ² 〔392.3km ² 〕	0 ～ -1	229.9	58.6%	(28.9	7.4%)	0 ～ - 5	284.7	72.6%	(372.1	94.8%)
	-1 ～ -2	0.3	0.1%	(—)	- 5 ～ -10	—		(—)
	-2以上	—		(—)	-10 ～ -20	—		(—)
	隆 起	162.2	41.3%	(363.5	92.6%)	隆 起	107.7	27.4%	(20.2	5.2%)
比企地域 347.2km ² 〔80.3km ² 〕	0 ～ -1	1.3	1.6%	(1.4	1.7%)	0 ～ - 5	24.7	30.7%	(52.2	65.1%)
	-1 ～ -2	—		(—)	- 5 ～ -10	—		(—)
	-2以上	—		(—)	-10 ～ -20	—		(—)
	隆 起	79.0	98.4%	(78.9	98.3%)	隆 起	55.6	69.3%	(28.1	34.9%)
北部地域 562.1km ² 〔100.9km ² 〕	0 ～ -1	87.9	87.1%	(—)	0 ～ - 5	92.4	91.6%	(99.8	99.0%)
	-1 ～ -2	—		(—)	- 5 ～ -10	—		(—)
	-2以上	—		(—)	-10 ～ -20	—		(—)
	隆 起	13.0	12.9%	(100.9	100.0%)	隆 起	8.5	8.4%	(1.0	1.0%)
調査面積 2868.1km ² 面積計測地域 〔1824.9km ² 〕	沈下cm以上cm未満					沈下cm以上cm未満				
	0 ～ -1	771.3	42.3%	(274.0	15.0%)	0 ～ - 5	661.4	36.2%	(988.4	54.2%)
	-1 ～ -2	0.3	0.0%	(—)	- 5 ～ -10	—		(—)
	-2以上	—		(—)	-10 ～ -20	—		(—)
隆 起	1053.4	57.7%	(1551.0	85.0%)	隆 起	1163.5	63.8%	(836.5	45.8%)	

() 内は前年値

表 1 - 3 年間最大沈下量上位 5 地点

(令和 4 年 1 月 1 日～令和 5 年 1 月 1 日)

単位：cm

順位	水準点番号	所在地(地域)	沈下量
1	53-14	深谷市新戒(北部)	1.0
2	仮 30-01	加須市新川通(北東部)	0.9
3	2,025	加須市旗井(北東部)	0.9
3	62-01	加須市本郷(北東部)	0.9
5	54-05	加須市飯積(北東部)	0.8

表 1 - 4 年間最大沈下量経年変化

単位：cm

年次	昭和 36 年	37 年	38 年	39 年	40 年	41 年	42 年	43 年	44 年	45 年	46 年
最大沈下量	18.7	23.6	20.8	18.8	18.5	15.6	16.5	16.0	13.8	20.9	19.4
市町名	川口市							戸田市	草加市	朝霞市	新座市

年次	47 年	48 年	49 年	50 年	51 年	52 年	53 年	54 年	55 年	56 年	
最大沈下量	23.8	25.2	27.2	14.7	14.1	9.8	12.5	9.6	7.9	6.7	
市町名	所沢市						鷺宮町*	鷺宮町*・栗橋町*	鷺宮町*		

年次	57 年	58 年	59 年	60 年	61 年	62 年	63 年	平成元年	2 年	3 年	4 年
最大沈下量	5.3	5.2	6.0	5.6	4.7	4.8	5.4	4.6	4.4	4.2	4.7
市町名	栗橋町*	鷺宮町*	栗橋町*								北川辺町*

年次	5 年	6 年	7 年	8 年	9 年	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	
最大沈下量	3.2	4.8	4.4	4.0	3.4	2.4	3.3	2.9	2.2	2.4	2.5	
市町名	鷺宮町*		越谷市	栗橋町*	越谷市			鷺宮町*		越谷市	北川辺町*	所沢市

年次	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	
最大沈下量	4.7	1.8	1.9	2.7	1.1	1.6	2.4	12.5	2.3	2.3	1.2	
市町名	越谷市	栗橋町*	大利根町*			所沢市	加須市		幸手市	加須市		

年次	27 年	28 年	29 年	30 年	令和元年	2 年	3 年	4 年
最大沈下量	1.0	1.8	1.2	1.6	1.4	1.1	1.1	1.0
市町名	川越市	加須市		久喜市	本庄市	加須市	日高市	深谷市

※ 旧市町名で記載

表 1 - 5 年別沈下量別面積の推移

区分 \ 年次	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
4 cm 以上 10cm 未満	0.0km ²	0.0km ²	0.0km ²	0.0km ²	0.0km ²
2 cm 以上 4 cm 未満	0.0km ²	0.0km ²	0.0km ²	0.0km ²	0.0km ²
計 (A)	0.0km ²	0.0km ²	0.0km ²	0.0km ²	0.0km ²
(A) / 県面積 (3,797.75km ²)	0	0	0	0	0
面積計測地域面積* (B)	1,824.9 km ²	1,824.9 km ²	1,824.9 km ²	1,824.9 km ²	1,824.9 km ²
(A) / (B)	0	0	0	0	0

※ 面積計測地域面積：地盤変動の面積の計測対象とした地域の面積。

表 1 - 6 過去 5 年間累積沈下量上位 5 地点

単位：cm

順位	水準点番号	所在地 (地域)	沈下量
1	2,025	加須市 旗 井 (北東部)	4.0
2	62-01	加須市 本 郷 (北東部)	3.4
3	北 3	加須市 伊賀袋 (北東部)	3.3
4	54-02	加須市 駒 場 (北東部)	2.5
5	54-05	加須市 飯 積 (北東部)	2.4

表 1 - 7 累積沈下量上位 10 地点

単位：cm

順位	水準点番号	所在地 (地域)	沈下量	観測開始年月日
1	11,097	越谷市 弥栄町 (東 部)	184.0	36.2.1
2	2,024	久喜市 栗橋東 (北東部)	158.2	49.1.1
3	36	川口市 朝 日 (中央部)	150.6	36.2.1
4	48-47	久喜市 東大輪 (北東部)	150.2	49.1.1
5	11,118	川口市 西川口 (中央部)	146.3	36.2.1
6	2,025	加須市 旗 井 (北東部)	145.3	50.1.1
7	11,096	越谷市 越ヶ谷 (東 部)	137.8	36.2.1
8	480	さいたま市 浦和区北浦和 (中央部)	131.4	39.2.1
9	2,302	八潮市 八 條 (東 部)	131.1	36.2.1
10	埼 16	戸田市 下戸田 (中央部)	129.1	36.2.1

表1-8(1)

水準基標の市町別変動状況区分

(令和4年1月1日～令和5年1月1日)

東部地域

市町名	水準点数			有効水準点の内訳			有効水準点の沈下量の内訳				有効水準点の変動量	
	総数	無効	有効	上昇	不動	沈下	-1mm～-19mm	-20mm～-39mm	-40mm～-59mm	-60mm～-200mm	最大(mm) ^{※2}	平均(mm)
三郷市	10	0	10	9	0	1	1	0	0	0	-0.8	1.5
八潮市	11	0	11	10	1	0	0	0	0	0	0.0	2.0
草加市	12	0	12	12	0	0	0	0	0	0	1.1	3.6
越谷市	33	0	33	23	0	10	10	0	0	0	-3.2	1.4
春日部市	24	0	24	4	1	19	19	0	0	0	-5.8	-1.4
吉川市	7	0	7	4	1	2	2	0	0	0	-0.9	0.0
松伏町	9	0	9	0	0	9	9	0	0	0	-3.1	-1.2
杉戸町	11	0	11	0	0	11	11	0	0	0	-5.1	-2.0
宮代町	3	0	3	0	0	3	3	0	0	0	-2.3	-1.2
合計	120	0	120	62	3	55	55	0	0	0	-5.8	0.5

中央部地域

市町名	水準点数			有効水準点の内訳			有効水準点の沈下量の内訳				有効水準点の変動量	
	総数	無効	有効	上昇	不動	沈下	-1mm～-19mm	-20mm～-39mm	-40mm～-59mm	-60mm～-200mm	最大(mm) ^{※2}	平均(mm)
川口市	21	0	21	14	0	7	7	0	0	0	-1.6	0.7
蕨市	5	0	5	4	0	1	1	0	0	0	-0.2	2.0
戸田市	12	0	12	7	0	5	5	0	0	0	-1.8	0.2
さいたま市	74	0	74	39	0	35	35	0	0	0	-4.0	-0.1
蓮田市	7	0	7	4	0	3	3	0	0	0	-2.4	-0.4
上尾市	9	0	9	1	0	8	8	0	0	0	-3.8	-1.5
桶川市	4	0	4	3	0	1	1	0	0	0	-0.3	0.8
北本市	5	0	5	4	0	1	1	0	0	0	-1.0	0.7
鴻巣市 ^{※1}	9	0	9	9	0	0	0	0	0	0	0.6	1.6
白岡市	4	0	4	0	0	4	4	0	0	0	-3.4	-2.9
伊奈町	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	-0.6	-0.6
合計	151	0	151	85	0	66	66	0	0	0	-4.0	0.1

※1 旧川里町分は北東部地域に記載した。

※2 地盤が隆起した市町については、隆起の最小値を記載した。

※3 無効とは、仮点の新設等により前年と比較できない点

※4 不動とは、地盤変動量がゼロであった点

表1-8(2)

水準基標の市町別変動状況区分

(令和4年1月1日～令和5年1月1日)

西部地域

市町名	水準点数			有効水準点の内訳			有効水準点の沈下量の内訳				有効水準点の変動量	
	総数	無効	有効	上昇	不動	沈下	-1mm~-19mm	-20mm~-39mm	-40mm~-59mm	-60mm~-200mm	最大(mm) ^{※2}	平均(mm)
和光市	4	0	4	0	1	3	3	0	0	0	-3.4	-2.1
朝霞市	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0.7	0.7
新座市	8	0	8	5	0	3	3	0	0	0	-1.7	1.5
志木市	4	0	4	0	0	4	4	0	0	0	-2.3	-1.6
富士見市	2	0	2	0	0	2	2	0	0	0	-1.7	-1.7
ふじみ野市	3	1	2	1	0	1	1	0	0	0	-2.7	-1.0
所沢市	14	0	14	13	0	1	1	0	0	0	-0.5	1.6
入間市	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	5.7	5.8
狭山市	9	0	9	9	0	0	0	0	0	0	1.7	4.1
飯能市	3	0	3	3	0	0	0	0	0	0	8.4	10.1
川越市	9	0	9	9	0	0	0	0	0	0	1.5	3.6
坂戸市	0	0	0									
鶴ヶ島市	0	0	0									
日高市	5	0	5	5	0	0	0	0	0	0	6.5	12.0
三芳町	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0.3	0.9
毛呂山町	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	4.0	5.0
越生町	3	0	3	3	0	0	0	0	0	0	4.3	6.0
合計	71	1	70	55	1	14	14	0	0	0	-3.4	3.1

北東部地域

市町名	水準点数			有効水準点の内訳			有効水準点の沈下量の内訳				有効水準点の変動量	
	総数	無効	有効	上昇	不動	沈下	-1mm~-19mm	-20mm~-39mm	-40mm~-59mm	-60mm~-200mm	最大(mm) ^{※2}	平均(mm)
久喜市	25	0	25	5	0	20	20	0	0	0	-7.4	-1.9
加須市	47	0	47	4	0	43	43	0	0	0	-8.6	-4.5
羽生市	14	0	14	0	0	14	14	0	0	0	-7.6	-2.3
行田市	10	0	10	4	0	6	6	0	0	0	-4.8	-1.0
幸手市	12	0	12	5	0	7	7	0	0	0	-5.2	-1.2
鴻巣市(旧川里町)	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2.0	2.0
合計	109	0	109	19	0	90	90	0	0	0	-8.6	-2.9

表1-8(3)

水準基標の市町別変動状況区分

(令和4年1月1日～令和5年1月1日)

比企地域

市町名	水準点数			有効水準点の内訳			有効水準点の沈下量の内訳				有効水準点の変動量	
	総数	無効	有効	上昇	不動	沈下	-1mm~-19mm	-20mm~-39mm	-40mm~-59mm	-60mm~-200mm	最大(mm) ^{※2}	平均(mm)
東松山市	0	0	0									
川島町	3	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0.2	1.9
吉見町	6	0	6	5	0	1	1	0	0	0	-0.8	3.3
嵐山町	5	0	5	5	0	0	0	0	0	0	3.0	4.0
小川町	4	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0.9	2.4
滑川町	0	0	0									
鳩山町	0	0	0									
ときがわ町	3	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3.9	5.7
合計	21	0	21	20	0	1	1	0	0	0	-0.8	3.4

北部地域

市町名	水準点数			有効水準点の内訳			有効水準点の沈下量の内訳				有効水準点の変動量	
	総数	無効	有効	上昇	不動	沈下	-1mm~-19mm	-20mm~-39mm	-40mm~-59mm	-60mm~-200mm	最大(mm) ^{※2}	平均(mm)
熊谷市	19	0	19	6	0	13	13	0	0	0	-6.3	-2.0
深谷市	7	0	7	1	0	6	6	0	0	0	-9.8	-4.0
本庄市	9	0	9	0	0	9	9	0	0	0	-8.0	-4.6
寄居町	8	0	8	3	1	4	4	0	0	0	-3.3	-0.2
上里町	4	0	4	0	0	4	4	0	0	0	-6.5	-4.8
美里町	3	0	3	0	0	3	3	0	0	0	-3.0	-2.4
神川町	5	0	5	0	0	5	5	0	0	0	-8.2	-6.9
合計	55	0	55	10	1	44	44	0	0	0	-9.8	-3.0

総括

	水準点数			有効水準点の内訳			有効水準点の沈下量の内訳				有効水準点の変動量	
	総数	無効	有効	上昇	不動	沈下	-1mm~-19mm	-20mm~-39mm	-40mm~-59mm	-60mm~-200mm	最大(mm) ^{※2}	平均(mm)
	527	1	526	251	5	270	270	0	0	0	-9.8	-0.2

表 1 - 9 市町別平均変動量 (令和 4 年 1 月 1 日 ~ 令和 5 年 1 月 1 日)

単位 : mm

沈 下			不動及び隆起		
-10mm以上	-5mm以上-10mm未満	-5mm未満	0mm以上5mm未満	5mm以上10mm未満	10mm以上
	神川町 -6.9	さいたま市 -0.1	狭山市 4.1	越生町 6.0	日高市 12.0
		寄居町 -0.2	嵐山町 4.0	入間市 5.8	飯能市 10.1
		蓮田市 -0.4	草加市 3.6	ときがわ町 5.7	
		伊奈町 -0.6	川越市 3.6	毛呂山町 5.0	
		行田市 -1.0	吉見町 3.3		
		ふじみ野市 -1.0	小川町 2.4		
		宮代町 -1.2	八潮市 2.0		
		松伏町 -1.2	鴻巣市(旧川里町) 2.0		
		幸手市 -1.2	蕨市 2.0		
		春日部市 -1.4	川島町 1.9		
		上尾市 -1.5	所沢市 1.6		
		志木市 -1.6	鴻巣市(旧川里町を除く) 1.6		
		富士見市 -1.7	新座市 1.5		
		久喜市 -1.9	三郷市 1.5		
		熊谷市 -2.0	越谷市 1.4		
		杉戸町 -2.0	三芳町 0.9		
		和光市 -2.1	桶川市 0.8		
		羽生市 -2.3	朝霞市 0.7		
		美里町 -2.4	川口市 0.7		
		白岡市 -2.9	北本市 0.7		
		深谷市 -4.0	戸田市 0.2		
		加須市 -4.5	吉川市 0.0		
		本庄市 -4.6			
		上里町 -4.8			
市町数					
0 (0)	1 (3)	24 (12)	22※ (28)	4 (14)	2 (1)

※鴻巣市は旧川里町と旧川里町以外をそれぞれカウントする。

() は前年値

※坂戸市、鶴ヶ島市、東松山市、滑川町、鳩山町は、調査対象地域であるが、調査を行った水準点が存在しないため、変動量のデータはない。

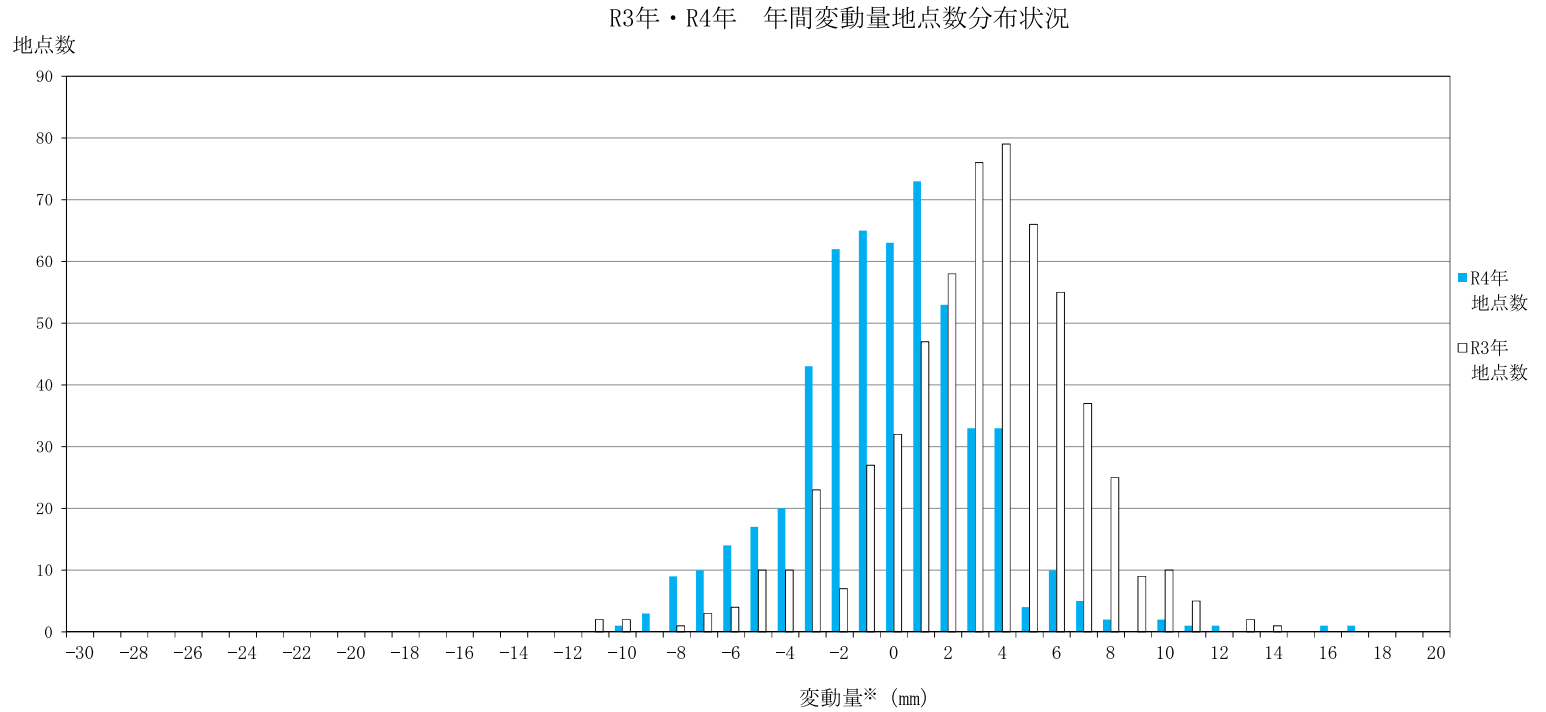
表 1-10 変動量別地点数分布状況

令和3年と令和4年の年間地盤変動量を1mm単位の地点数で集計し、地点数の分布状況、統計値を整理した。

区間 mm	R4年 地点数	R3年 地点数
-30	0	0
-29	0	0
-28	0	0
-27	0	0
-26	0	0
-25	0	0
-24	0	0
-23	0	0
-22	0	0
-21	0	0
-20	0	0
-19	0	0
-18	0	0
-17	0	0
-16	0	0
-15	0	0
-14	0	0
-13	0	0
-12	0	0
-11	0	2
-10	1	2
-9	3	0
-8	9	1
-7	10	3
-6	14	4
-5	17	10
-4	20	10
-3	43	23
-2	62	7
-1	65	27
0	63	32
1	73	47
2	53	58
3	33	76
4	33	79
5	4	66
6	10	55
7	5	37
8	2	25
9	0	9
10	2	10
11	1	5
12	1	0
13	0	2
14	0	1
15	0	0
16	1	0
17	1	0
18	0	0
19	0	0
20	0	0
計	526	591

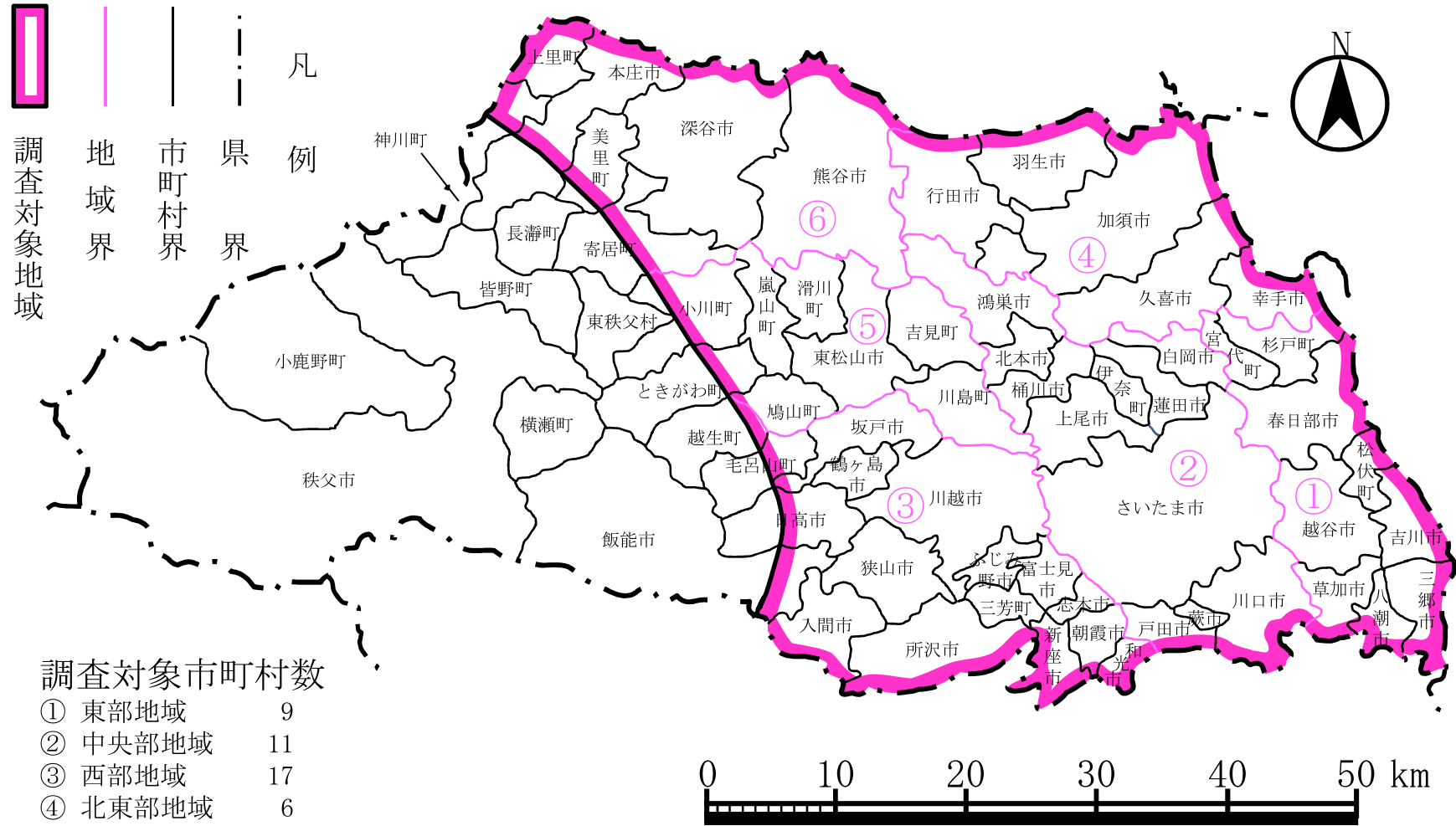
R4. 1. 1からR5. 1. 1の1年間の地盤変動量(mm)の統計値							
平均	-0.2	最頻値 (モード)	1.1	尖度	2.3	最小	-9.8
標準誤差	0.1	標準偏差	3.4	歪度	0.4	最大	17.2
中央値 (メジアン)	-0.1	分散	11.7	範囲	27.0	地点数	526

R3. 1. 1からR4. 1. 1の1年間の地盤変動量(mm)の統計値							
平均	3.0	最頻値 (モード)	3.2	尖度	1.0	最小	-10.9
標準誤差	0.2	標準偏差	3.7	歪度	-0.6	最大	13.8
中央値 (メジアン)	3.3	分散	13.3	範囲	24.7	地点数	591



※ 変動量は1mm単位 各区間の地点数は 変動量の絶対値を小数点以下第1で四捨五入したもの。
 (例) -10の地点数は -9.5mm ~ -10.4mm の地点数、10の地点数は 9.5mm ~ 10.4mm の地点数を示す。

図1-1 調査地域区分図



調査対象市町村数

① 東部地域	9
② 中央部地域	11
③ 西部地域	17
④ 北東部地域	6
⑤ 比企地域	8
⑥ 北部地域	7
全体	57

※埼玉県の市町村数は63 (R5. 1. 1現在)

※鴻巣市は中央部と北東部にまたがる

図1-2 埼玉県の地形と調査地域（区分）

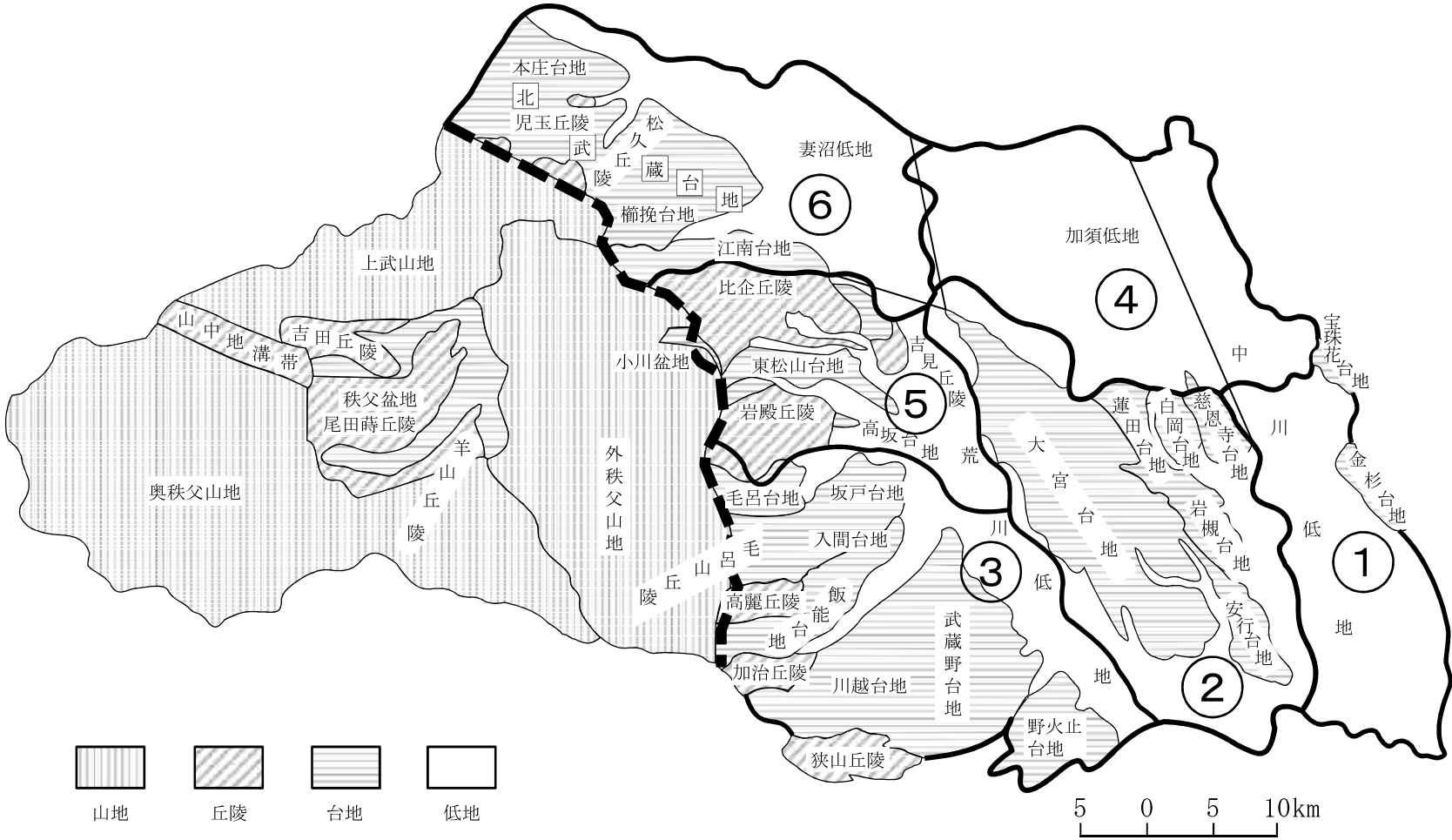


図1-3 地盤沈下経年変化図（越谷市）
 測量基準日（年. 月）

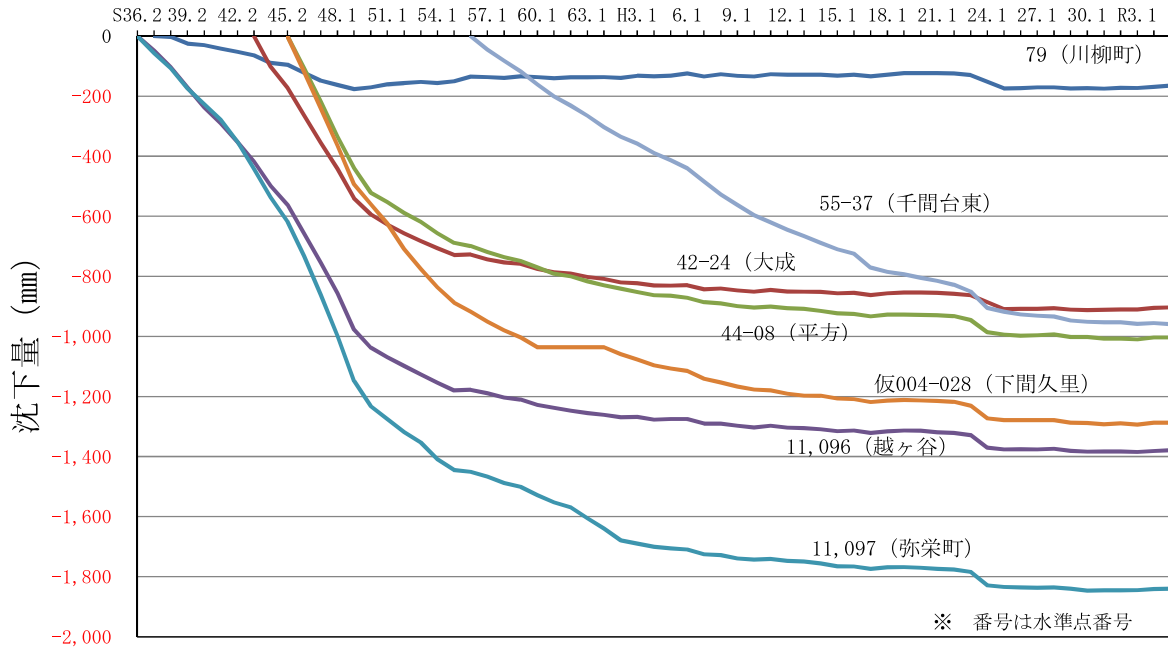


図1-4 地盤沈下経年変化図（春日部市）
 測量基準日（年. 月）

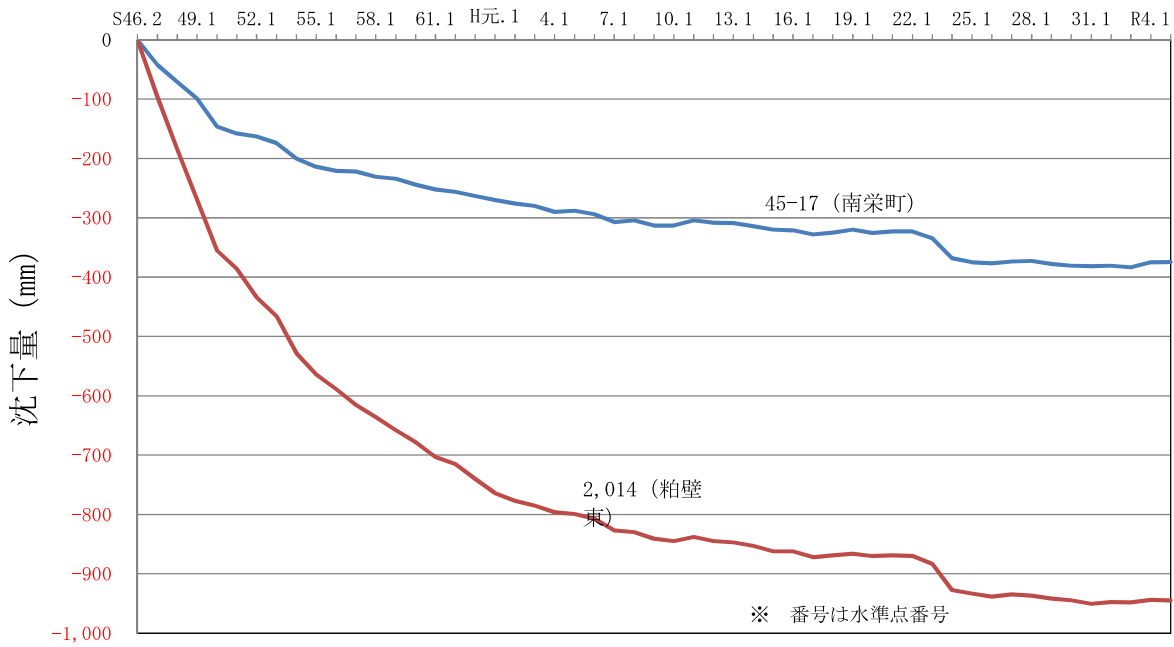


図1-5 地盤沈下経年変化図（川口市）
 測量基準日（年. 月）

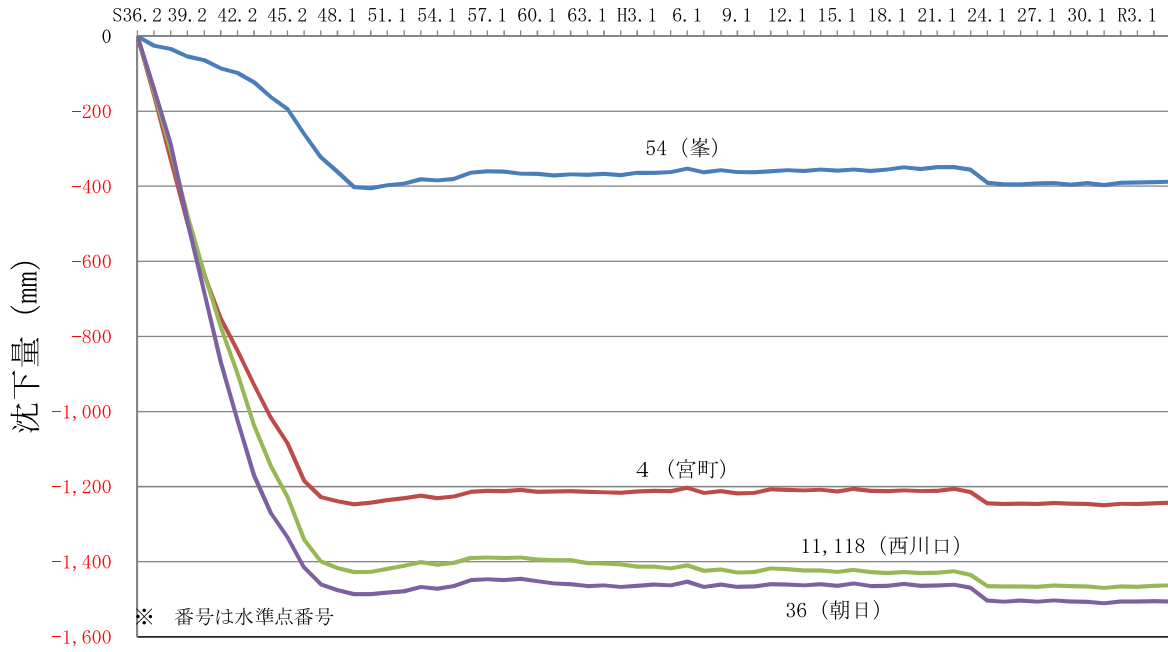


図1-6 地盤沈下経年変化図（さいたま市）
 測量基準日（年. 月）

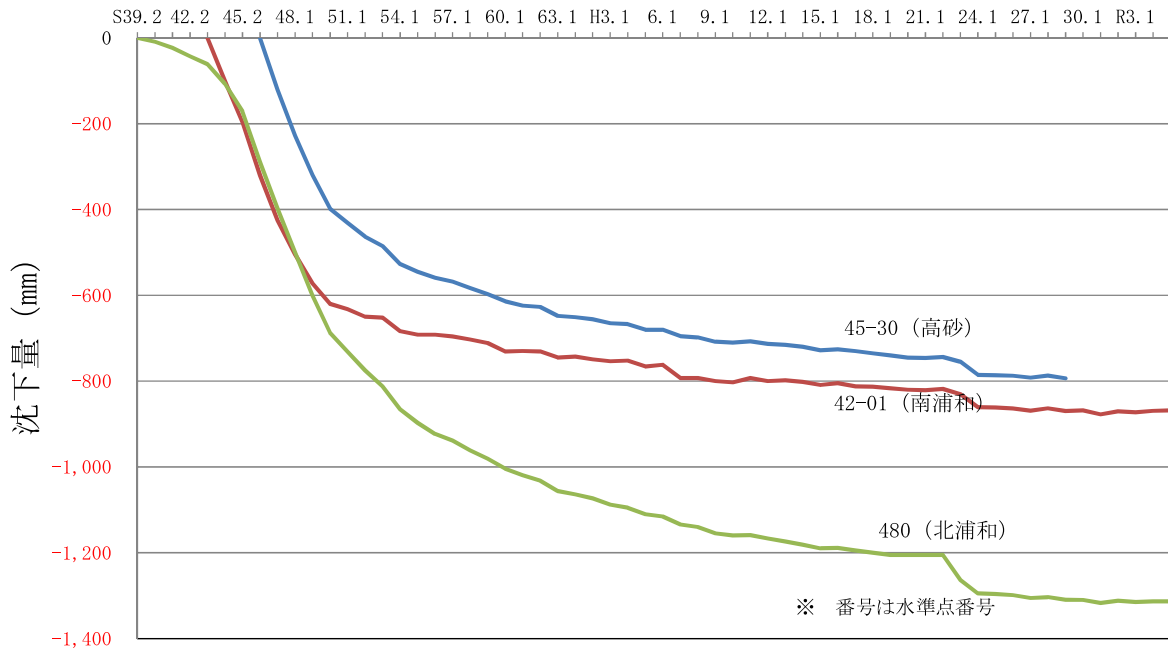


図1-7 地盤沈下経年変化図（所沢市）
 測量基準日（年. 月）

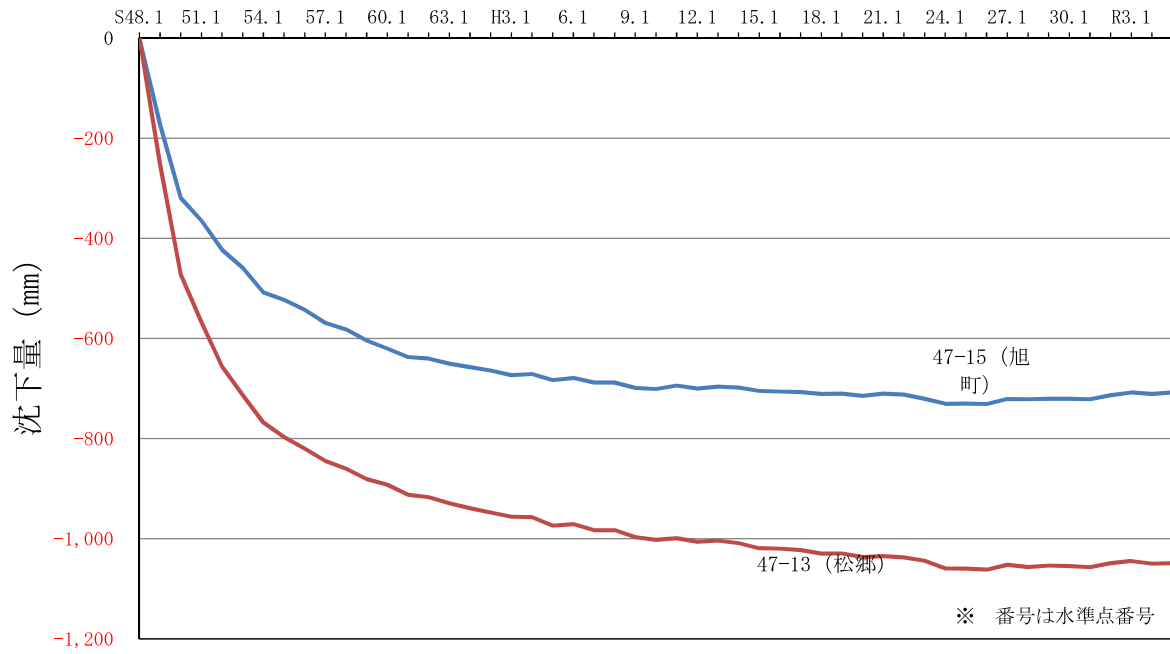


図1-8 地盤沈下経年変化図（ふじみ野市、新座市、三芳町）
 測量基準日（年. 月）

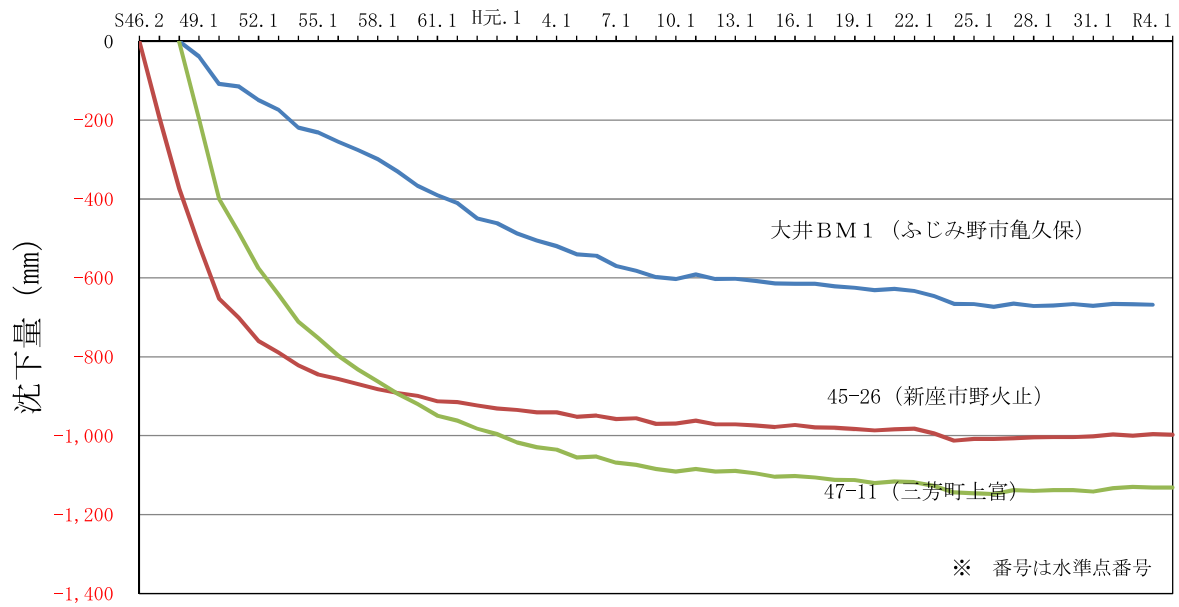


図1-9 地盤沈下経年変化図（幸手市、久喜市）
 測量年月日（年. 月）

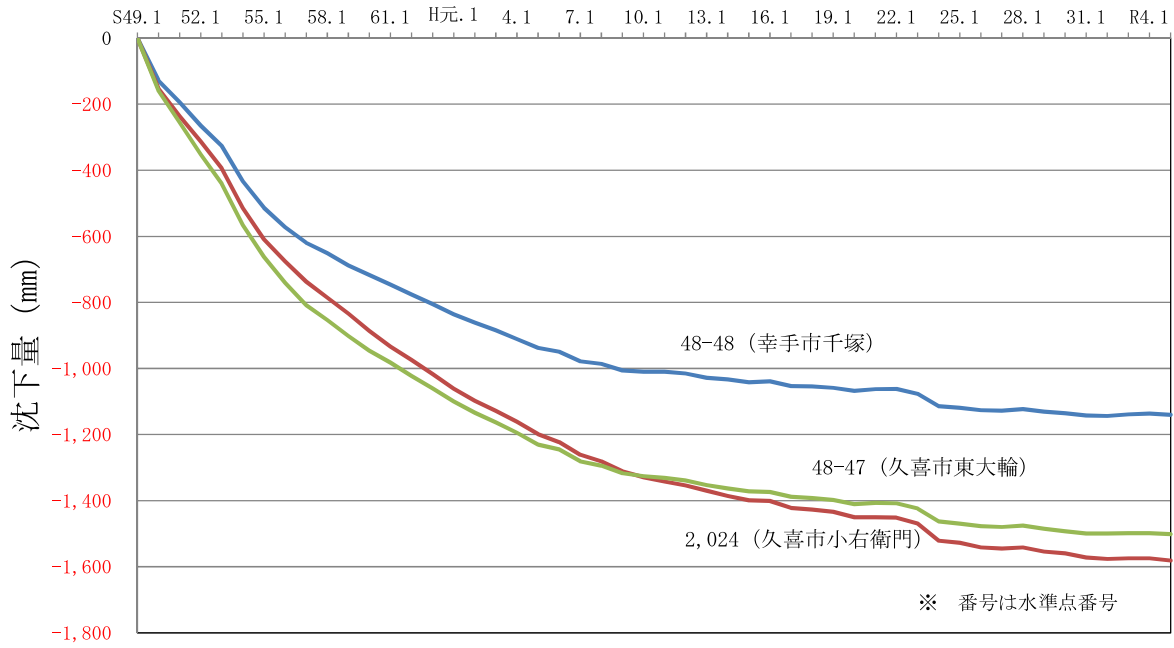


図-10 地域別沈下量面積（年2cm以上）の経年変化図

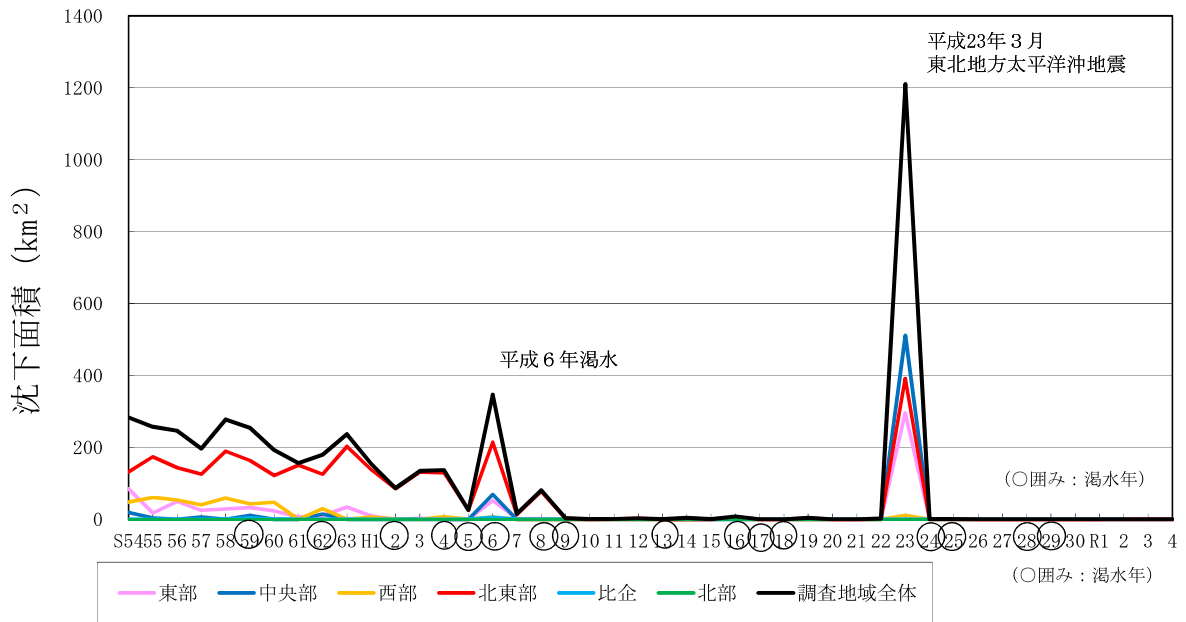
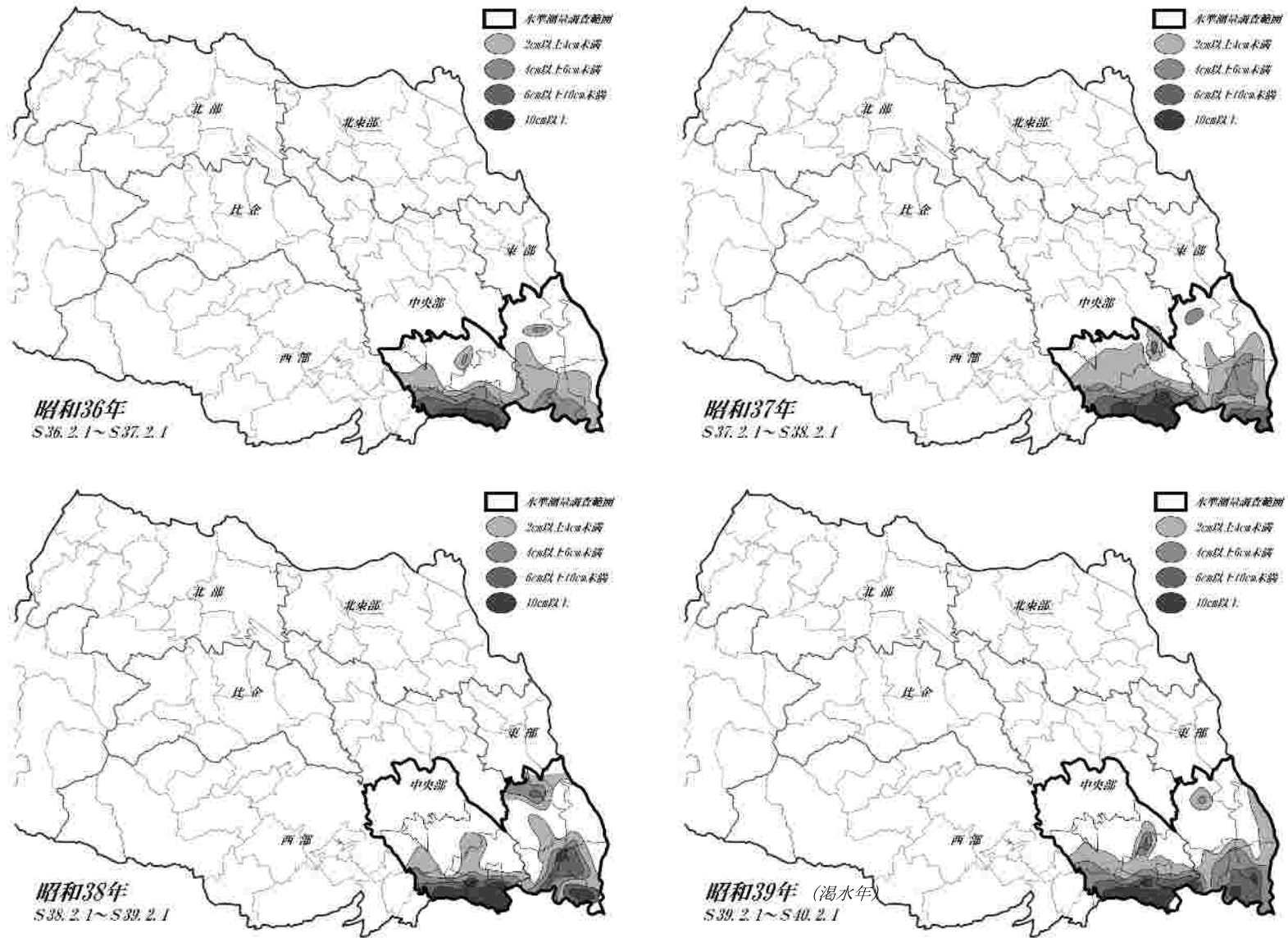
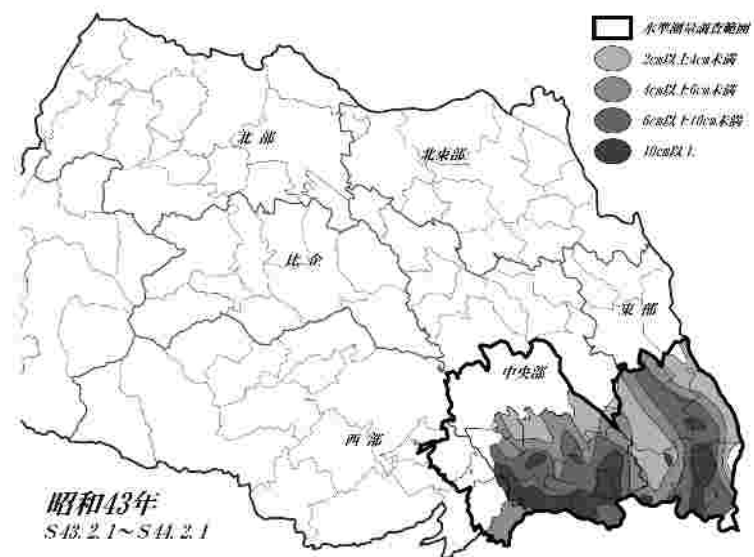
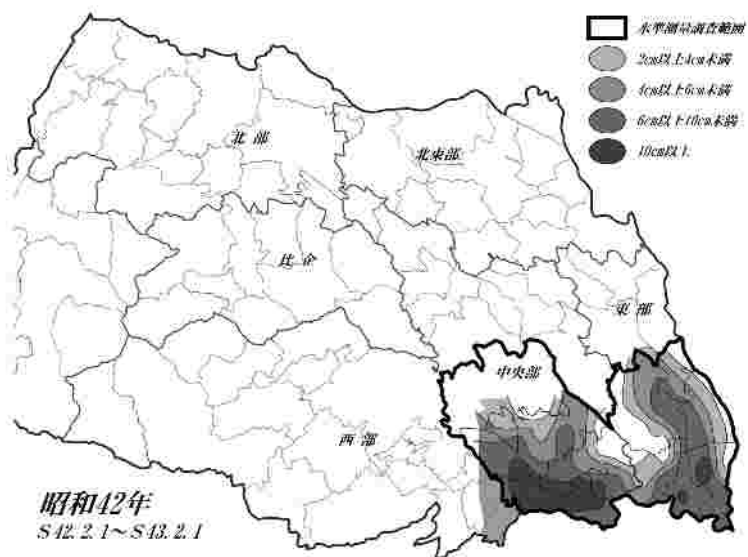
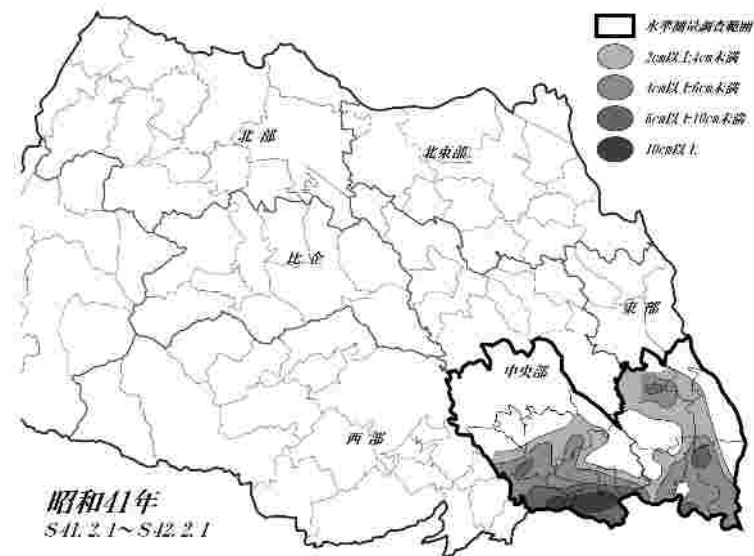
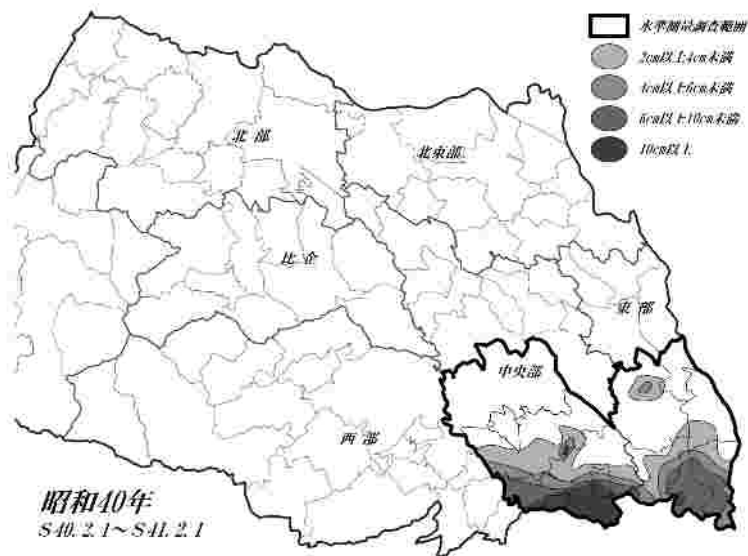
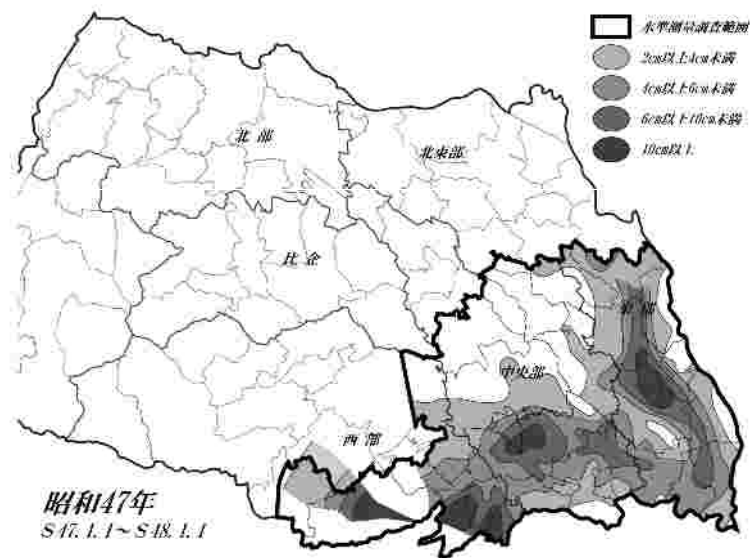
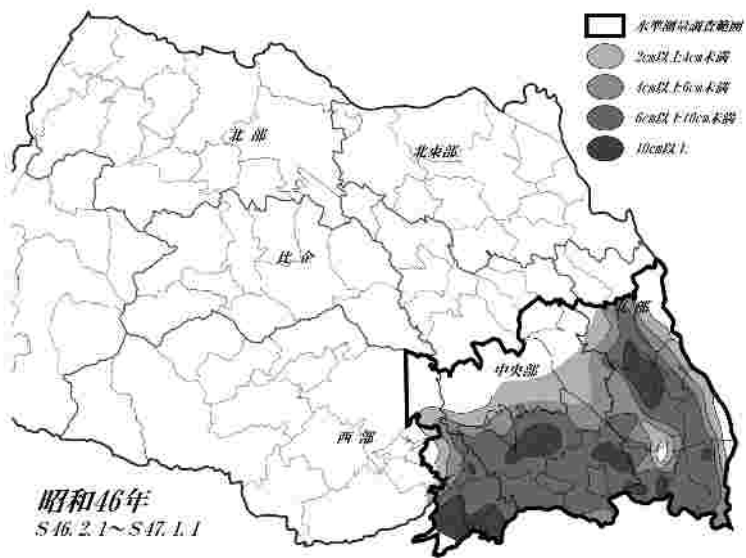
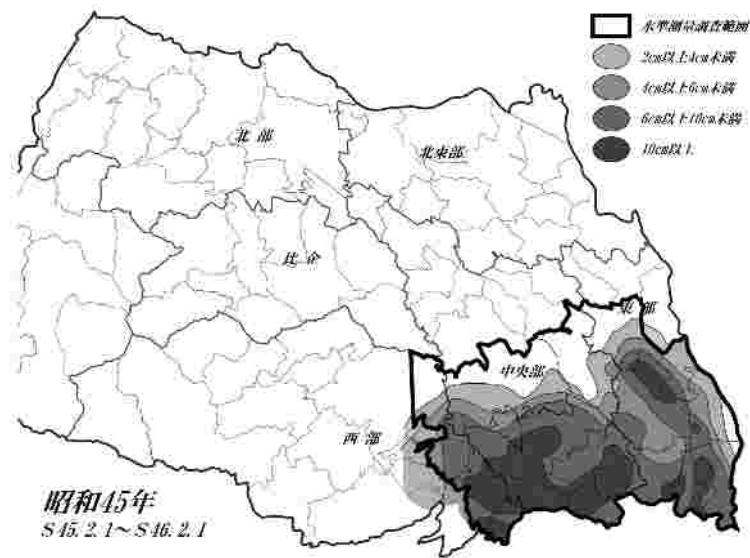
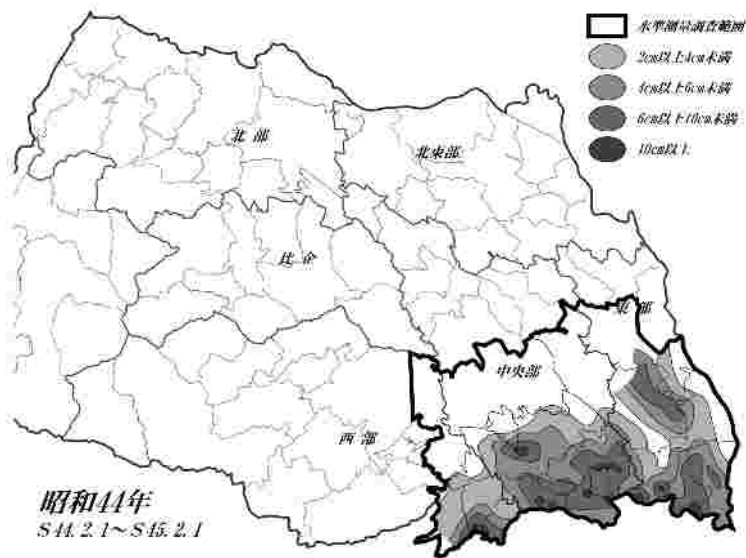
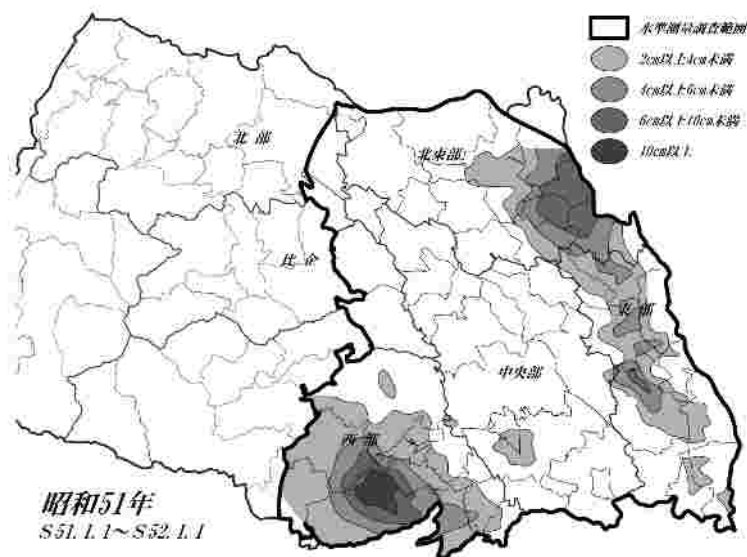
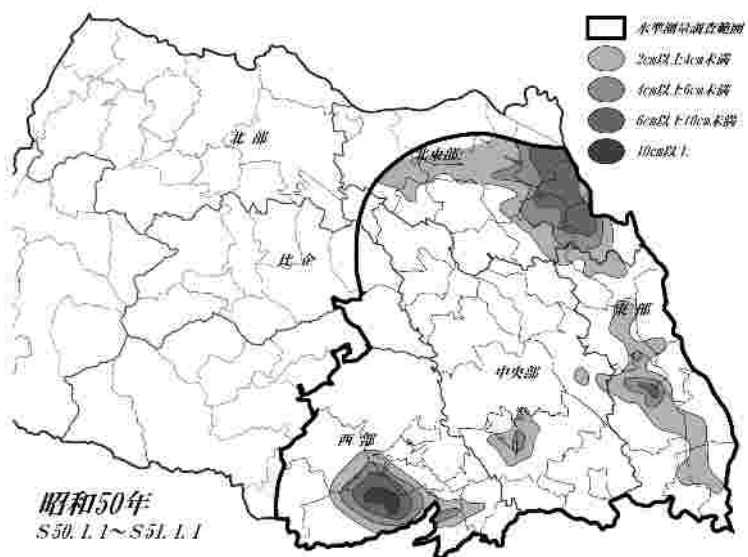
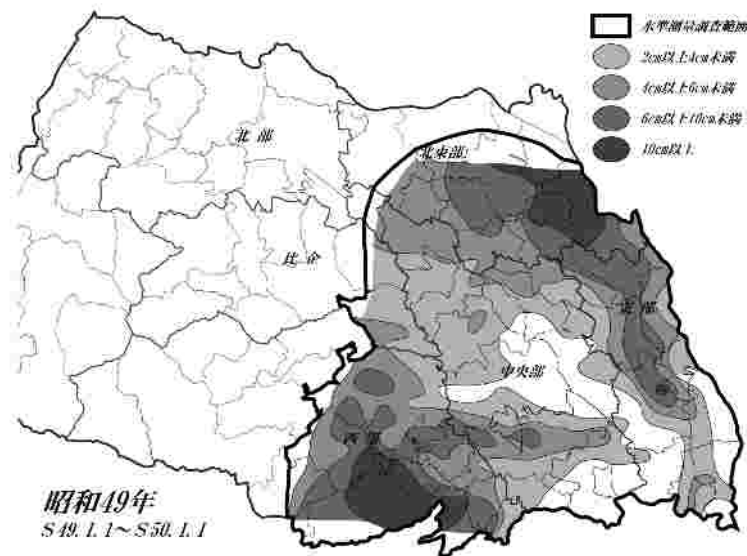
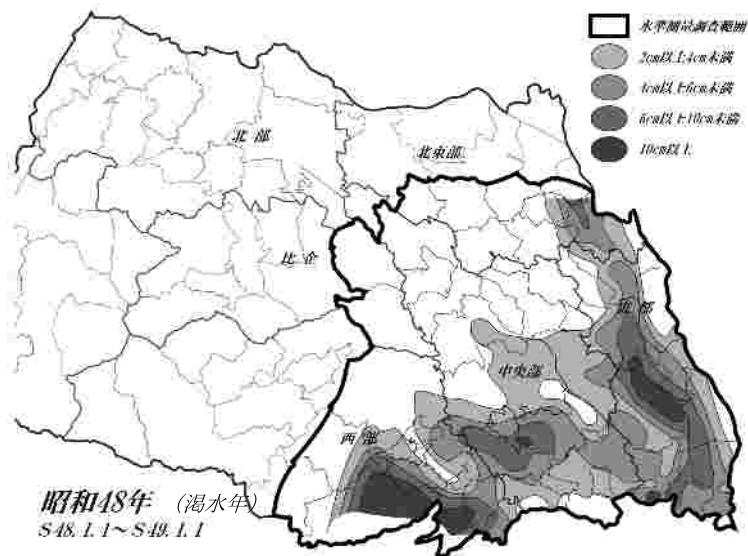


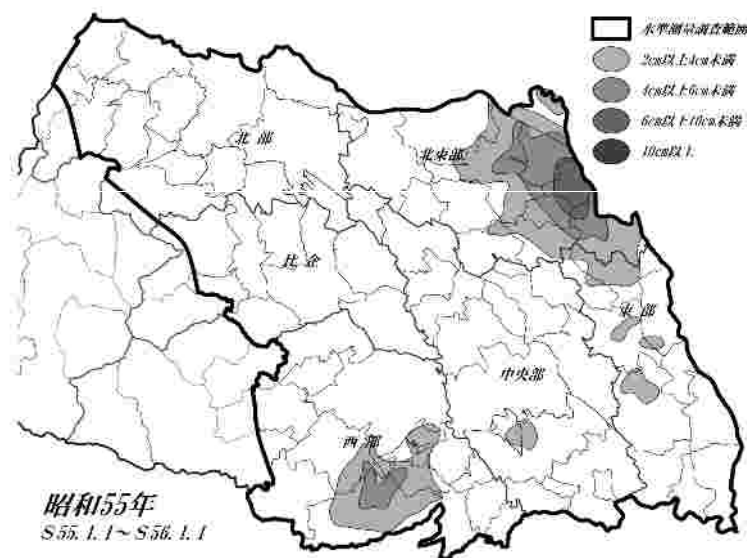
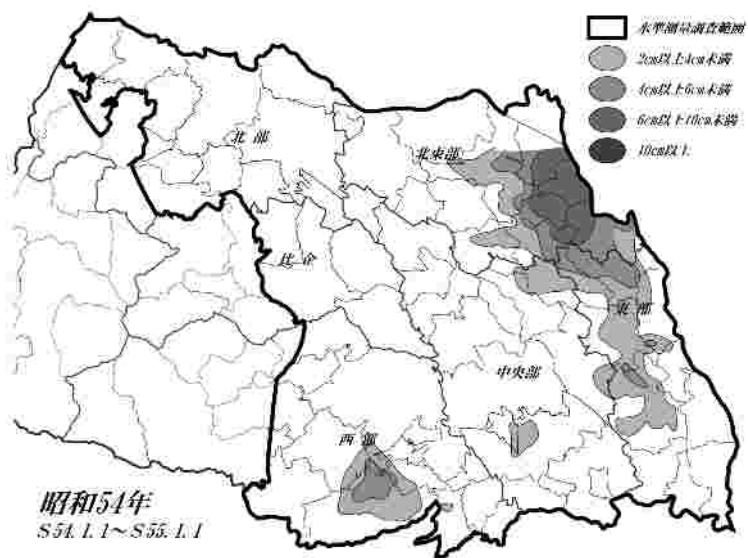
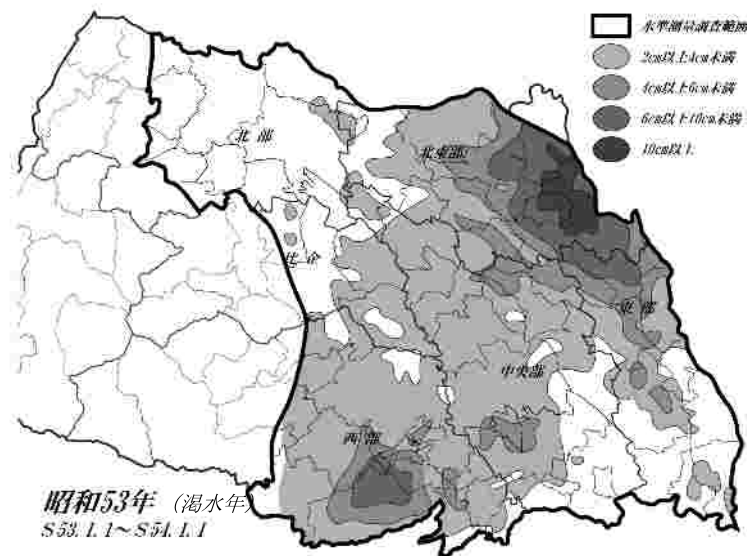
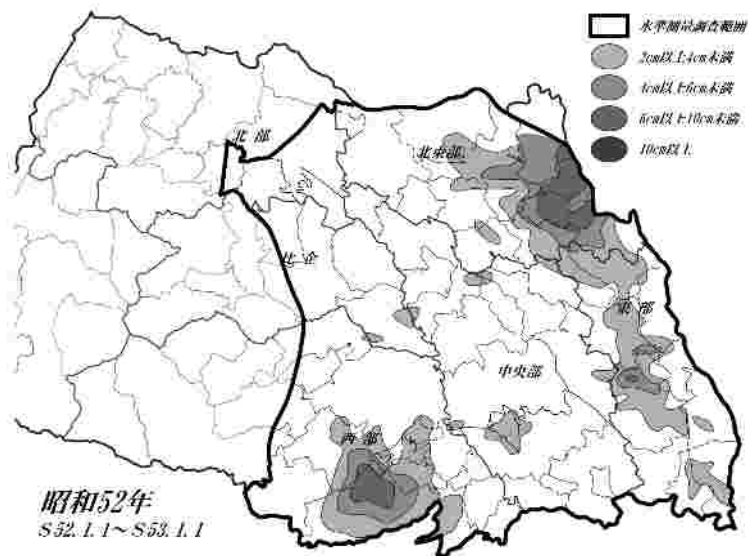
図1-11 地盤沈下地域の経年変化図

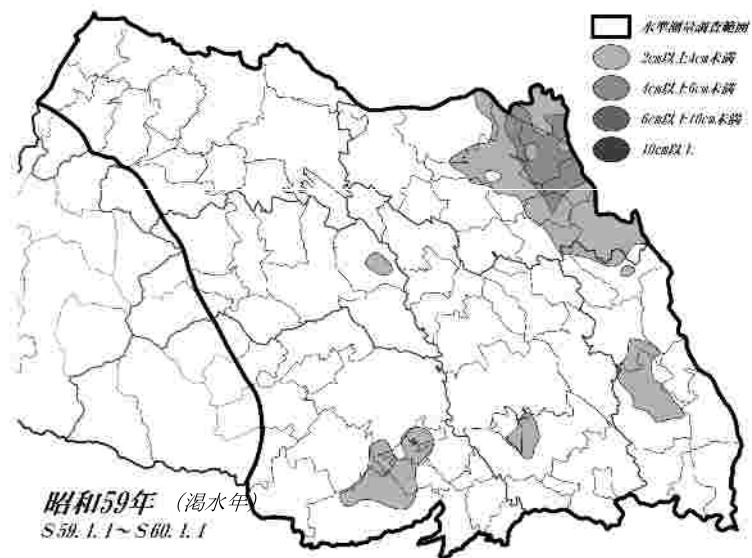
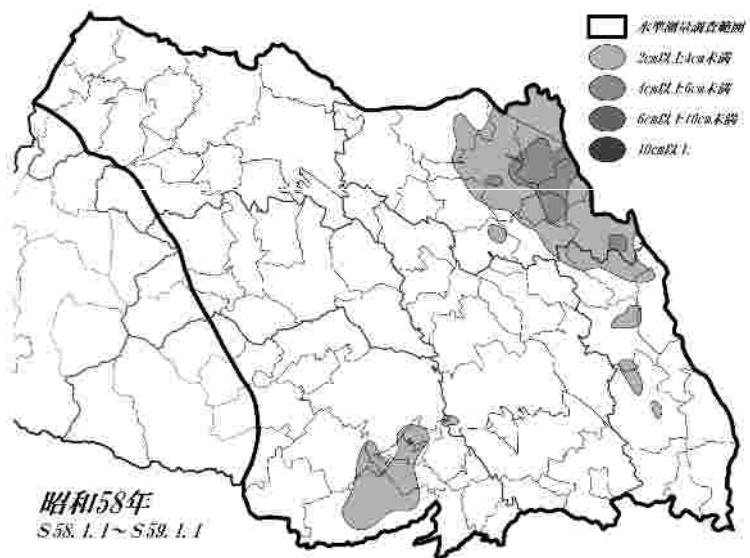
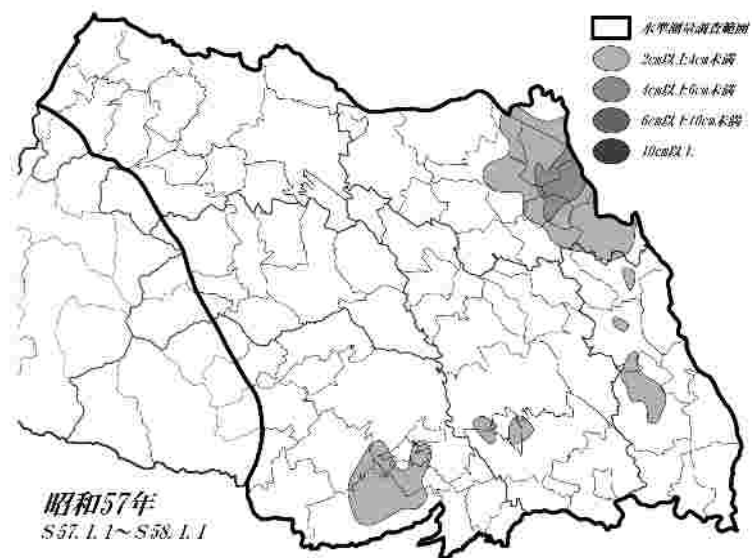
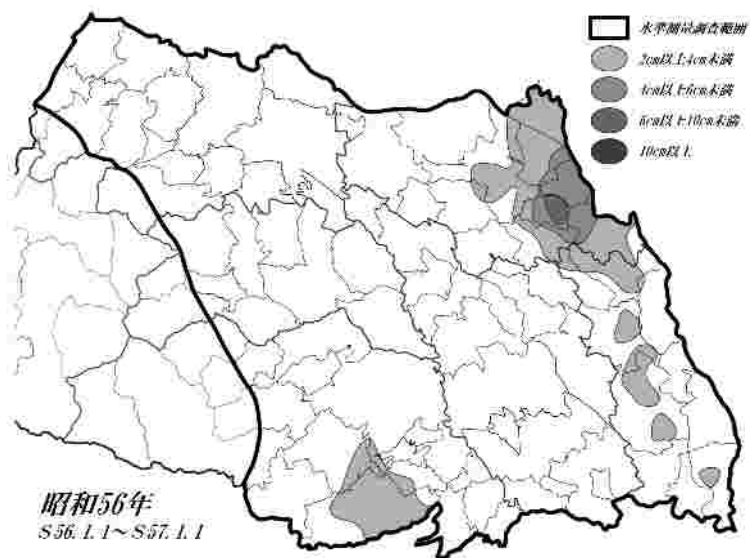


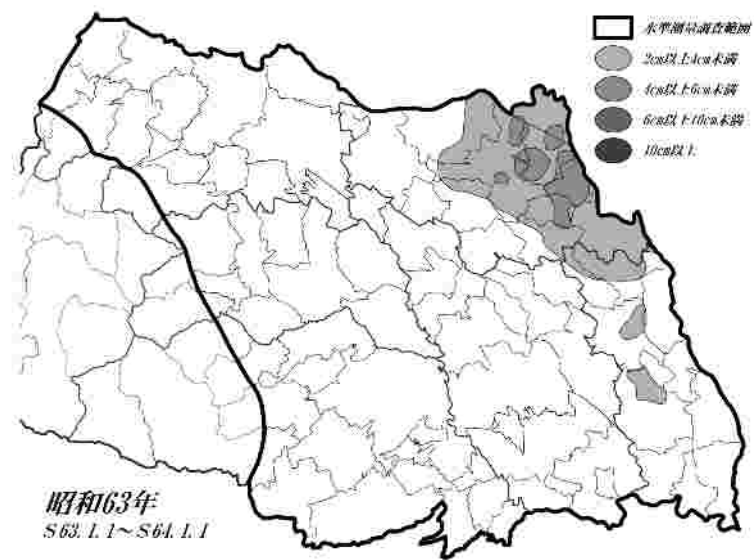
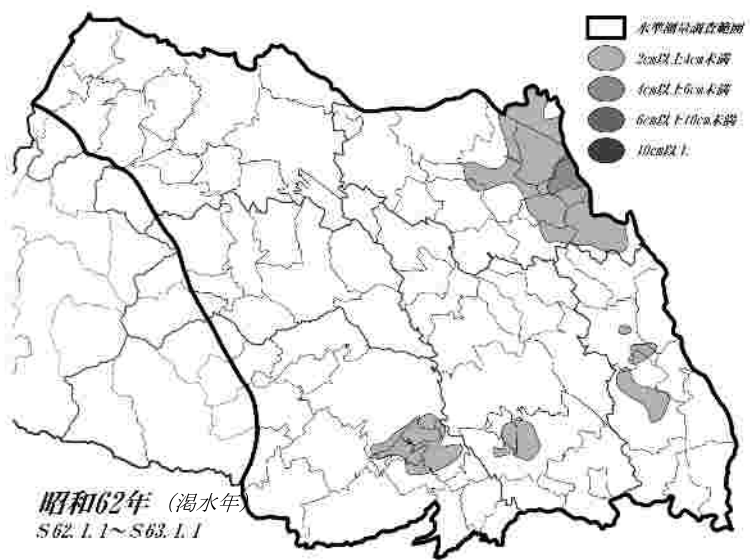
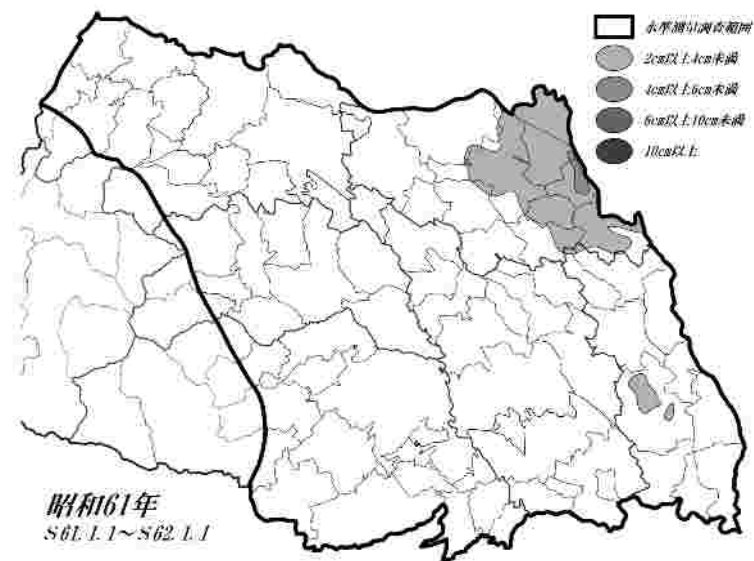
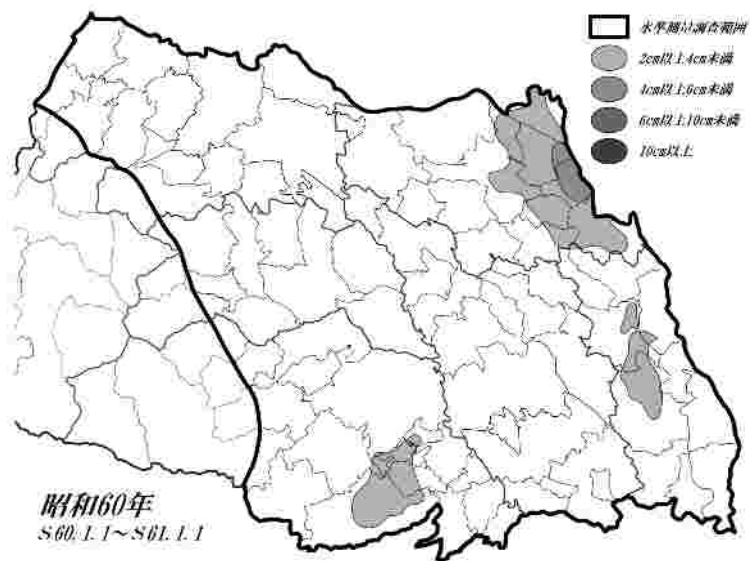


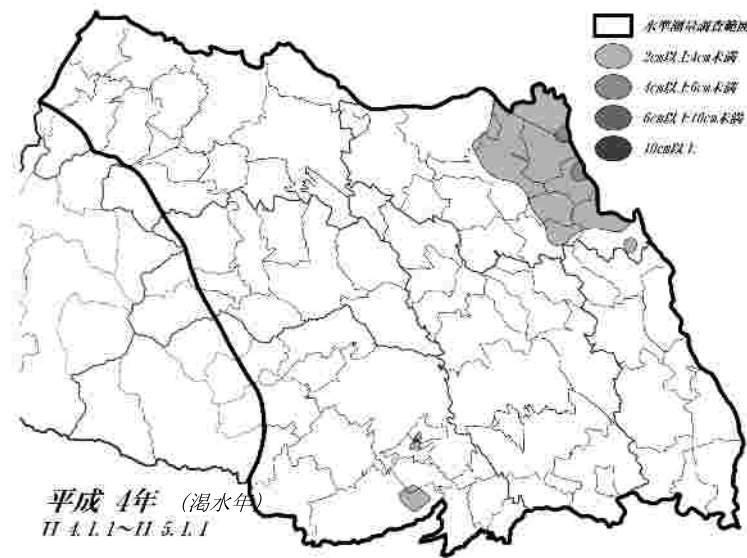
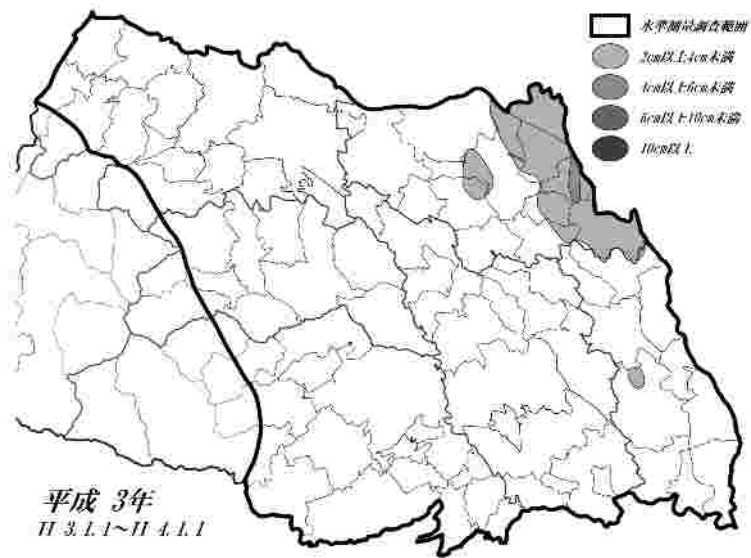
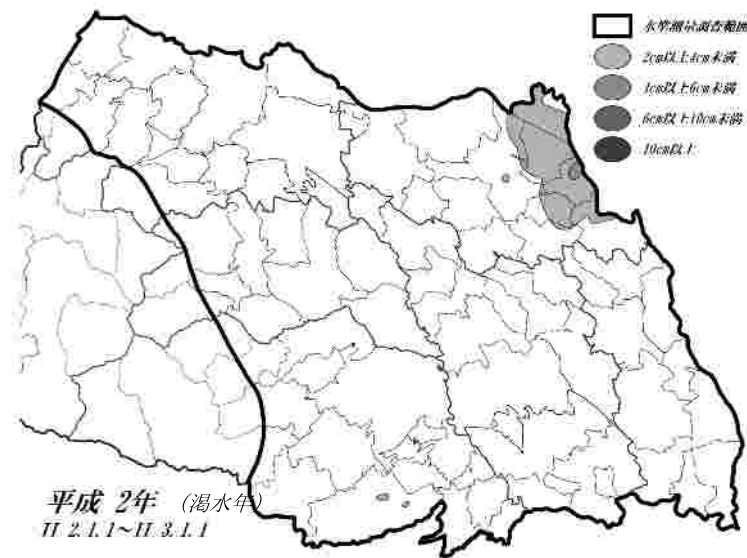
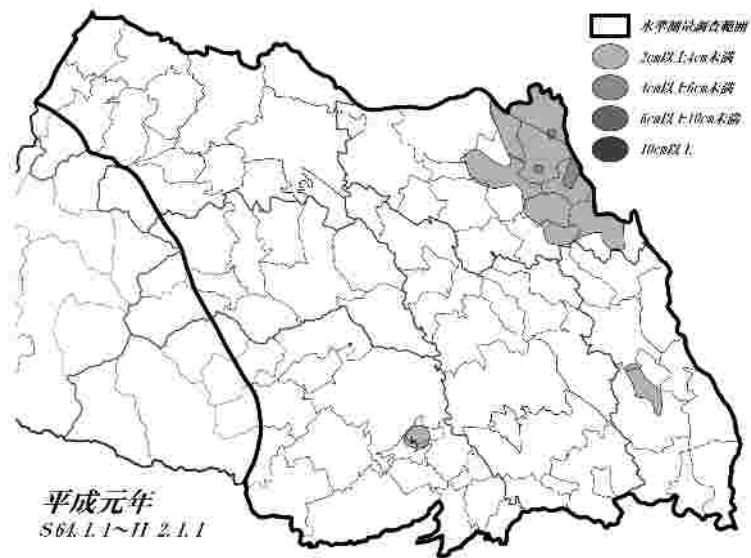


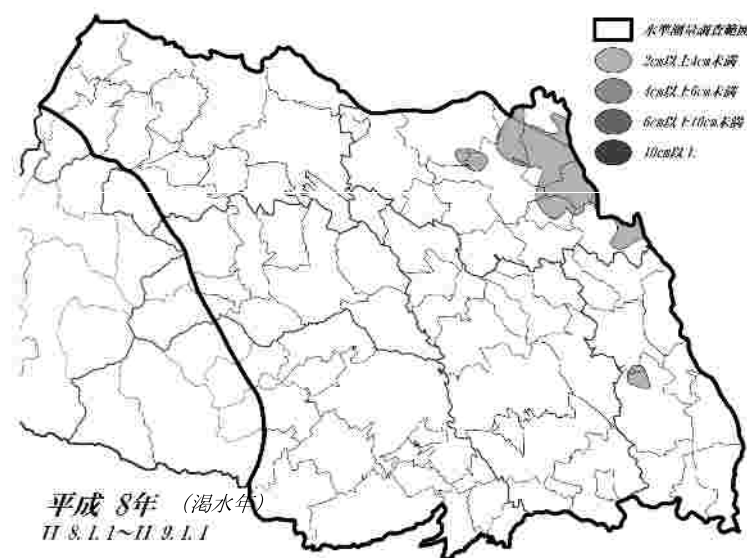
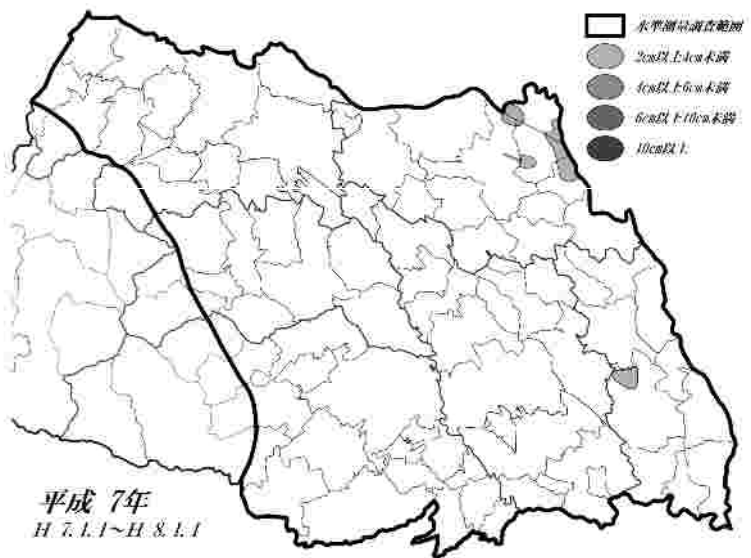
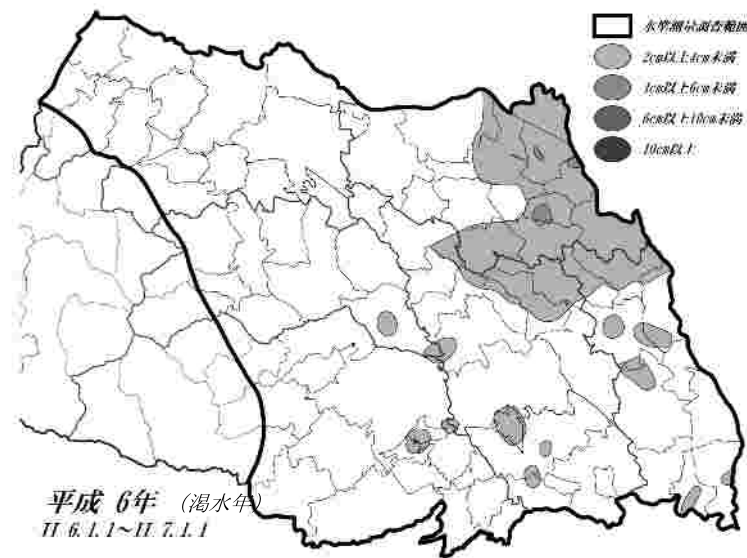
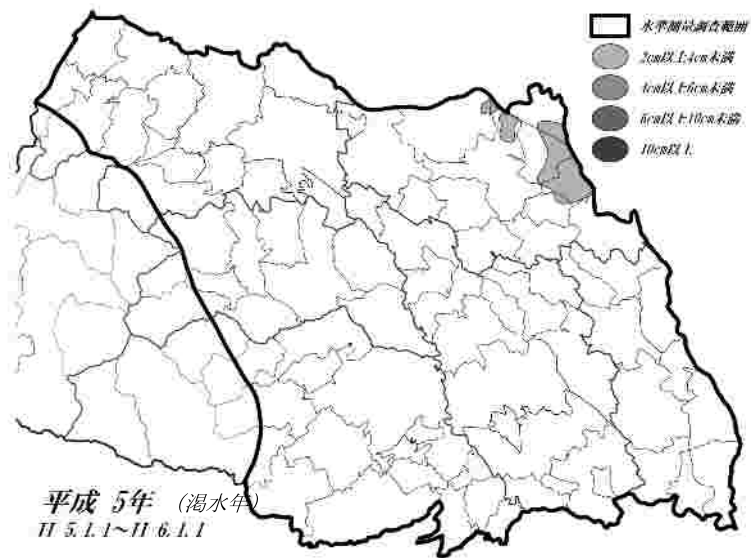


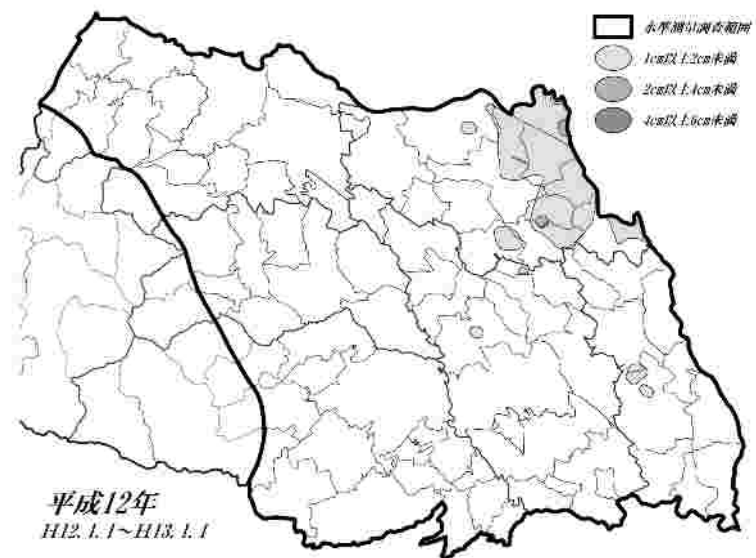
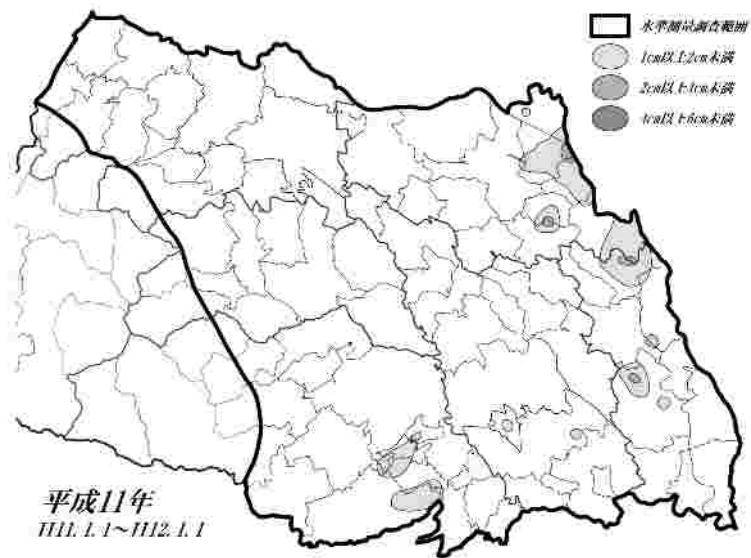
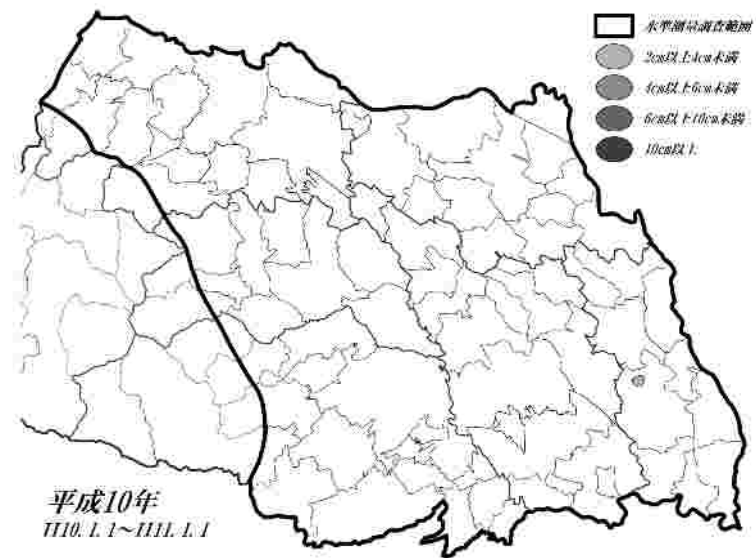
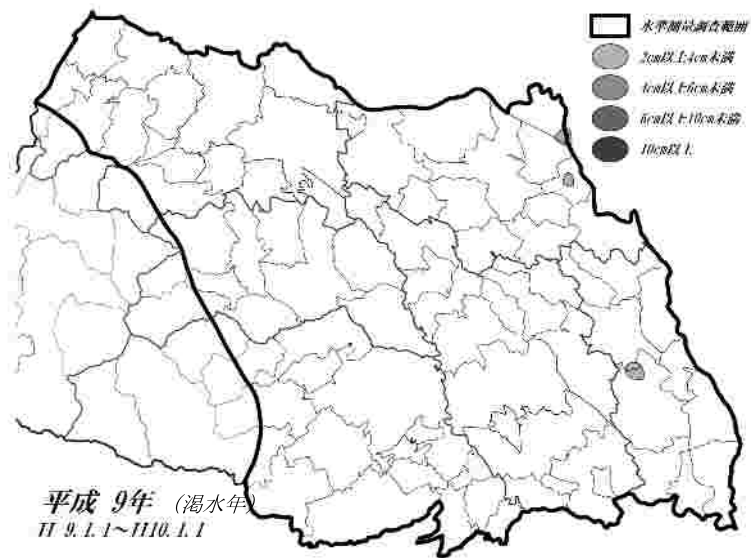


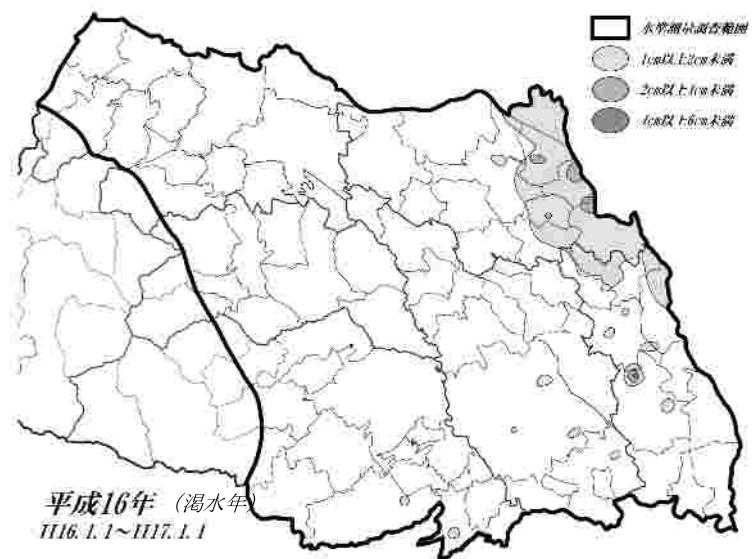
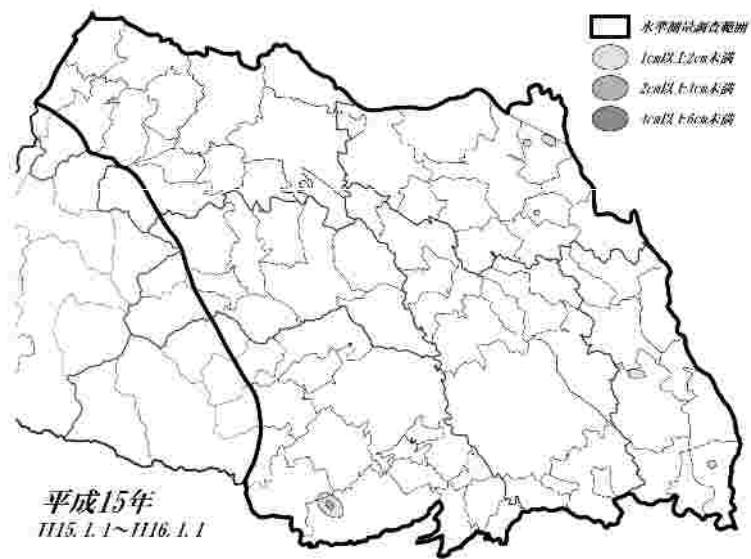
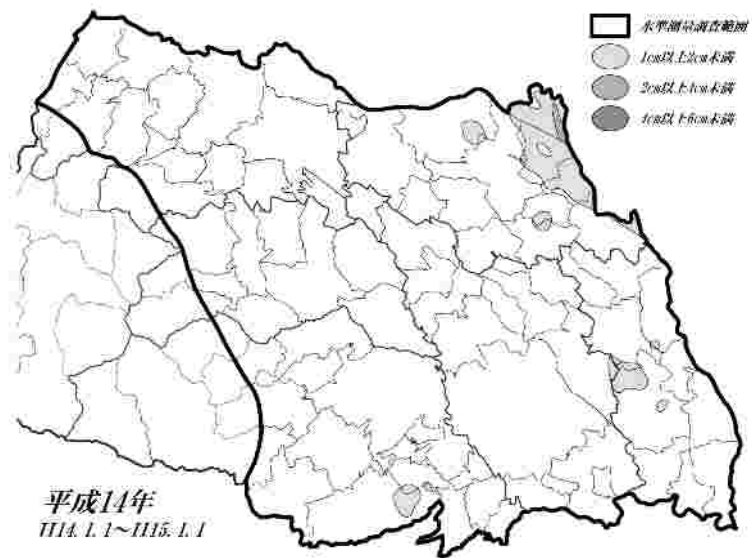
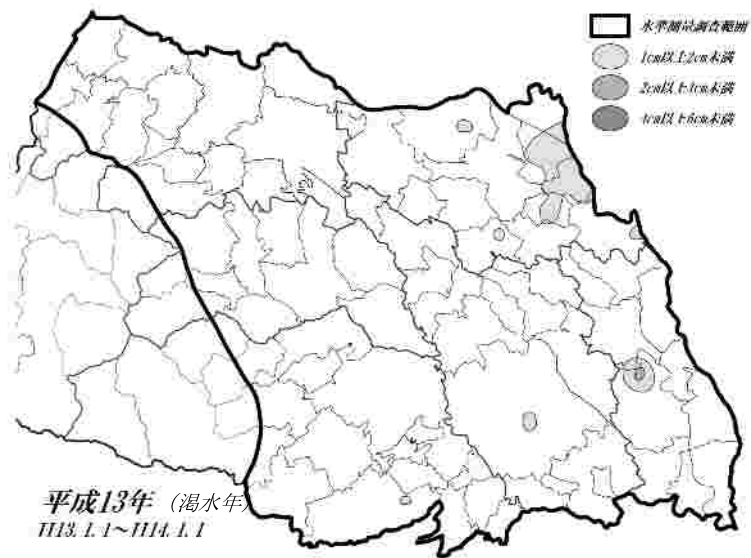


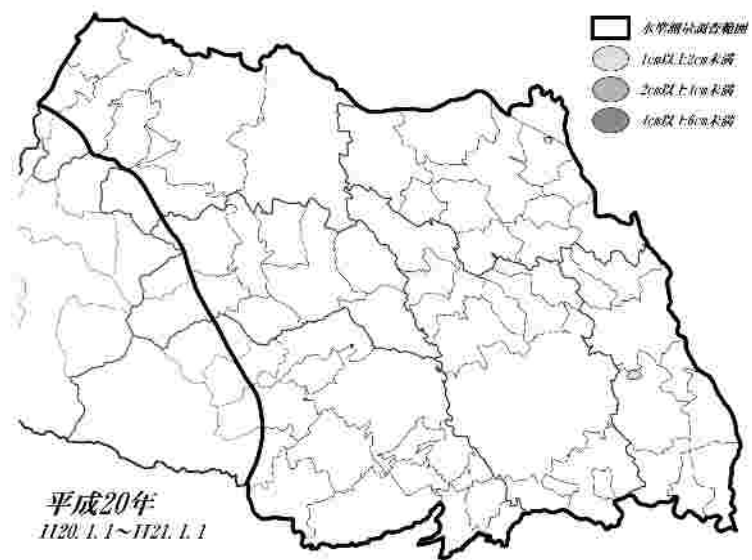
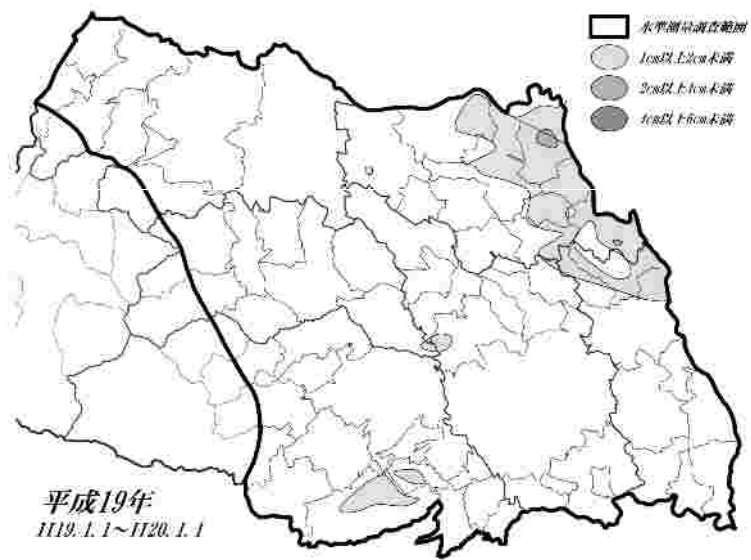
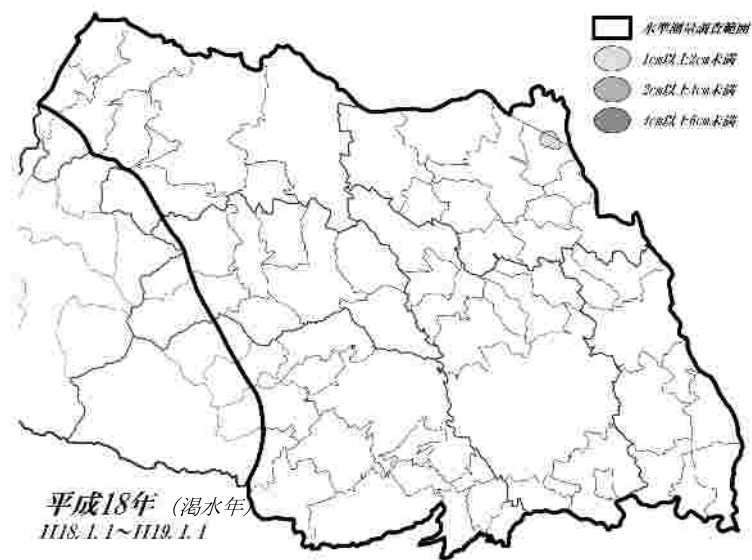
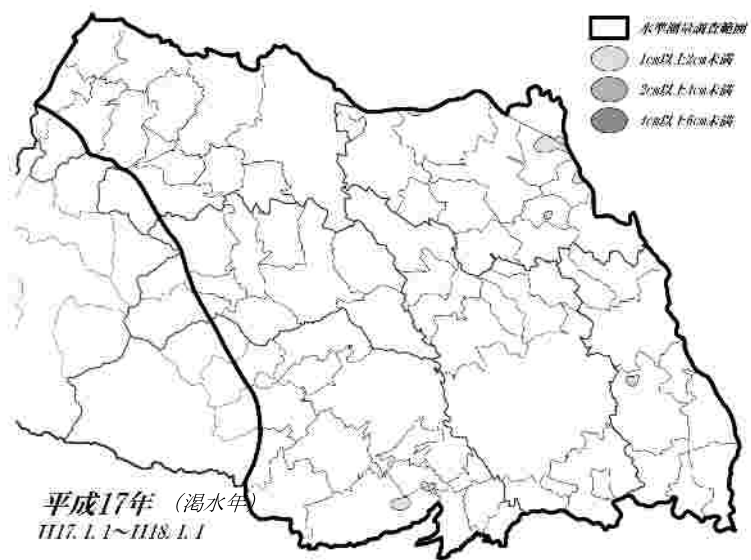


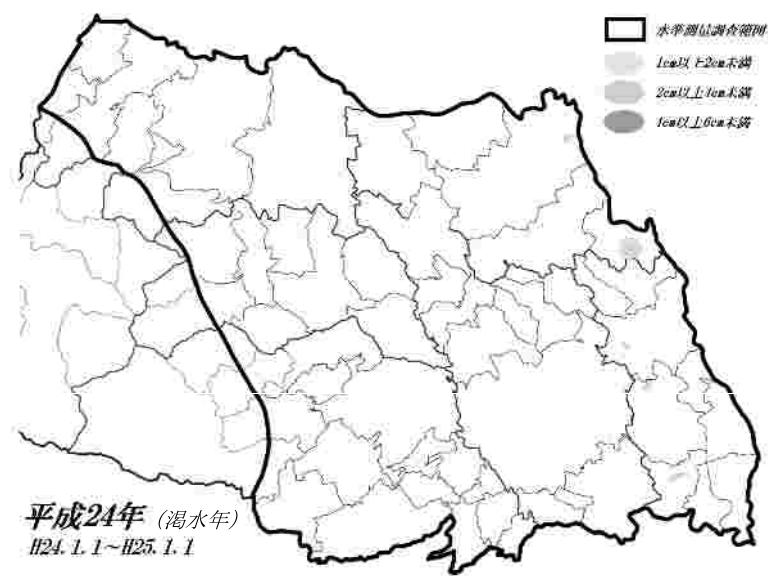
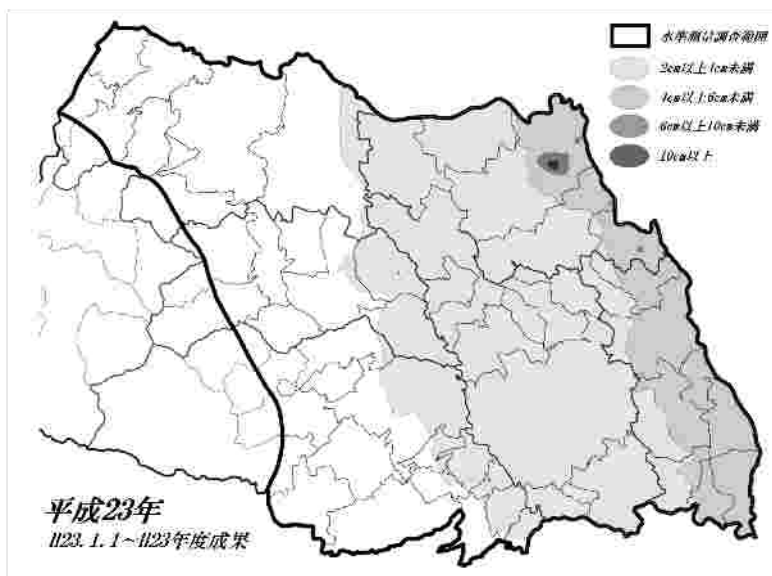
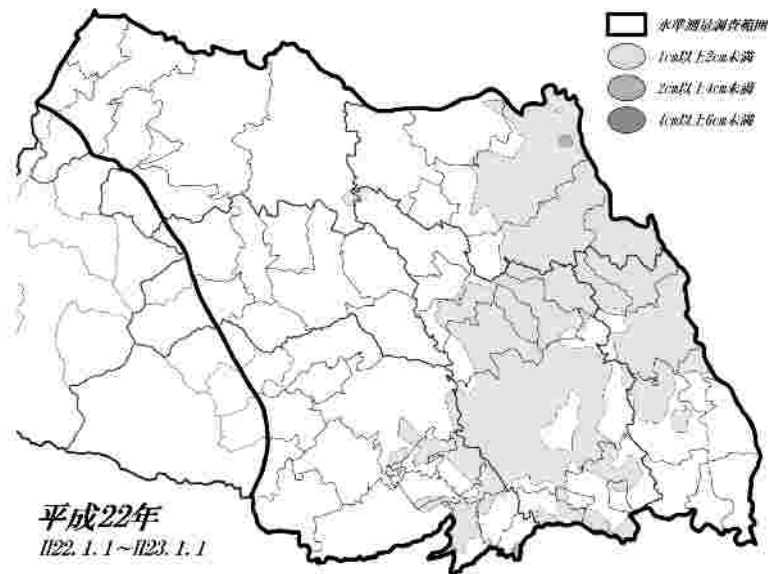
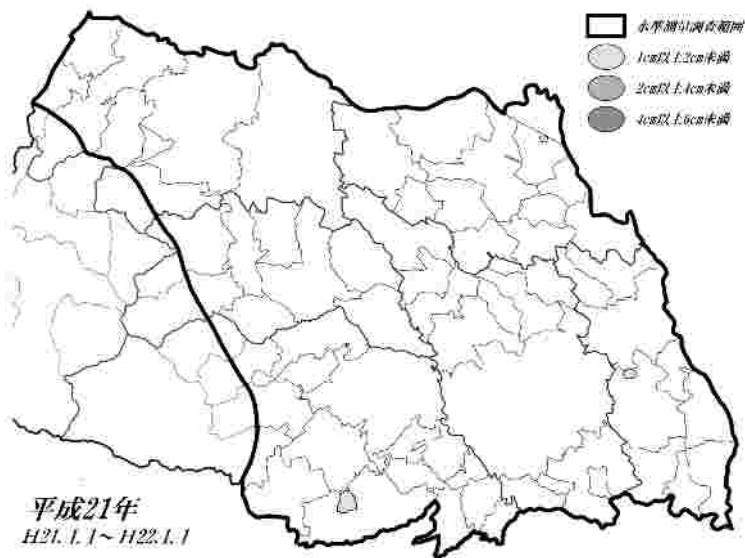


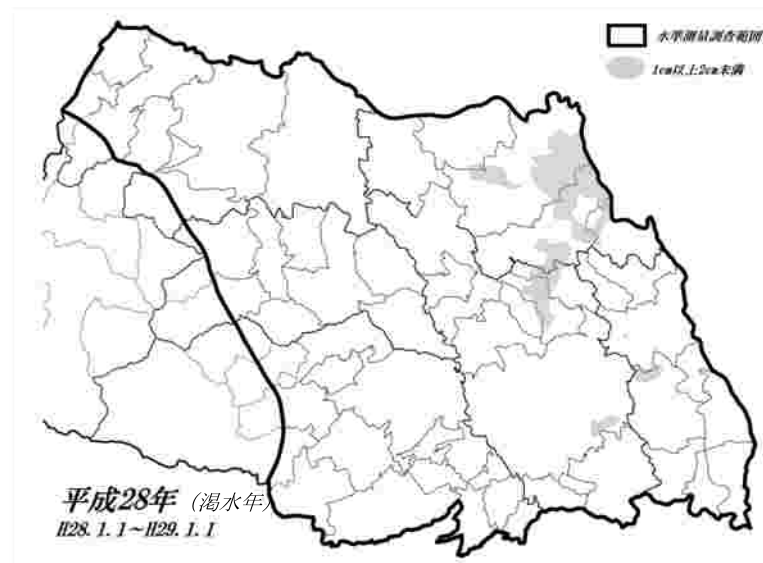
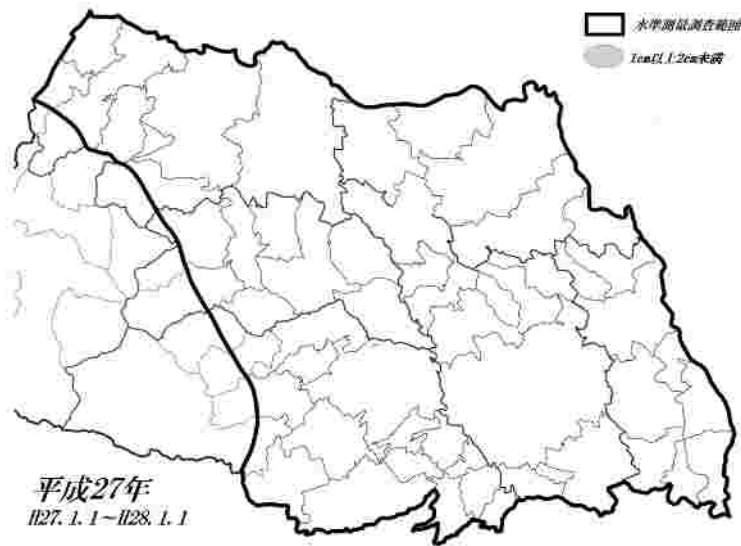
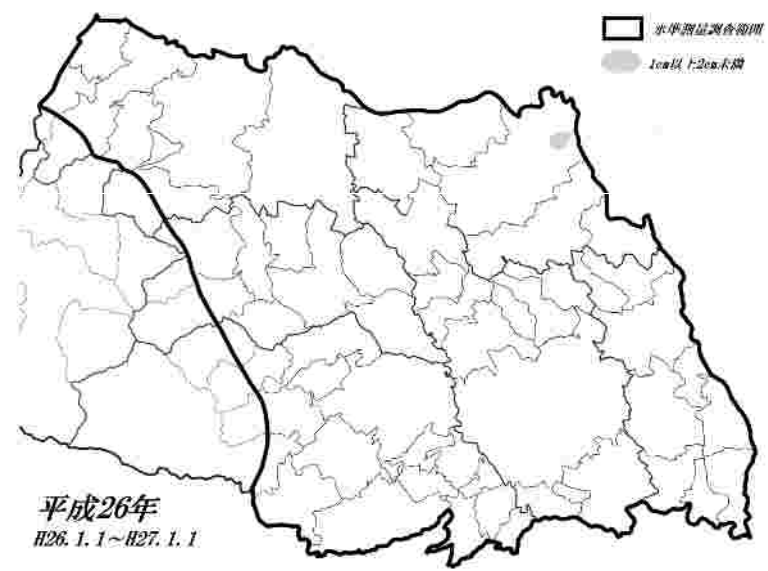
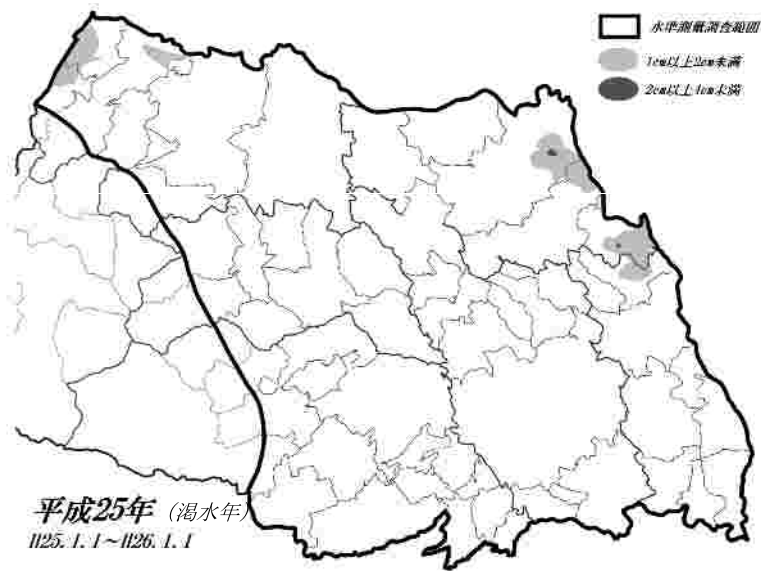


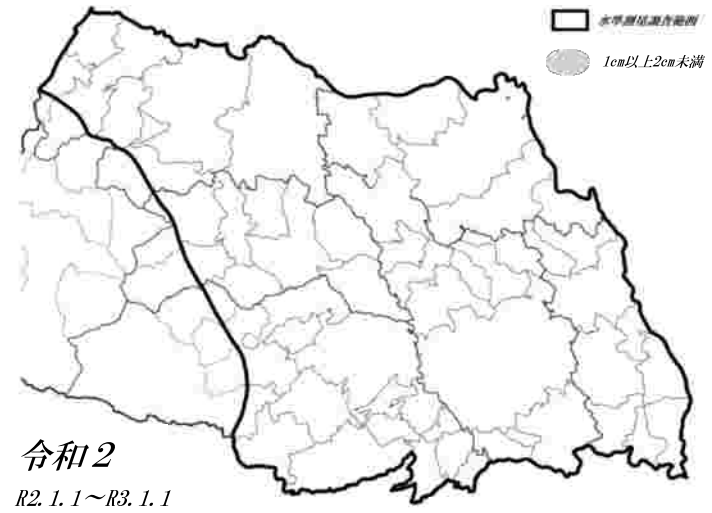
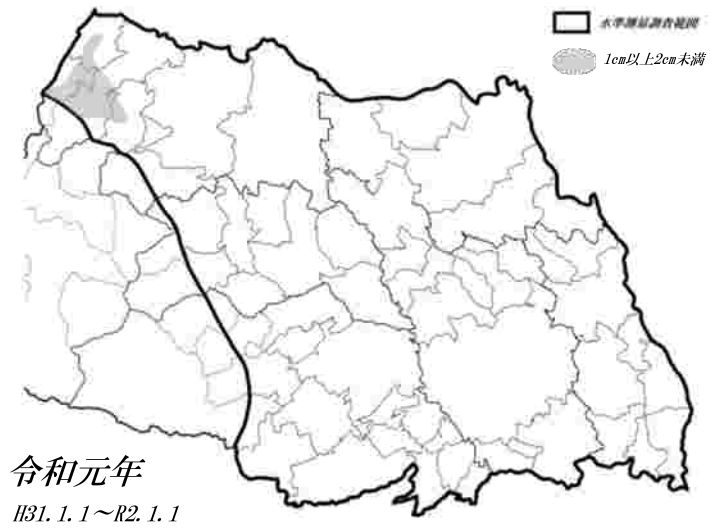
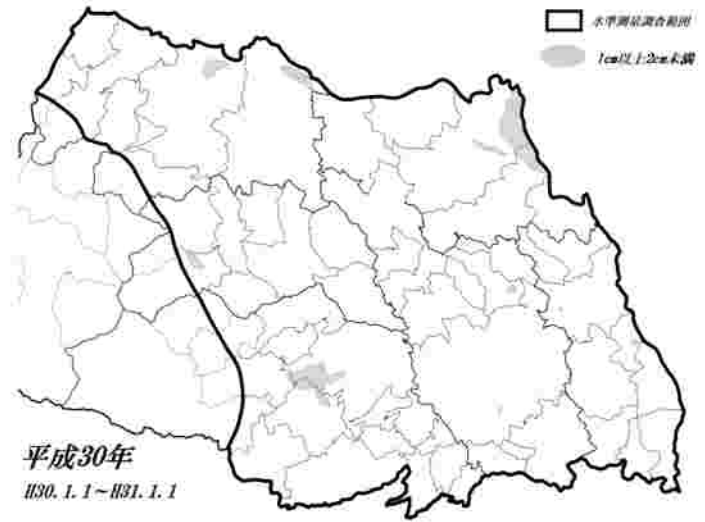
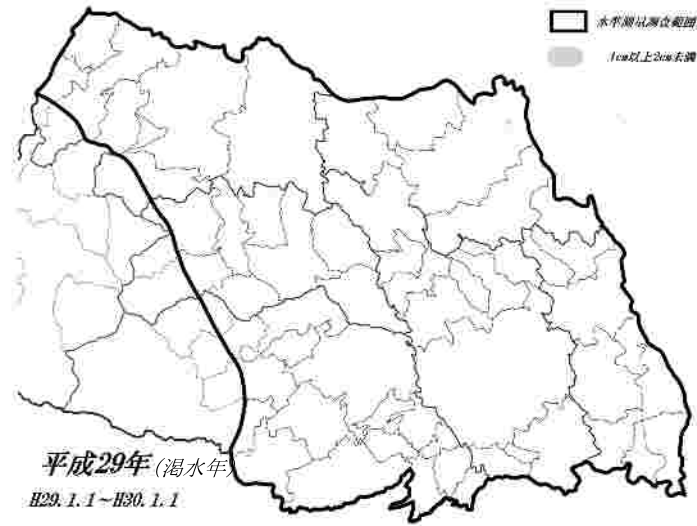


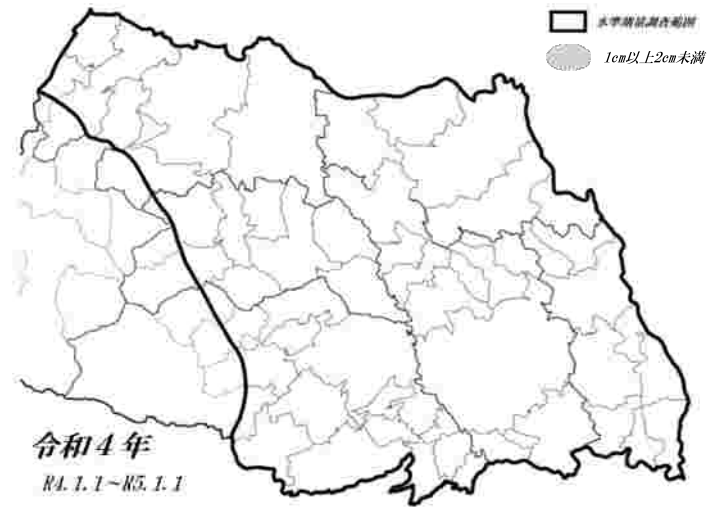
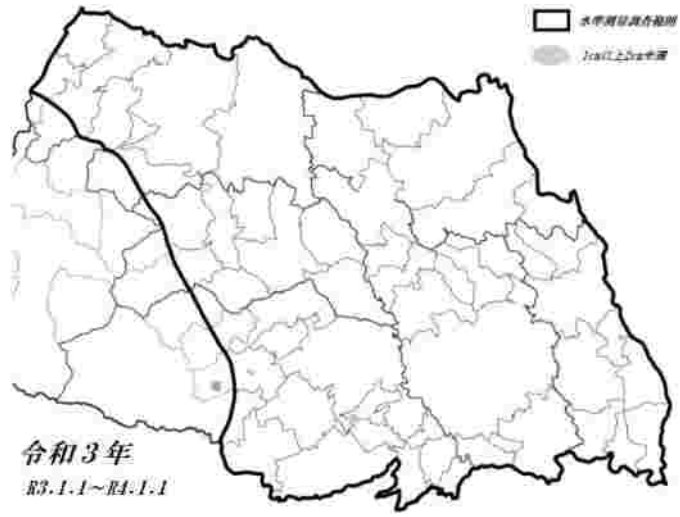












2 観測井による地盤沈下・地下水位の観測結果

(1) 観測方法

ア 地盤沈下計による観測

地盤沈下量の観測は、観測井に固定した地盤沈下計を、地表に固定した台座（県ではH型钢を用いている）に設置することで、地表から観測井の底部までの地層の収縮量を観測した。

これは、観測井の抜け上がり現象を利用したもので、1つの観測所に深度の異なる複数の観測井を設けることで、地層ごとの収縮量を把握することができる。

また、観測結果に地殻変動の変動量が含まれる水準測量と異なり、地下水の汲み上げによる地盤沈下を観測することができる。

イ 地下水位計による観測

地下水位の観測は、フロートによる自記記録式又は水圧センサーによる電子式の地下水位計を用いて、管頭下水位を観測した。

ウ 観測期間

令和4年1月1日～令和4年12月31日

エ 観測地点

令和4年12月31日現在、地盤沈下量及び地下水位の観測は、埼玉県が35観測所62井、さいたま市が3観測所3井の体制である。また、18観測所でテレメーターによる常時観測を行っている。（表1-11、-12、図1-12）

(2) 観測結果の概要

ア 全県的な地盤変動と地下水位の観測結果

各観測所における地盤沈下量は表1-13、地下水位は表1-14のとおりであった。なお、地下水位について、常時観測を行っていない観測所は月1回の実測による結果を表1-15に、また、さいたま市が管理する観測所の結果は表1-16に記載した。

なお、一部の観測井で、機器の故障等で欠測となっている時期がある。

地盤変動については、年間の累積変動量で収縮を示した観測井は20井であった。なお、最も大きな収縮量を示したのは、春日部中央4号井の0.6cmとなっている。（表1-13）

地下水位については、ほとんどの観測井で去年の平均の地下水位よりも高かった。また月別にみると川島3号（7月）で去年と比べて1m以上(1.40m)の低下を示した。（表1-14）

観測開始時からの地盤変動及び地下水位の状況は図1-13～-21のとおりである。

イ 主な観測井における地盤変動と地下水位の観測結果

(ア) 浦和観測所

浦和観測所には観測井が2本あり、地表面から深さ0m～150m（1号井）及び深さ150m～250m（2号井）間の地層の変動状況を観測している。また、ストレーナー深度は114m～119m、133m～138m（1号井）、169m～174m、184m～190m（2号井）である。

地盤変動は、降雨に対応した変動を示しており、降雨時に膨張、降雨後は収縮傾向を繰り返している。

返しながら、全体的にはやや膨張傾向で推移している。10月以降は、降水量が少なく、ほぼ一様な収縮傾向を示している。年間の累積地盤変動量は0.92mm(1号井)、1.23mm(2号井)の膨張であった。

地下水位は、2井とも類似した変動を示しており、年間を通して小刻みな変動を繰り返している。また深度の深い2号井が約3m低い水準の水位となっている。本年は、6月下旬までは小刻みな変動を繰り返しながら横ばいまたは緩やかな低下傾向を示し、その間の低下量は約1.5mであった。7月～8月は上昇と低下を繰り返しながら推移した。9月以降はゆるやかな上昇傾向で推移している。

観測井内の年間平均水位は前年に比べて1号井は0.67m、2号井は1.00m上昇した。

(イ) 越谷東観測所

越谷東観測所には観測井が3本あり、地表面から深さ0m～60m(3号井)、60m～160m(2号井)及び160m～315m(1号井)間の地層の変動状況を観測している。また、ストレーナー深度は43m～48m(3号井)、74m～96m(2号井)、267m～283m(1号井)である。

地盤変動は、降雨に対応した膨張・収縮を繰り返している。6月から7月にかけて5mm程度の収縮を示したのち、8月以降は収縮と膨張を繰り返しながらほぼ横ばい傾向で推移した。年間の累積地盤変動量は2.31mm(3号井)、2.09mm(2号井)、2.10mm(1号井)の収縮であった。

地下水位は、深度の浅い3号井の水位が最も浅く、深度が深くなるにしたがって水位が深くなる関係にある。2号井と3号井は類似した水位変動を示しており、本年はほぼ横ばいで推移した。1号井は、緩やかな上昇傾向を示している。

観測井内の年間水位は前年に比べて0.26m(3号井)、0.35m(2号井)、1.02m(1号井)の上昇であった。

(ウ) 所沢観測所

所沢観測所には観測井が2本あり、地表面から深さ0m～240m(2号井)及び深さ240m～415m(1号井)間の地層の変動状況を観測している。また、ストレーナー深度は201m～223m(2号井)、357m～380m(1号井)である。

地盤変動は、所沢1号井・2号井とも、緩やかな膨張と収縮を繰り返しながら、全体ではほぼ横ばいで推移した。年間の累積地盤変動量は2号井は1.18mmの膨張で、1号井は変化なしであった。

地下水位は季節変動が小さいことが特徴である。1号井は水位変動が乏しく、緩やかな上昇傾向で推移した。2号井は年間を通して小刻みな変動を繰り返しながら、1号井と同様に緩やかな上昇傾向で推移している。観測井内の年間平均水位は前年に比べて2号井は0.93m、1号井は0.88m上昇した。

(エ) 鷺宮観測所

鷺宮観測所には観測井が4本あり、地表面から深さ0m～35m(4号井)、深さ35m～85m(3号井)、深さ85m～250m(2号井)及び深さ250m～415m(1号井)間の地層の変動状況の観測をしている。また、ストレーナー深度は20m～24m(4号井)、52m～63m(3号井)、192m～215m(2号井)、326m～342m(1号井)である。

地盤変動は、年間を通して降雨に対応した小刻みな膨張・収縮を繰り返しており、変動量は1mm程度と小さい。その中で、3月にやや大きな膨張、8月に緩やかな収縮を記録してい

る。年間の累積地盤変動量は4号井は0.85mm、3号井は0.51mmの収縮、2号井は0.18mm、1号井は0.28mmの膨張であった。

地下水位は同じ北東部地域にある行田観測所や北川辺観測所と比較すると、地下水位の変動幅は小さい。最も浅い4号井は年間を通じての変動が小さく、前年との比較では1月～6月はわずかに高い水位を、7月～12月はほぼ同じ水位となった。2号井は4井の中で最も大きな変動を示し、1月から6月までは変動を繰り返しながら緩やかな上昇傾向で推移した。また1月下旬に3m程度の一時的な水位低下が認められた。3号井は、変動量は小さいが夏季に水位低下を示す変動パターンを有しており、前年よりも高い水位となった。1号井の水位は年間を通してほぼ横ばいで経過した。観測井内の年間平均水位は前年に比べて0.06m（4号井）、0.14m（3号井）、1.44m（2号井）、0.47m（1号井）上昇した。

表1-11 観測井諸元表 埼玉県管理の観測所

番号	観測井名称	所在地	設置者	管理者	計器の種類		観測井諸元			井戸構造		沈下計観測方法		水位計観測方法			管頭高		地盤高		観測開始	観測頻度	
					沈下計	水位計	深度(m)	口径(mm)	ストレーナー深度(m)	単管	二重管	テレメ	自記記録	テレメ	自記記録	手計測	R04.1.1 TP(m)	R04.1.1 TP(m)	沈下	水位			
1	草加井	草加市手代町1027-10	帝国石油(株)	埼玉県	●		561	112.5, 70	なし		○	●					3.97	2.39	S35.7	毎日	—		
2	川口	1号井	川口市東領家1丁目4番	埼玉県	埼玉県	●		100	150	89~95	○		●		△	(3.51)	(2.62)	S36.6	毎日	月1回実測			
		2号井				●		43	150	36~39	○		●		△	(3.73)		S36.6	毎日	月1回実測			
		3号井				●		240	200, 100	180~192		○	●		△	(3.76)		S45.4	毎日	月1回実測			
3	戸田	1号井	戸田市新曽1093-1	埼玉県	埼玉県	●		256	200, 100	187~192, 214~219	○	●			△	(4.75)	(3.83)	S46.4	毎日	月1回実測			
		2号井				●		142	200, 100	110~121		○	●		△	(4.77)		S46.4	毎日	月1回実測			
4	浦和	1号井	さいたま市桜区 上大久保639-1	埼玉県	埼玉県	●	●	150	200, 100	114~119, 133~138	○	●	●			7.83	6.87	S47.4	毎日	毎日			
		2号井				●	●	250	200, 100	169~174, 184~190	○	●	●			7.83		S47.4	毎日	毎日			
5	久喜井	久喜市河原井町59	埼玉県	埼玉県	●		350	200, 100	268~279, 301~312		○	●			△	10.24	9.33	S48.4	毎日	月1回実測			
6	和光井	和光市広沢2-1	通産省	埼玉県			400	300	324~340	○					△	35.28	34.76	S48.4	—	月1回実測			
7	越谷井	越谷市弥栄町1-260-4	通産省	埼玉県	●		600	350, 60.5	524~541		○	●			△	4.1	2.67	S48.4	毎日	月1回実測			
8	越谷東	1号井	越谷市増林3丁目1番	埼玉県	埼玉県	●	●	315	300, 150	267~283		○	●	●		4.19	3.24	S59.4	毎日	毎日			
		2号井				●	●	160	300, 150	74~96		○	●	●		4.19		S59.4	毎日	毎日			
		3号井				●	●	60	300, 150	43~48		○	●	●		4.20		S59.4	毎日	毎日			
9	鴻巣井	鴻巣市神明3-921	通産省	埼玉県	●		400	350, 60.5	304~326		○	●			△	16.63	15.38	S48.4	毎日	月1回実測			
10	所沢	1号井	所沢市並木1-13	埼玉県	埼玉県	●	●	415	300, 150	357~380	○	●	●			75.07	73.77	S55.4	毎日	毎日			
		2号井				●	●	240	300, 150	201~223		○	●	●		75.03		S55.4	毎日	毎日			
11	鷺宮	1号井	久喜市桜田3丁目11番3	埼玉県	埼玉県	●	●	415	300, 150	326~342	○	●	●			9.45	8.32	S57.4	毎日	毎日			
		2号井				●	●	250	300, 150	192~215		○	●	●		9.55		S57.4	毎日	毎日			
		3号井				●	●	85	300, 150	52~63		○	●	●		9.44		S57.4	毎日	毎日			
		4号井				●	●	35	300, 150	20~24		○	●	●		9.44		S57.4	毎日	毎日			
12	庄和井	春日部市大倉123-2	庄和町	埼玉県			216	350	148~161, 176~192	○					△	12.09	11.59	S57.10	—	月1回実測			
13	北本井	北本市北中丸611-3	桶川・北本 水道企業団	埼玉県			300	350	185~195, 208~216 264~280	○					△	20.05	19.53	S57.10	—	月1回実測			
14	栗橋井	久喜市栗橋東6丁目302番86	栗橋町	埼玉県		●	270	250	145~151, 189~197 219~227, 230~236 246~256	○			●		(14.30)	(13.62)	S57.10	—	毎日				
15	行田	1号井	行田市真名板1975-4	埼玉県	埼玉県		●	610	50	457~517	○		●			(17.78)	(17.46)	S58.4	—	毎日			
		2号井				●	●	300	300, 150	213~235		○	●	●		(18.64)		S61.4	毎日	毎日			
		3号井				●	●	200	300, 150	141~163		○	●	●		(18.73)		S61.4	毎日	毎日			
		4号井				●	●	70	300, 150	42~58		○	●	●		(18.72)		S61.4	毎日	毎日			
16	坂戸井	坂戸市清水町1236-1	坂戸市	埼玉県			180	300	99~104, 115~125 131~136, 153~158 163~169	○					△	28.89	28.35	S58.8	—	月1回実測			
17	神川井	神川町大字元原34	丹荘長幡地区畑 地かんがい組合	埼玉県			150	350	不明	○					△	(84.08)	(83.14)	S59.7	—	月1回実測			
18	川越老袋井	川越市大字下老袋733	川越市	埼玉県			40	500	29~35	○					△	(10.36)	(9.84)	S60.8	—	月1回実測			
19	川島	1号井	川島町大字下八ツ林926-7	埼玉県	埼玉県		●	300	50	249~258, 274~287	○		●			(13.33)	(12.11)	S62.4	—	毎日			
		2号井				●	●	190	300, 150	143~154		○	●	●		(13.35)		S62.4	毎日	毎日			
		3号井				●	●	80	300, 150	41~63		○	●	●		(13.35)		S62.4	毎日	毎日			
20	大利根	1号井	加須市細間699-1	埼玉県	埼玉県		●	240	200	202~213, 229~234	○		●			12.72	11.76	S63.4	—	毎日			
		2号井						60	200	38~55		○				△		12.73	S63.4	—	月1回実測		

番号	観測井名称	所在地	設置者	管理者	計器の種類		観測井諸元			井戸構造		沈下計観測方法		水位計観測方法			管頭高	地盤高	観測開始	観測頻度	
					沈下計	水位計	深度(m)	口径(mm)	ストレーナー深度(m)	単管	二重管	テレメ	自記記録	テレメ	自記記録	手計測				R04.1.1 TP(m)	R04.1.1 TP(m)
21	北川辺	1号井	加須市陽光台2丁目883番地76	埼玉県	埼玉県	●	●	250	300, 150	163~169, 191~202		○	●		●		14.61	13.36	H元. 1	毎日	毎日
		2号井				●	●	150	300, 150	83~100		○	●		●		14.55		H元. 1	毎日	毎日
22	羽生	1号井	羽生市大字藤井上組270	埼玉県	埼玉県		●	250	200	222~239	○			●		16.47	15.63	H2. 4	—	毎日	
		2号井						100	200	78~94	○				△	16.47		H2. 4	—	月1回実測	
23	三芳井	三芳町大字上富字緑1598-3	埼玉県	埼玉県				200	200	165~171, 174~180 185~191	○					49.48	48.66	H2. 4	—	月1回実測	
24	騎西	1号井	加須市中種足1230	埼玉県	埼玉県			250	200	195~206, 239~245	○					15.00	13.99	H3. 4	—	月1回実測	
		2号井						116	200	98~115	○				△	15.00		H3. 4	—	月1回実測	
25	春日部中央	1号井	春日部市谷原1丁目3番	埼玉県	埼玉県			600	50	351~368, 395~412	○					6.27	5.14	H4. 4	—	月1回実測	
		2号井				●		315	300, 150	276~294		○	●		△	6.30		H4. 4	毎日	月1回実測	
		3号井				●		215	300, 150	189~205		○	●		△	6.32		H4. 4	毎日	月1回実測	
		4号井				●		106	300, 150	56~73		○	●		△	6.33		H4. 4	毎日	月1回実測	
26	深谷北井	深谷市新戒749-1	通産省	埼玉県		●	194	250	161~172, 178~189	○				●		35.58	35.42	H4. 4	—	毎日	
27	本庄井	本庄市仁手618	通産省	埼玉県			150	250	112~134	○					△	44.94	44.45	H4. 4	—	月1回実測	
28	妻沼井	熊谷市飯塚200	通産省	埼玉県			108	250	85~101	○					△	30.12	29.37	H4. 4	—	月1回実測	
29	上里井	上里町大字七本木336	通産省	埼玉県			100	250	67~84	○					△	(68.36)	(67.86)	H4. 4	—	月1回実測	
30	八潮	1号井	八潮市八潮5丁目9番1	埼玉県	埼玉県			300	200	235~246, 274~279	○					△	3.17	2.13	H5. 4	—	月1回実測
		2号井						150	200	107~124	○				△	3.17	H5. 4		—	月1回実測	
31	熊谷	1号井	熊谷市大字小島820	埼玉県	埼玉県			200	200	129~140, 162~167	○					△	(37.71)	(37.02)	H6. 4	—	月1回実測
		2号井						100	200	84~95	○				△	(37.72)	H6. 4		—	月1回実測	
32	大里	1号井	熊谷市曹山214-5	埼玉県	埼玉県			115	200	60~65, 82~110	○					△	(40.38)	(39.57)	H7. 4	—	月1回実測
		2号井						50	200	7~20, 25~31, 36~42	○				△	(40.38)	H7. 4		—	月1回実測	
33	幸手	1号井	幸手市大字木立1830-37	埼玉県	埼玉県			300	200	250~256, 272~283	○					△	(11.63)	(10.81)	H8. 4	—	月1回実測
		2号井						150	200	89~95, 122~128 139~145	○				△	(11.62)	H8. 4		—	月1回実測	
34	加須北	1号井	加須市大越2115	埼玉県	埼玉県			200	200	178~195	○					△	14.42	13.58	H9. 4	—	月1回実測
		2号井						150	200	117~128, 134~139	○				△	14.41	H9. 4		—	月1回実測	
35	川越井	川越市大字砂新田2564	通産省	埼玉県			200	250	167~184	○					△	(25.10)	(24.66)	H9. 4	—	月1回実測	

注1：現在は網掛けした11観測所24井で毎日水位観測を行っている。(平成9年度よりテレメーター化を開始、順次体制を整備)

注2：網掛けしていない観測井の水位の測定データは月1回の測定のため参考値として扱っている。

注3：管頭高・地盤高において、()の値は過去の測量値(世界測地系)による参考値である。

表1-12 観測井諸元表 さいたま市に移管した観測所

番号	観測井名称	所在地	設置者	管理者	計器の種類		観測井諸元			井戸構造		沈下計観測方法		水位計観測方法			管頭高	地盤高	観測開始	廃止又は移管
					沈下計	水位計	深度(m)	口径(mm)	ストレーナー深度(m)	単管	二重管	テレメ	自記記録	テレメ	自記記録	手計測				
—	大宮井	さいたま市大宮区高鼻町4丁目	通産省	さいたま市	○	○	700	350, 60.5	607~629		○		○		○	15.4	13.89	S48. 4	H11.3観測休止 H15.4さいたま市へ移管	
—	浦和東井	さいたま市緑区東浦和3-7-25	埼玉県南水道企業団	さいたま市		○	228	350	147~154, 170~182 189~197, 200~216	○				○	15.88	14.88	S58. 8	H11.3観測休止 H15.4さいたま市へ移管		
—	岩槻井	さいたま市岩槻区古ヶ場2丁目8-5	三国コカコーラ	さいたま市	○	○	250	200, 100	192~208		○		○		9.48	8.27	S46. 4	H11.3観測休止 H17.4さいたま市へ移管		

表 1-13 (1) 観測井年別沈下量表

観測井名	井戸深度 (m)	井戸構造 外・内管 口径 (mm)	地盤高 R4.1.1 T.P. (m)	各 年 別 変 動 量 (mm)					過去5年 間の変動 量 (mm)	観測開始 年 月
				平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年		
浦和1号井	150	二重管 200・100	6.87	- 1.33	+ 3.26	- 2.55	+ 1.64	+ 0.92	+ 1.94	S47. 4
浦和2号井	250	" 200・100	6.87	- 1.45	+ 3.87	- 2.63	+ 1.80	+ 1.23	+ 2.82	S47. 4
越谷東1号井	315	" 300・150	3.24	- 6.89	+ 3.17	- 6.79	+ 2.73	- 2.10	- 9.88	S59. 4
越谷東2号井	160	" 300・150	3.24	- 5.04	+ 3.12	- 5.12	+ 1.78	- 2.09	- 7.35	S59. 4
越谷東3号井	60	" 300・150	3.24	- 4.83	+ 1.85	- 4.88	+ 0.35	- 2.31	- 9.82	S59. 4
所沢1号井	415	" 300・150	73.77	- 2.04	+ 5.93	+ 0.52	- 0.86	0.00	+ 3.56	S55. 4
所沢2号井	240	" 300・150	73.77	- 2.08	+ 3.31	- 1.78	- 0.84	+ 1.18	- 0.21	S55. 4
鷺宮1号井	415	" 300・150	8.32	- 2.53	+ 1.05	- 0.81	- 1.17	+ 0.28	- 3.18	S57. 4
鷺宮2号井	250	" 300・150	8.32	- 2.01	+ 2.00	- 0.81	- 0.65	+ 0.18	- 1.29	S57. 4
鷺宮3号井	85	" 300・150	8.32	- 1.49	+ 0.27	- 1.09	- 0.78	- 0.51	- 3.59	S57. 4
鷺宮4号井	35	" 300・150	8.32	- 1.14	+ 0.11	- 1.40	- 0.88	- 0.85	- 4.16	S57. 4
行田2号井	300	" 300・150	(17.46)	- 3.29	+ 1.99	- 1.70	+ 1.29	- 0.35	- 2.06	S61. 4
行田3号井	200	" 300・150	(17.46)	- 1.05	+ 1.70	- 1.91	+ 1.10	- 0.59	- 0.75	S61. 4
行田4号井	70	" 300・150	(17.46)	- 1.77	+ 0.89	- 1.47	+ 0.64	- 0.54	- 2.26	S61. 4
川島2号井	190	" 300・150	(12.11)	- 1.15	+ 1.44	- 4.17	+ 0.61	- 0.82	- 4.09	S62. 4
川島3号井	80	" 300・150	(12.11)	- 1.67	+ 1.07	- 3.42	+ 0.59	- 1.25	- 4.68	S62. 4
北川辺1号井	250	" 300・150	13.36	- 3.99	+ 0.95	- 0.55	- 0.59	- 0.72	- 4.90	H元. 4
北川辺2号井	150	" 300・150	13.36	- 3.46	+ 1.44	- 1.34	- 0.36	- 0.67	- 4.39	H元. 4

表 1-13 (2) 観測井年別沈下量表 (参考データ)

観測井名	井戸深度 (m)	井戸構造 外・内管 口径 (mm)	地盤高 R4.1.1 T.P. (m)	各 年 別 変 動 量 (mm)					過去5年 間の変動 量 (mm)	観測開始 年 月
				平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年		
草加井	561	二重管 112.5・70	2.39	+ 0.53	+ 3.05	- 5.49	+ 3.94	+ 0.89	+ 2.92	S35. 7
川口1号井	100	単管 150	(2.62)	- 0.76	+ 0.11	- 2.31	+ 1.04	- 0.76	- 2.67	S36. 6
川口2号井	43	" 150	(2.62)	- 1.22	+ 0.23	- 1.80	+ 0.48	- 0.80	- 3.11	S36. 6
川口3号井	240	二重管 200・100	(2.62)	- 1.86	+ 0.91	- 4.59	+ 2.03	- 0.47	- 3.98	S45. 4
戸田1号井	256	" 200・100	(3.83)	- 2.12	+ 1.58	- 2.52	+ 1.98	+ 1.63	+ 0.55	S46. 4
戸田2号井	142	" 200・100	(3.83)	- 1.83	+ 1.25	- 1.98	+ 1.72	+ 1.48	+ 0.65	S46. 4
久喜井	350	" 200・100	9.33	- 0.11	+ 4.14	- 0.87	+ 0.99	+ 0.58	+ 4.74	S48. 4
越谷井	600	" 350・60.5	2.67	- 2.37	- 0.47	- 2.61	+ 0.04	+ 0.58	- 4.82	S48. 4
鴻巣井	400	" 350・60.5	15.38	- 1.00	+ 0.82	- 2.24	+ 0.59	- 0.07	- 1.90	S48. 4
春日部中央 2号井	315	" 300・150	5.14	+ 3.29	- 7.58	- 7.76	- 3.07	- 3.40	- 18.52	H4. 4
春日部中央 3号井	215	" 300・150	5.14	+ 4.74	- 1.39	- 6.37	- 1.48	- 4.98	- 9.48	H4. 4
春日部中央 4号井	106	" 300・150	5.14	+ 8.49	- 3.55	- 5.74	- 2.93	- 5.65	- 9.39	H4. 4

表 1-13 (3) 観測井年別沈下量表 (さいたま市観測データ)

観測井名	井戸深度 (m)	井戸構造 外・内管 口径 (mm)	地盤高 R4.1.1 T.P. (m)	各 年 別 変 動 量 (mm)					過去5年 間の変動 量 (mm)	観測開始 年 月
				平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年		
大宮井	700	二重管 350・60.5	13.89	+ 1.24	- 0.74	+ 0.98	- 0.62	+ 0.17	+ 1.03	S48. 4
岩槻井	250	" 200・100	8.27	- 0.30	- 0.30	+ 0.24	- 0.33	- 0.14	- 0.83	S46. 4

表1-14(1) 観測井 月平均地下水位表 (埼玉県観測データ)

単位 m

観測所名	観測月	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
浦和1号井 井戸深度 (150m) ストレナー位置 114~119m、133~138m 管頭高 T.P. 7.83m	29	29	5.21	5.53	5.89	5.87	7.09	7.82	7.86	7.11	5.97	5.39	4.93	5.04	6.14
	30	30	5.22	5.80	5.60	5.71	6.59	6.89	7.77	7.55	6.20	5.51	5.62	5.59	6.17
	R1	R1	5.70	5.95	5.89	6.00	7.09	6.94	5.54	6.35	5.31	4.63	4.43	4.48	5.69
	2	2	4.50	4.88	5.07	5.01	5.84	6.12	4.90	5.90	5.43	5.11	5.21	5.48	5.29
	3	3	5.77	5.99	6.01	6.01	7.01	7.12	6.05	6.33	5.18	4.84	4.90	4.91	5.84
4	4	4.98	5.24	5.39	5.23	5.69	5.79	6.13	5.82	4.71	4.36	4.37	4.38	5.17	
浦和2号井 (250m) 169~174m 184~190m T.P. 7.83m	29	29	8.60	8.97	9.24	8.88	9.56	10.35	10.63	9.97	9.12	8.56	8.26	8.35	9.21
	30	30	8.57	9.15	8.84	8.76	9.04	9.46	10.37	10.20	9.41	8.72	8.87	8.69	9.17
	R1	R1	8.81	8.94	8.95	8.80	9.26	9.43	8.04	8.77	8.24	7.50	7.36	7.39	8.46
	2	2	7.27	7.80	8.02	7.99	8.45	8.81	7.72	8.91	8.83	8.41	8.41	8.77	8.28
	3	3	9.15	9.48	9.47	9.24	9.74	9.93	8.74	9.21	8.41	8.04	8.15	8.16	8.98
4	4	8.26	8.51	8.75	8.22	8.19	8.40	8.70	8.01	7.39	7.08	7.09	7.07	7.97	
越谷東1号井 (315m) 267~283m T.P. 4.19m	29	29	13.05	13.39	13.48	13.32	13.33	13.54	13.71	13.64	13.44	13.45	13.44	13.38	13.43
	30	30	13.33	13.76	13.61	13.46	13.08	13.02	13.46	13.53	13.47	13.43	13.61	13.49	13.44
	R1	R1	13.38	13.46	13.35	13.15	12.90	12.93	12.35	12.34	12.40	12.32	12.26	12.24	12.76
	2	2	12.01	12.30	12.41	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測
	3	3	欠測	欠測	13.34	13.08	12.76	12.76	12.43	12.29	12.22	12.08	11.88	11.84	12.47
4	4	11.86	12.08	12.10	11.75	11.27	11.28	11.46	11.22	11.11	11.15	11.14	10.99	11.45	
越谷東2号井 (160m) 74~96m T.P. 4.19m	29	29	欠測	欠測	8.04	8.06	8.13	8.46	8.85	8.95	8.86	8.65	8.35	8.18	8.45
	30	30	7.98	8.10	8.15	8.18	8.16	8.30	8.63	8.94	8.90	8.65	8.45	8.35	8.40
	R1	R1	8.17	8.20	8.19	8.17	8.23	8.49	8.44	8.45	8.41	8.19	7.89	7.76	8.22
	2	2	7.51	7.47	7.48	7.42	7.33	7.56	7.69	7.73	7.89	7.86	7.84	7.89	7.64
	3	3	7.80	7.82	7.79	7.76	7.77	7.89	8.05	8.04	7.93	7.77	7.68	7.53	7.82
4	4	7.39	7.40	7.39	7.31	7.20	7.36	7.71	7.89	7.79	7.53	7.40	7.31	7.47	
越谷東3号井 (60m) 43~48m T.P. 4.20m	29	29	6.64	6.65	6.78	6.81	6.85	7.03	7.26	7.38	7.39	7.30	7.11	6.98	7.02
	30	30	6.86	6.90	6.88	6.83	6.79	6.84	7.01	7.24	7.30	7.19	7.07	6.98	6.99
	R1	R1	6.89	6.89	6.86	6.83	6.82	6.94	6.95	6.95	6.96	6.84	6.65	6.54	6.84
	2	2	6.37	6.31	6.29	6.23	6.15	6.22	6.28	6.31	6.42	6.45	6.45	6.48	6.33
	3	3	6.48	6.49	6.47	6.41	6.37	6.41	6.56	6.56	6.53	6.45	6.37	6.27	6.45
4	4	6.16	6.16	6.16	6.10	6.01	6.05	6.24	6.40	6.41	6.28	6.17	6.07	6.18	
所沢1号井 (415m) 357~380m T.P. 75.07m	29	29	57.55	57.52	57.49	57.35	57.35	57.39	57.43	57.36	57.24	57.18	57.14	57.13	57.35
	30	30	57.09	57.23	57.25	57.24	57.05	56.91	56.97	56.93	56.78	56.69	56.73	56.64	56.96
	R1	R1	56.63	56.62	56.41	56.29	56.23	56.13	55.88	55.87	55.80	55.63	55.59	55.56	56.05
	2	2	55.48	55.37	55.27	55.10	54.95	54.82	54.60	54.52	欠測	54.50	54.45	54.40	54.86
	3	3	54.56	54.59	54.48	54.33	54.33	54.34	54.23	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	54.41
4	4	欠測	54.01	53.87	53.61	53.48	53.42	53.53	53.56	53.44	53.33	53.34	53.23	53.53	
所沢2号井 (240m) 201~223m T.P. 75.03m	29	29	55.42	55.57	55.50	55.37	55.51	55.65	55.79	55.35	55.45	55.23	55.30	55.11	55.44
	30	30	54.95	55.52	54.98	54.83	54.54	54.58	54.87	54.45	54.35	54.35	54.44	54.19	54.67
	R1	R1	54.13	54.16	53.94	53.98	53.91	53.76	53.07	53.27	53.08	52.68	52.56	52.35	53.41
	2	2	52.39	52.58	52.48	52.35	52.10	52.09	51.46	51.56	欠測	51.66	51.70	51.74	52.01
	3	3	51.89	52.08	51.88	51.98	51.86	51.86	51.54	欠測	欠測	欠測	欠測	51.17	51.78
4	4	51.20	51.37	51.13	50.88	50.69	50.82	51.04	50.88	50.72	50.53	50.55	50.37	50.85	
鷺宮1号井 (415m) 326~342m T.P. 9.45m	29	29	14.14	14.09	14.06	14.21	14.16	14.21	14.37	14.63	14.87	15.00	15.04	15.05	14.48
	30	30	15.00	14.96	14.94	14.91	14.83	14.84	14.97	15.23	15.49	15.65	15.73	15.70	15.19
	R1	R1	15.61	15.49	15.33	15.24	15.10	15.02	15.07	15.14	15.27	15.31	15.28	15.21	15.26
	2	2	15.07	14.90	14.57	14.43	14.35	14.32	14.35	14.43	14.58	14.71	14.77	14.75	14.60
	3	3	14.73	14.70	14.68	14.58	14.48	14.48	14.55	14.67	14.77	14.82	14.81	14.70	14.66
4	4	14.60	14.48	14.38	14.23	14.05	13.92	13.93	14.06	14.16	14.19	14.19	14.09	14.19	
鷺宮2号井 (250m) 192~215m T.P. 9.55m	29	29	20.16	20.19	19.94	19.49	19.41	19.80	20.41	20.76	20.80	20.74	20.80	20.63	20.26
	30	30	20.35	20.94	20.28	20.20	19.81	19.85	20.84	21.34	21.53	21.31	21.36	20.92	20.73
	R1	R1	20.50	20.20	19.88	19.65	19.37	19.57	19.26	19.76	19.69	19.58	19.48	19.28	19.68
	2	2	18.71	18.71	18.65	18.75	18.69	19.03	19.01	19.39	19.83	19.68	19.84	19.69	19.17
	3	3	19.79	19.95	19.46	19.14	18.99	18.99	18.99	19.27	19.35	20.20	19.46	19.06	19.39
4	4	19.48	18.80	18.35	17.91	17.46	17.14	17.53	17.64	17.73	17.76	17.86	17.66	17.94	

水位は管頭からの深さ

管頭高は令和4年1月1日における高さ

表1-14(2) 観測井 月平均地下水位表 (埼玉県観測データ)

単位 m

観測所名	観測月	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
鷺宮3号井 (85m) 52~63m T.P. 9.44m	29		4.23	4.24	4.28	4.32	4.70	5.02	5.27	5.41	5.16	4.87	4.53	4.40	4.70
	30		4.39	4.42	4.36	4.33	4.61	4.85	5.19	5.54	5.29	4.92	4.74	4.57	4.77
	R1		4.50	4.50	4.44	4.43	4.73	4.92	4.83	5.08	4.91	4.62	4.29	4.11	4.61
	2		4.01	3.93	3.92	3.88	4.05	4.26	4.20	4.40	4.44	4.31	4.20	4.18	4.15
	3		4.20	4.17	4.04	4.01	4.30	4.50	4.54	4.73	4.53	4.28	4.13	4.01	4.29
4		3.95	3.95	3.90	3.79	3.97	4.13	4.45	4.73	4.58	4.26	4.11	3.96	4.15	
鷺宮4号井 (35m) 20~24m T.P. 9.44m	29		3.04	3.10	3.14	3.14	3.18	3.29	3.35	3.45	3.42	3.26	3.13	3.20	3.22
	30		3.27	3.27	3.17	3.12	3.11	3.19	3.31	3.48	3.45	3.29	3.33	3.32	3.27
	R1		3.25	3.29	3.15	3.11	3.10	3.12	3.06	3.14	3.16	3.06	2.94	2.93	3.11
	2		2.97	2.93	2.93	2.81	2.81	2.83	2.79	2.89	3.01	2.96	3.00	3.08	2.92
	3		3.15	3.11	3.03	2.93	2.96	3.00	2.96	3.04	3.05	3.00	2.97	2.91	3.01
4		2.98	3.00	2.97	2.83	2.80	2.83	2.93	3.06	3.09	2.98	3.00	2.95	2.95	
栗橋井 (270m) 145~151m、189~197m 219~227m、230~236m 246~256m T.P. 14.30m※	29		24.91	24.85	24.79	24.56	24.51	24.97	25.65	26.22	26.69	26.53	26.36	26.06	25.51
	30		25.53	25.59	25.27	25.15	25.03	25.38	25.99	26.62	27.19	27.21	27.05	26.63	26.05
	R1		26.09	25.83	25.42	25.23	24.93	25.16	25.63	26.08	26.49	26.28	26.05	25.75	25.74
	2		25.20	25.02	24.77	24.44	24.25	24.49	24.79	25.17	25.66	25.82	25.67	25.47	25.06
	3		25.10	25.10	24.77	24.58	24.54	24.94	25.40	25.88	26.27	26.26	25.89	25.42	25.35
4		24.88	24.68	24.39	23.99	23.72	24.02	24.65	25.16	25.43	25.18	24.87	24.54	24.63	
行田1号井 (610m) 457~517m T.P. 17.78m※	29		16.91	16.93	17.01	17.02	17.07	17.16	17.41	17.62	17.65	17.62	17.44	17.37	17.27
	30		17.26	17.32	17.39	17.31	17.31	17.40	17.62	17.88	18.04	17.99	17.87	17.75	17.60
	R1		17.58	17.57	17.61	17.63	17.52	17.52	17.59	17.65	17.74	17.67	17.44	17.30	17.57
	2		17.09	17.06	17.07	17.03	16.91	16.81	16.87	16.90	17.05	17.07	16.96	16.89	16.98
	3		16.83	16.83	16.76	16.70	16.61	16.65	16.78	16.83	16.86	16.79	16.66	16.56	16.74
4		16.42	16.42	16.43	16.31	16.15	16.07	16.21	16.32	16.39	16.33	16.18	16.04	16.27	
行田2号井 (300m) 213~235m T.P. 18.64m※	29		13.66	13.93	14.05	14.02	14.08	14.60	15.32	15.03	14.89	14.55	13.99	14.03	14.35
	30		13.85	14.45	14.44	14.42	14.42	15.06	15.56	15.83	15.61	15.05	14.84	14.80	14.86
	R1		14.48	14.67	14.73	14.62	14.40	14.90	14.77	15.10	15.07	14.44	14.01	13.96	14.60
	2		13.68	13.89	13.98	13.82	13.51	13.89	13.84	14.11	14.44	13.94	13.66	13.75	13.88
	3		13.70	13.98	14.02	13.87	13.72	14.16	14.00	14.00	13.87	13.63	13.52	13.53	13.83
4		13.33	13.60	13.73	13.53	13.18	13.42	13.83	13.86	13.73	13.33	13.12	12.96	13.47	
行田3号井 (200m) 141~163m T.P. 18.73m※	29		10.95	11.16	11.31	11.28	11.36	13.29	13.90	13.57	13.16	11.99	11.21	11.10	12.02
	30		11.04	11.42	11.51	10.87	10.90	12.75	13.36	13.88	13.26	11.71	11.21	11.05	11.91
	R1		10.92	11.08	11.18	11.15	11.05	12.62	12.56	13.03	13.08	11.45	10.64	10.45	11.60
	2		10.32	10.40	10.57	10.42	10.09	11.55	11.06	11.32	12.11	10.80	10.32	10.30	10.77
	3		10.33	10.54	10.48	10.47	10.53	12.05	11.73	11.86	11.54	10.55	10.25	10.14	10.87
4		10.01	10.12	10.17	9.94	9.76	10.82	11.54	11.75	11.35	9.93	9.43	9.35	10.35	
行田4号井 (70m) 42~58m T.P. 18.72m※	29		5.00	5.16	5.28	5.10	5.29	6.08	5.90	6.01	5.18	4.87	4.70	4.96	5.29
	30		5.14	5.22	5.08	5.08	5.18	5.82	6.01	6.25	5.36	4.86	5.00	5.15	5.35
	R1		5.25	5.36	5.20	5.22	5.24	5.64	5.39	5.91	5.57	4.83	4.68	4.77	5.25
	2		4.94	4.89	5.00	4.75	4.82	5.48	4.84	5.54	5.37	4.77	4.88	5.08	5.03
	3		5.20	5.23	5.14	5.03	5.17	5.64	5.21	5.53	5.17	4.94	4.92	4.84	5.17
4		5.03	5.10	5.15	4.91	4.88	5.34	5.65	5.83	5.27	4.72	4.83	4.82	5.13	
川島1号井 (300m) 249~258m 274~287m T.P. 13.33m※	29		8.96	8.98	8.98	8.94	8.92	8.92	8.97	8.96	8.90	8.91	8.98	8.97	8.95
	30		8.95	8.94	9.09	9.11	9.08	9.04	9.10	9.16	9.19	9.18	9.15	9.07	9.09
	R1		9.04	9.02	8.97	8.52	8.46	8.39	8.44	8.46	8.46	8.37	8.33	8.28	8.56
	2		8.21	8.16	8.13	8.05	8.02	7.99	7.97	7.97	7.98	7.99	8.01	8.00	8.04
	3		8.00	7.95	7.89	7.85	7.79	7.77	7.77	7.79	7.80	7.79	7.77	7.72	7.82
4		7.69	7.67	7.61	7.51	7.43	7.38	7.39	7.40	7.40	7.36	7.32	7.24	7.45	
川島2号井 (190m) 143~154m T.P. 13.35m※	29		6.47	6.75	6.96	7.13	7.97	9.55	9.72	9.75	8.58	7.65	6.99	6.86	7.86
	30		6.87	6.59	7.45	7.37	7.55	8.69	9.07	9.81	8.87	7.75	7.43	7.44	7.91
	R1		7.45	7.61	7.63	7.45	7.87	8.87	7.95	8.26	7.83	6.81	6.22	6.09	7.50
	2		6.13	6.34	6.79	6.81	7.06	8.19	7.63	7.88	8.15	7.31	7.11	7.22	7.22
	3		7.42	7.59	7.59	7.57	8.14	9.11	8.58	8.73	8.03	7.21	6.99	6.91	7.82
4		6.96	7.14	7.24	7.07	7.16	8.04	8.50	8.71	7.80	6.84	6.57	6.47	7.38	

水位は管頭からの深さ

管頭高は令和4年1月1日における高さ ※栗橋井、行田井及び川島井は過去の測定値(世界測地系)による参考値

表1-14(3) 観測井 月平均地下水位表 (埼玉県観測データ)

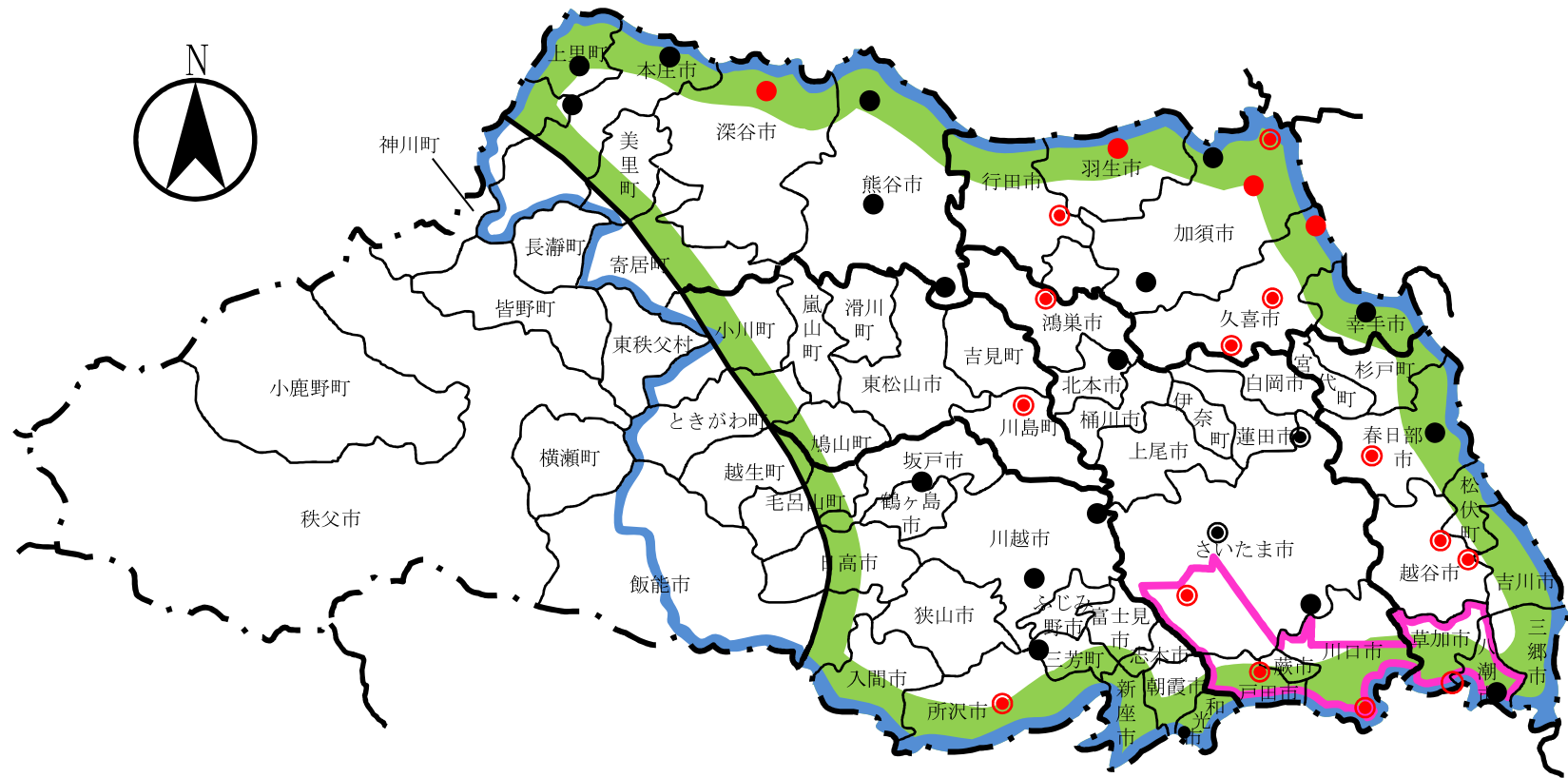
単位 m

観測所名	観測月	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
川島3号井 (80m) 41~63m T.P. 13.35m※		29	5.55	5.86	6.01	6.01	7.36	9.99	9.74	9.34	7.35	5.93	5.32	5.57	7.00
		30	5.72	6.00	5.86	5.81	6.79	8.86	9.39	9.94	7.49	5.96	5.81	5.94	6.96
		R1	6.05	6.19	6.02	5.92	7.07	8.53	6.92	8.68	6.90	5.29	4.78	4.86	6.43
		2	5.02	5.11	5.45	5.33	6.22	8.23	6.62	8.23	7.26	5.71	5.53	5.76	6.21
		3	5.99	6.13	6.04	5.96	7.31	8.87	7.59	8.60	6.70	5.77	5.50	5.47	6.66
大利根1号井 (240m) 202~213m、229~234m T.P. 12.72m		29	17.23	17.14	17.16	17.23	17.68	18.55	19.37	19.68	19.57	19.11	18.67	18.29	18.31
		30	17.82	17.89	17.72	17.61	17.86	18.69	19.51	19.53	20.44	19.99	19.44	18.96	18.79
		R1	18.41	18.26	18.08	18.04	18.09	18.81	19.33	19.88	19.98	19.40	18.84	18.42	18.80
		2	17.78	17.57	17.37	17.16	17.30	17.94	18.26	欠測	欠測	18.60	18.17	17.92	17.81
		3	17.59	17.42	17.18	17.08	17.44	18.23	18.66	19.01	18.99	18.56	18.02	17.68	17.99
北川辺1号井 (250m) 163~169m、191~202m T.P. 14.61m		29	14.82	14.70	14.78	14.89	17.33	19.53	20.39	19.93	18.49	16.85	15.88	15.40	16.92
		30	15.00	15.09	14.88	14.93	17.14	19.22	20.72	21.64	20.23	18.08	16.88	16.43	17.52
		R1	15.92	15.59	15.31	15.69	17.61	19.50	19.58	20.73	19.48	17.39	16.24	15.68	17.39
		2	15.19	14.71	14.42	14.23	16.30	18.43	17.65	18.47	18.53	16.61	15.58	15.15	16.27
		3	14.80	14.72	14.45	14.51	17.19	19.25	19.13	19.62	18.26	16.55	15.47	14.94	16.57
北川辺2号井 (150m) 83~100m T.P. 14.55m		29	8.20	8.14	8.16	7.71	9.29	11.52	12.68	12.74	11.57	10.00	8.82	8.25	9.76
		30	8.00	7.90	8.14	8.31	9.73	11.79	13.13	14.04	13.39	11.35	10.06	9.44	10.44
		R1	8.94	8.78	8.78	8.67	10.12	12.00	12.48	13.12	12.70	10.81	9.54	8.69	10.38
		2	8.25	8.00	7.90	7.79	9.05	10.97	11.16	11.13	11.71	10.30	9.25	8.75	9.52
		3	8.48	8.43	8.25	8.16	9.80	11.87	12.33	12.65	11.92	10.46	9.33	8.69	10.03
羽生1号井 (250m) 222~239m T.P. 16.47m		29	15.66	16.05	16.30	16.38	16.50	17.08	17.66	17.69	17.61	17.18	16.70	16.52	16.78
		30	16.03	16.69	16.77	16.70	16.81	17.37	17.94	17.96	18.41	17.85	17.46	17.10	17.26
		R1	16.58	16.96	17.00	16.91	16.79	17.39	17.53	17.85	17.97	17.41	16.91	16.61	17.16
		2	15.99	16.29	16.45	16.29	15.91	16.33	16.55	16.68	17.13	16.70	16.35	16.31	16.42
		3	15.92	16.15	15.96	15.94	15.95	16.57	16.81	16.90	16.86	16.27	15.96	15.86	16.26
深谷北井 (194m) 161~172m、178~189m T.P. 35.58m		29	17.05	17.28	17.54	17.79	17.80	17.94	18.00	17.55	17.27	17.10	16.71	16.86	17.41
		30	17.25	17.99	17.91	17.91	17.85	18.00	18.24	18.20	17.71	17.28	17.36	17.68	17.78
		R1	17.86	18.15	18.24	18.07	17.83	17.78	17.36	17.18	17.04	16.87	16.70	16.89	17.50
		2	17.08	17.47	17.72	17.75	17.47	17.35	17.14	17.03	17.19	17.09	17.25	17.56	17.34
		3	17.80	17.93	17.72	17.81	17.82	17.88	17.59	17.22	16.98	16.97	17.19	17.53	17.54
4	17.68	18.12	18.25	17.85	17.57	17.51	17.58	17.23	17.03	16.86	17.01	17.23	17.49		

水位は管頭からの深さ

管頭高は令和4年1月1日における高さ ※川島井は過去の測定値(世界測地系)による参考値

図 1-12 観測所位置及び河川表流水の供給状況



河川水の供給状況

- 埼玉県工業用水道給水区域
- 埼玉県水道用水供給事業給水区域
- 調査対象地域

- 沈下観測所
- 水位観測所
- ◎ 沈下・水位観測所
(赤丸はテレメーター設置観測所)

図 1-13 管頭下水位経年変化（東部地域） (○印は湧水年)

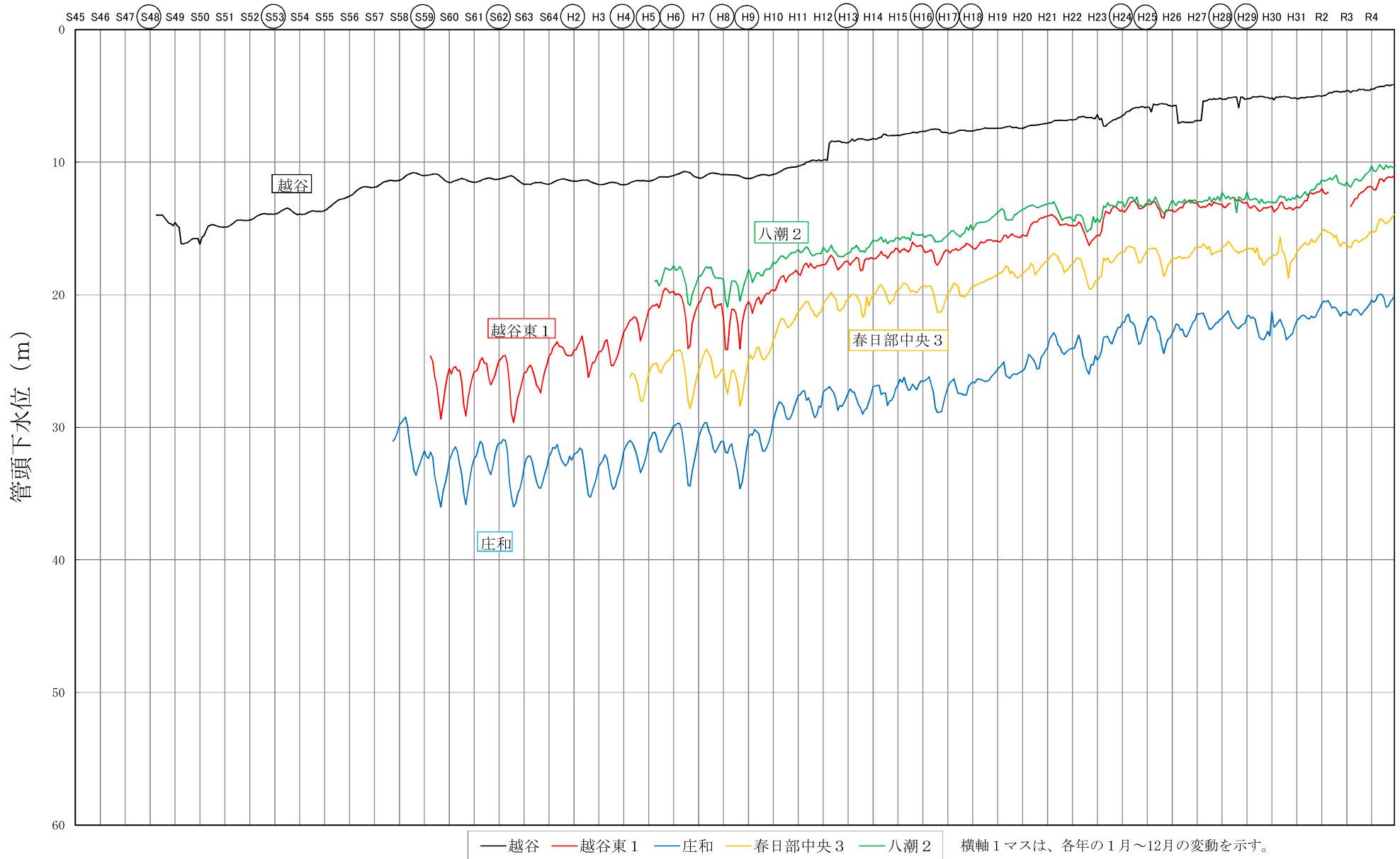


図 1-14 管頭下水位経年変化 (中央部地域) (○印は渇水年)

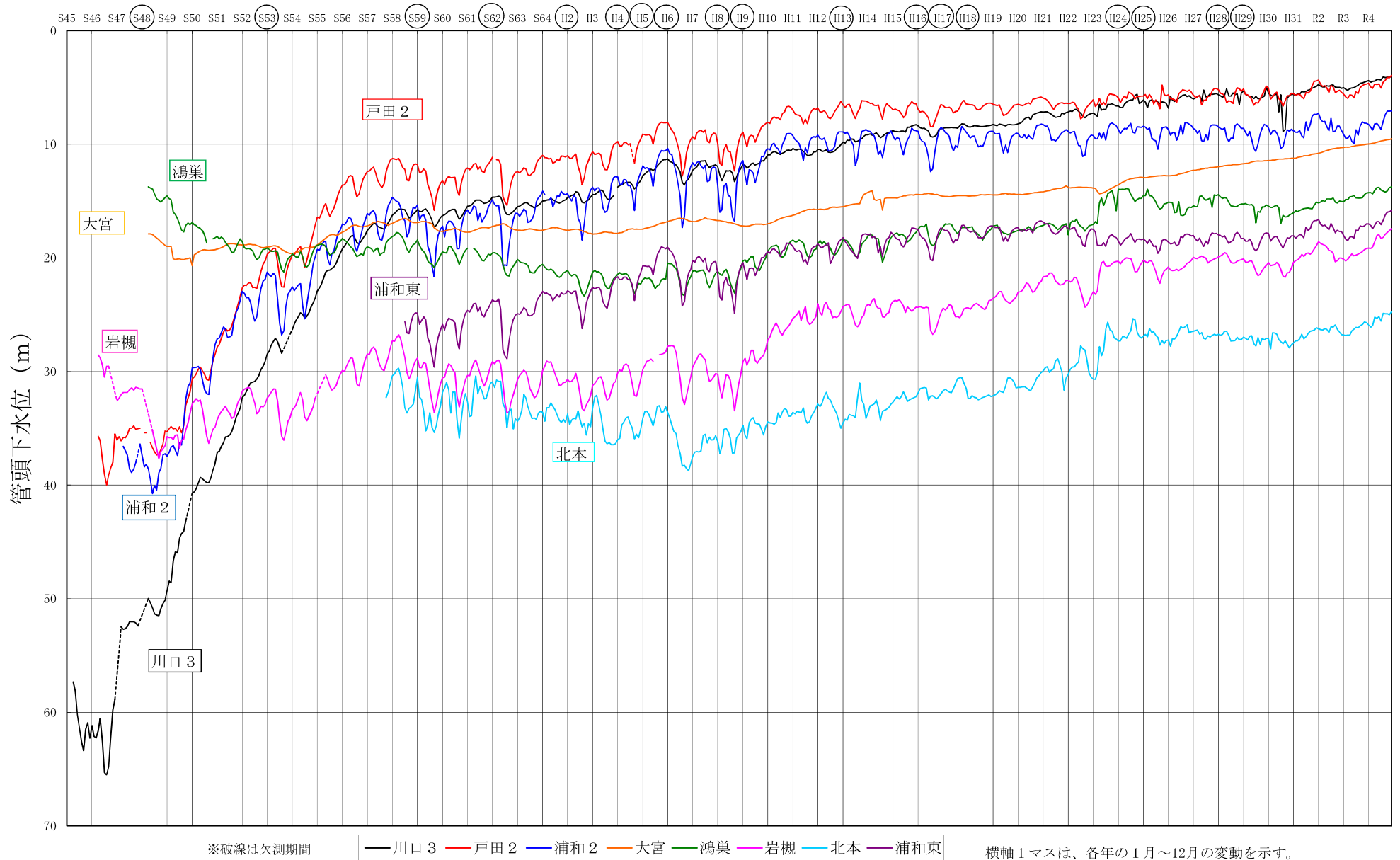


図 1-15 管頭下水位経年変化（西部・比企地域）（○印は渇水年）

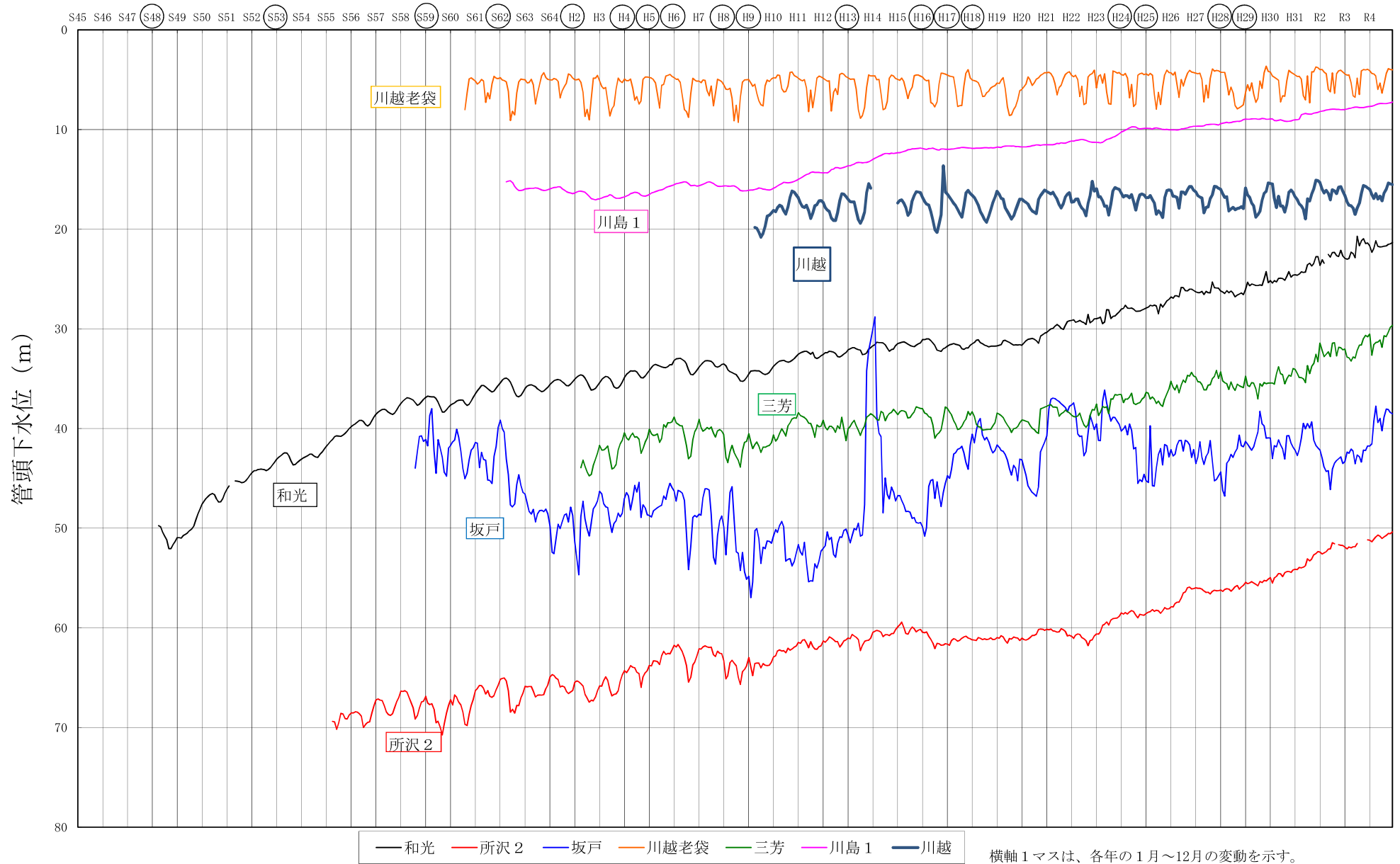


図 1-16 管頭下水位経年変化（北東部地域） (○印は渇水年)

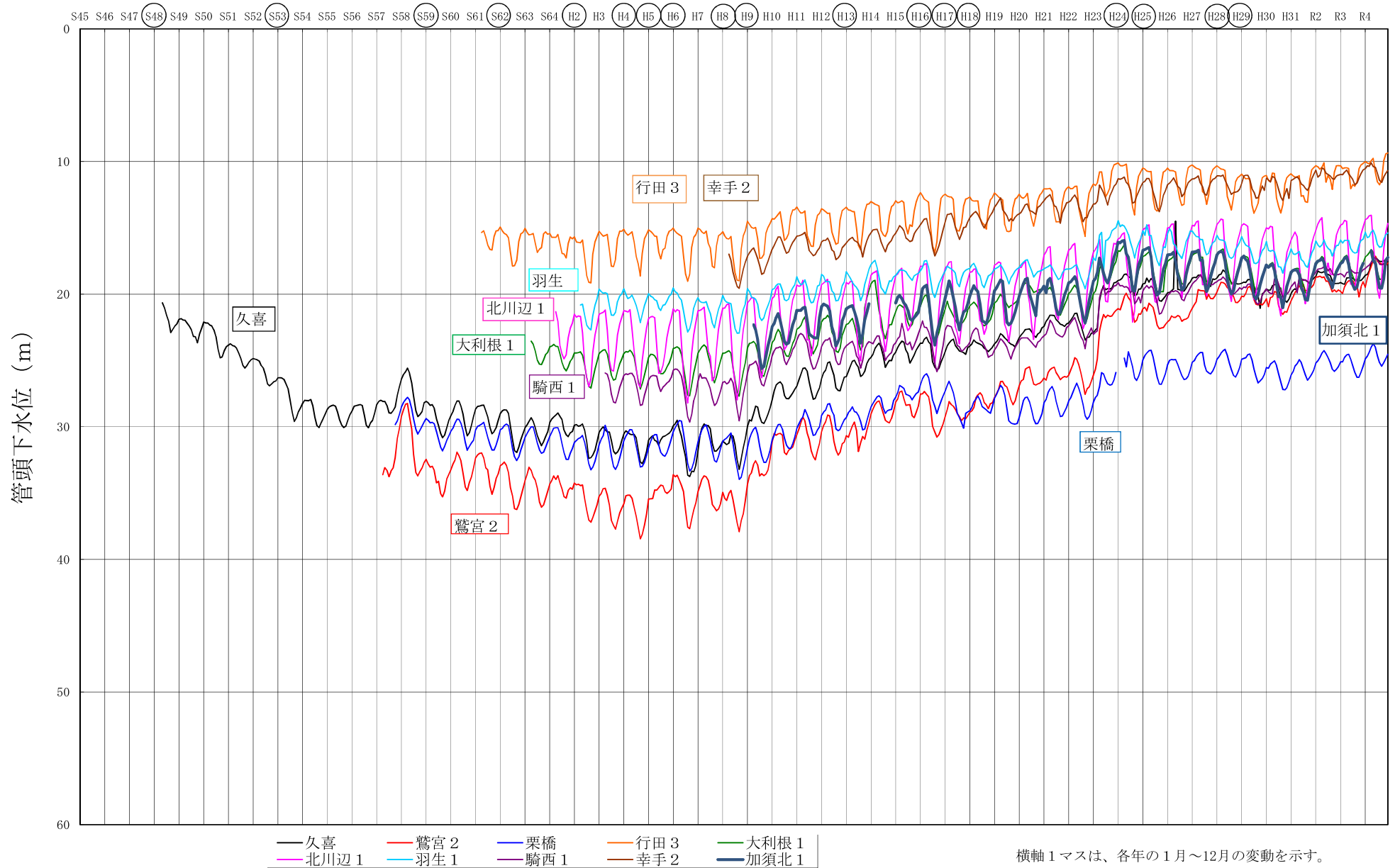


図 1-17 管頭下水位経年変化（北部地域） (○印は渇水年)

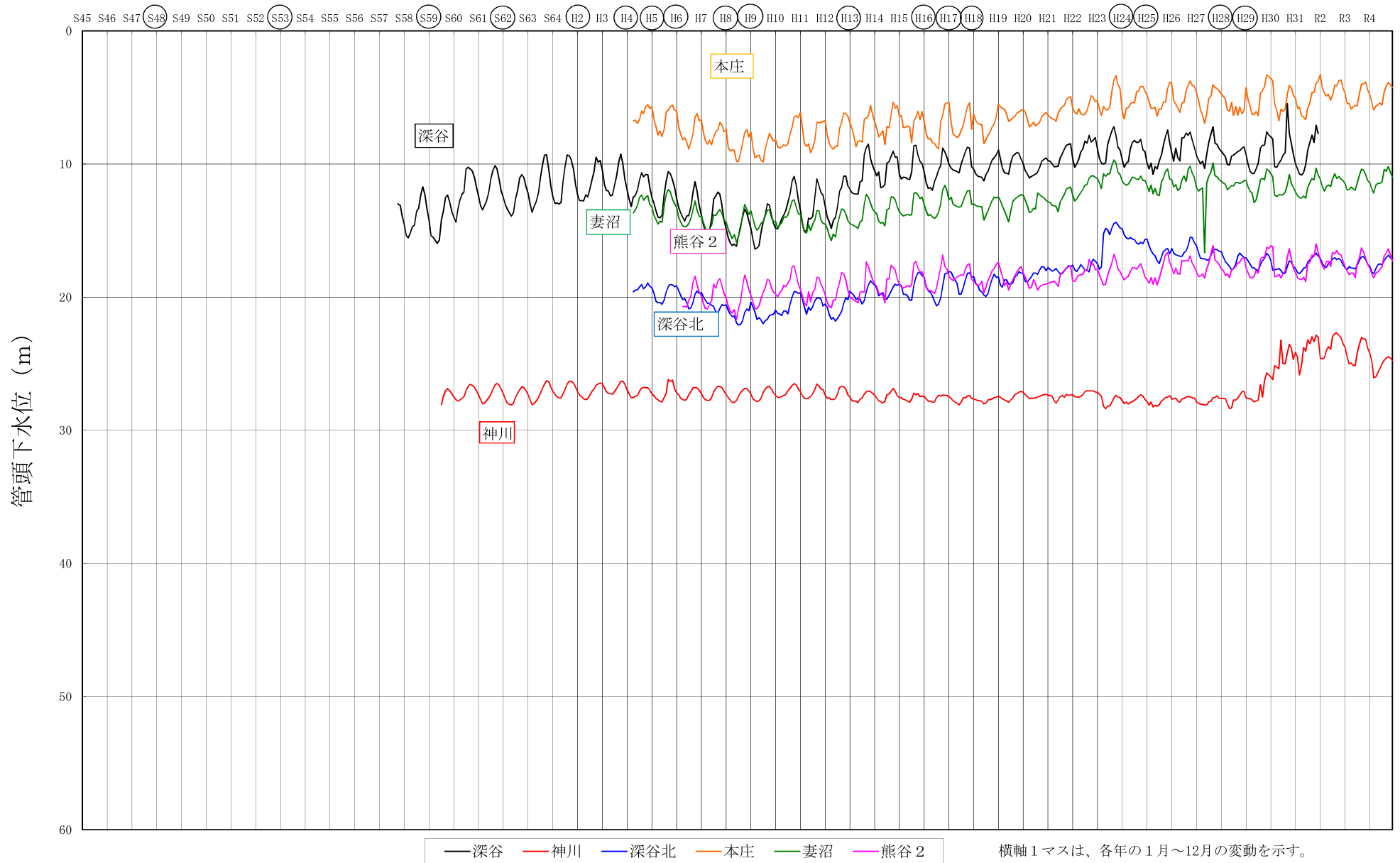
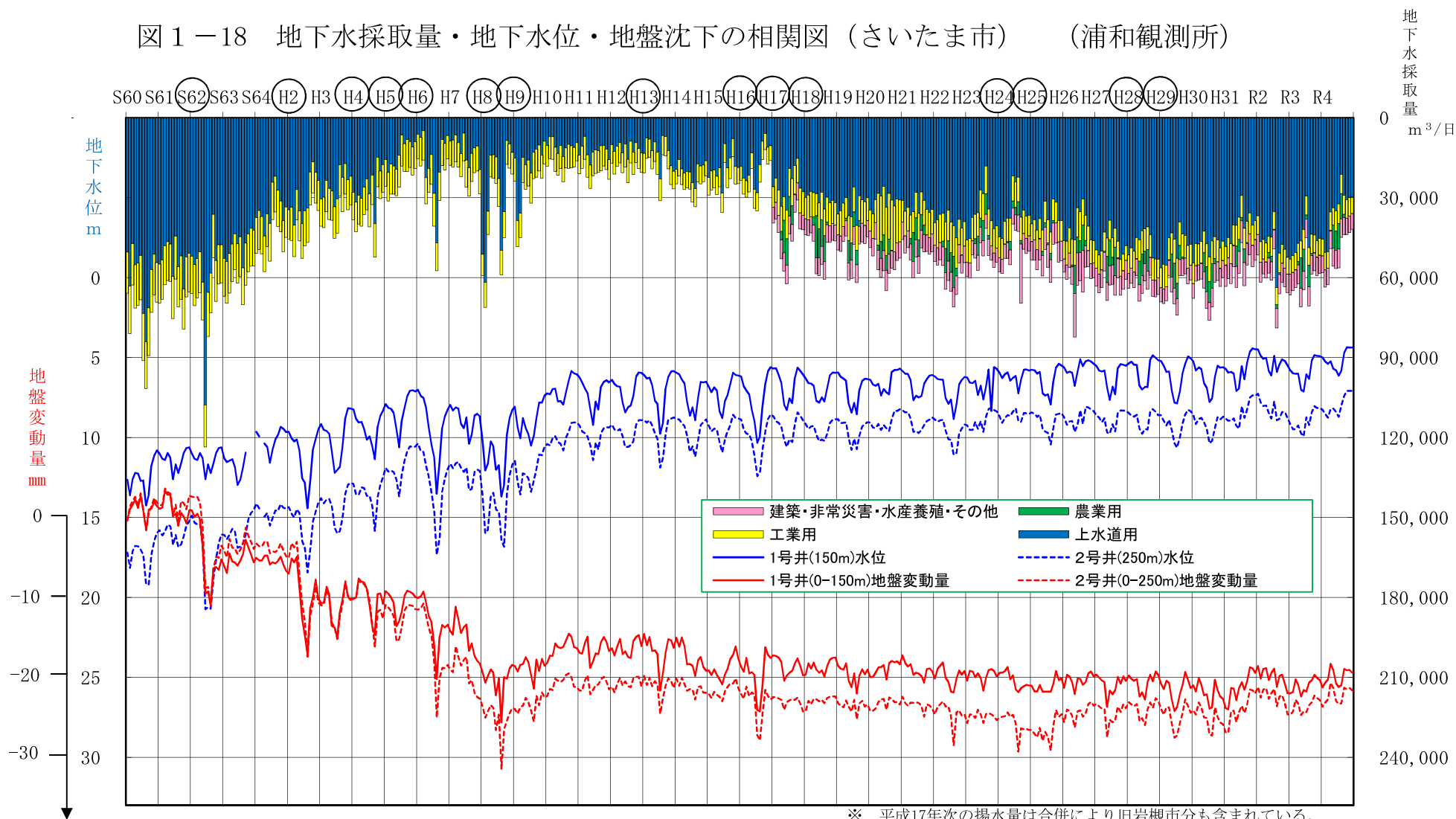


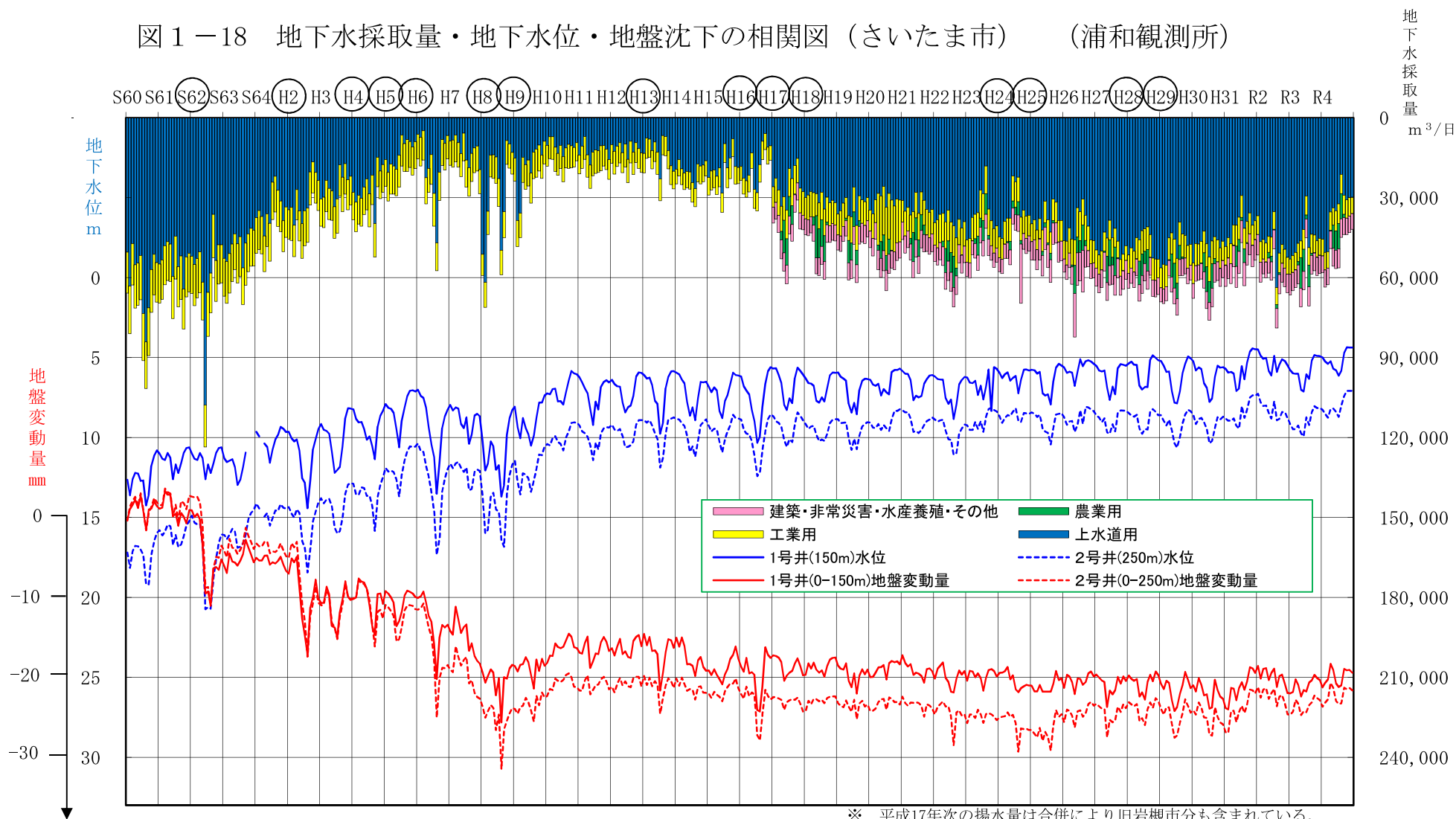
図1-18 地下水採取量・地下水位・地盤沈下の相関図（さいたま市）（浦和観測所）



※ 横軸1マスは、各年の1月～12月を示す。

※ 平成17年次の揚水量は合併により旧岩槻市分も含まれている。
 ※ 農業用・非常災害等公益用の集計は平成17年から集計している。
 ※ 地下水位は、内管の管頭から地下水位面までの深さである。
 ※ ○印の年は渇水年である。

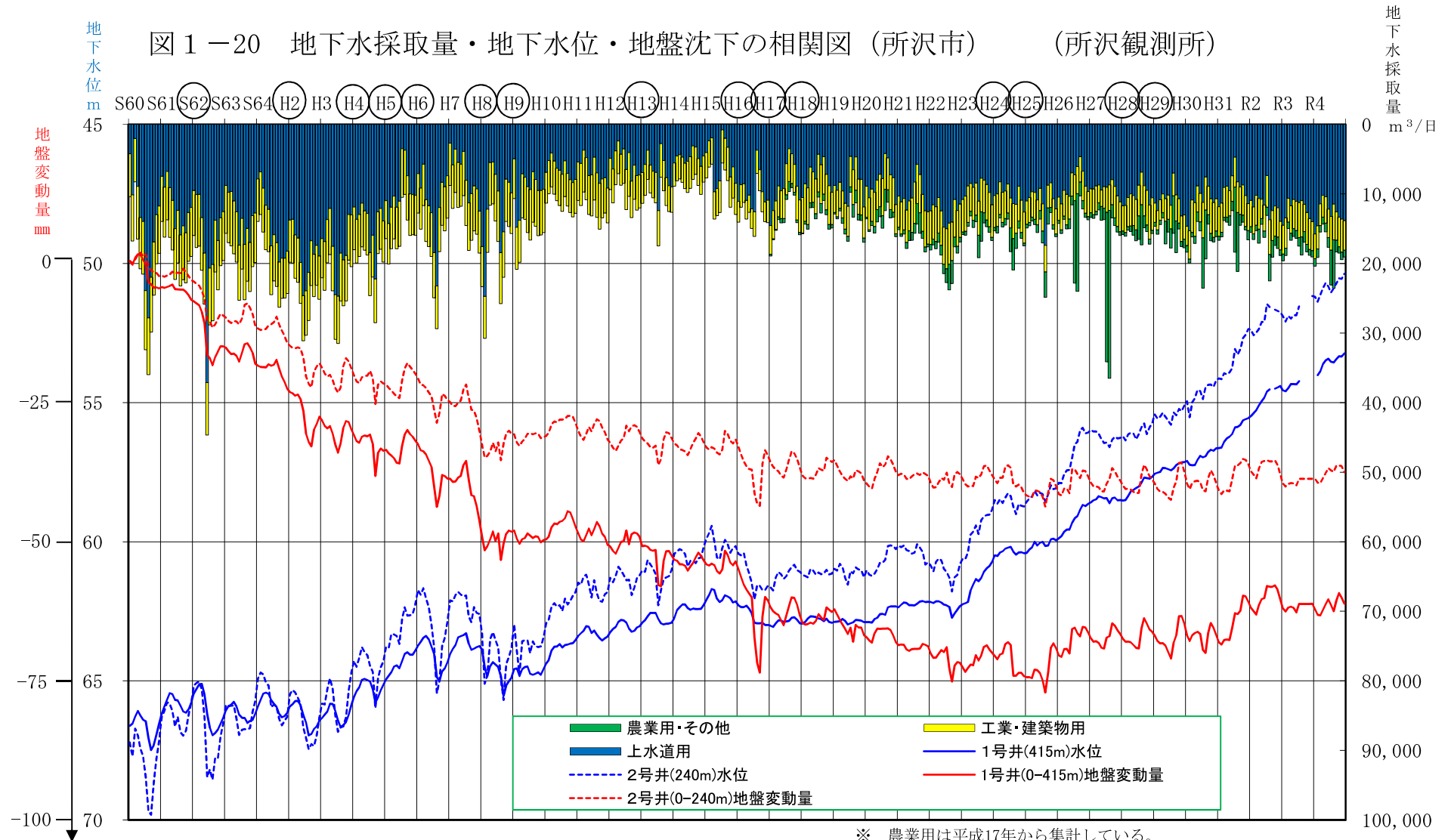
図1-18 地下水採取量・地下水位・地盤沈下の相関図（さいたま市）（浦和観測所）



※ 横軸1マスは、各年の1月～12月を示す。

- ※ 平成17年次の揚水量は合併により旧岩槻市分も含まれている。
- ※ 農業用・非常災害等公益用の集計は平成17年から集計している。
- ※ 地下水位は、内管の管頭から地下水位面までの深さである。
- ※ ○印の年は渇水年である。

図1-20 地下水採取量・地下水位・地盤沈下の相関図（所沢市）（所沢観測所）



※ 横軸1マスは、各年の1月～12月を示す。

※ 農業用は平成17年から集計している。
 ※ 地下水位は、内管の管頭から地下水位面までの深さである。
 ※ ○印の年は渇水年である。

図1-21 地下水採取量・地下水位・地盤沈下の相関図（久喜市（旧鷺宮町））（鷺宮観測所）

